

SyncMaster 570DXn

SAMSUNG



SyncMaster

モデル

SyncMaster 570DXn ▼

言語の選択

[プログラムのインストール](#)

[PDFマニュアル](#)

[登録](#)

MagicNet Pro

MDC System

Contents Server

安全面での予防措置

はじめに

接続

ソフトウェアの使用

モニターの調整

トラブルシューティング

仕様

情報

付録

SAMSUNG

安全面での予防措置

表記法

電源

インストール

クリーン

その他

はじめに

接続

ソフトウェアの使用

モニターの調整

トラブルシューティング

仕様

情報

付録

SyncMaster

www.samsung.com

製品の色と外観はモデルによって異なり、製品の仕様は性能の向上のために予告無く変更される場合があります。

安全面での予防措置

表記法



この警告や注意を守らずに誤った取扱いをすると物的損害や、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

警告/注意



この警告や注意を守らずに誤った取り扱いをすると、けがをしたり物的損害を受ける恐れがあります。

表示例



禁止



重要



分解禁止



電源プラグを抜く



触らない



アースすること

電源



長時間使用しないときはPCをDPM(省電力モード)に設定してください。スクリーンセーバーを利用する場合は、電源オプションのプロパティから設定してください。

同梱の電源プラグセットは、他の電気機器では使用できません。ご注意ください。

下記に記載された絵はあくまでもイメージです。

[残像防止方法へのショートカット](#)


- ▶ **壊れたプラグを使用しないでください。**
 - 感電や火災の原因になることがあります。

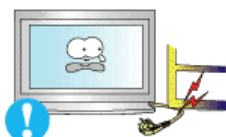
- ▶ **プラグを抜くときはコードを引っ張らず、必ずプラグを持って抜いてください。また、濡れた手でプラグを触らないでください。**
 - 感電や火災の原因になることがあります。



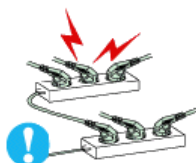
- ▶ **アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。**
- 感電の原因となることがあります。



- ▶ **電源プラグをしっかり挿入して、緩まないようにしてください。**
- 接続状態が悪いと火災の原因となることがあります。



- ▶ **プラグやコードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
- 感電や火災の原因になることがあります。



- ▶ **たこ足配線をしないでください。**
- 火災の原因になることがあります。



- ▶ **モニターの使用中は電源コードを外さないでください。**
- サージ(過電圧)が発生し、モニターを破損させる場合がございます。



- ▶ **コネクタまたはプラグが汚れているときには、電源コードを使用しないでください。**
- 電源コードのコネクタまたはプラグが汚れている場合には、乾いた布で清掃してください。
 - プラグまたはコネクタが汚れたまま電源コードを使用すると、感電や火災の原因になる場合があります。



- ▶ **本体から電源を抜く場合や、コンセントから電源を抜く場合のことを考えて、余裕を持って抜き差しができる環境に設置をしてください。**
- 感電や火災の原因になることがあります。

インストール

ほこりが多い場所、極端に高温・低温にさらされる場所、湿度の高い場所、化学物質が使用されている場所、および空港や駅など24時間使用する場所に設置する場合には、事前にサービスエンジニアまでご相談



読んでください。

ご相談せずに設置した場合、モニターに重大な損傷が発生することがあります。



▶ **湿気やほこりの多い場所に置かないでください。**

- 感電や火災の原因になることがあります。



▶ **移動するときはしっかりと持ってください。**

- けがや破損の原因になることがあります。



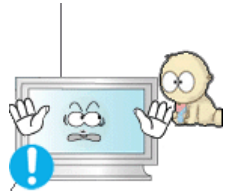
▶ **モニターを棚やショーケースに設置する場合は、本体が棚やショーケースからはみ出ないようにしてください。**

- 製品が落下すると、製品の損傷や人体への傷害の原因になることがあります。



▶ **製品を安定していない場所、または狭い場所に置かないでください。**

- 製品が落下すると、製品の損傷やけがをする恐れがあります。特に、小さなお子様がいらっしゃる場合には大きなけがをされる恐れがありますので、十分ご注意ください。



▶ **製品を床に置かないでください。**

- 特に小さなお子様がつまずいて、けがをされる恐れがございます。



▶ **火災の原因となるのを防ぐために、ろうそくなどの裸火は絶対にこの製品に近づけないでください。**

- 火災の原因になることがあります。



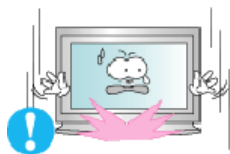
▶ **電源の近くに熱源を置かないでください。**

- 被覆が溶けて漏電または火災が発生することがあります。



▶ **本棚やクローゼットのような換気のよくない場所に製品を置かないでください。**

- 内部の温度が上昇して火災の原因になることがあります。



▶ **手荒に取り扱わないでください。**

- 破損や故障の原因になることがあります。



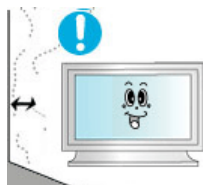
▶ **画面を下向きに置かないでください。**

- 液晶表面の破損の原因になります。
必ず柔らかい布かクッションを敷いて液晶表面を保護してください。



▶ **壁面への取り付け工事は専門技術者に依頼してください。**

- お客様自身による工事はけがの原因になることがあります。
- 付属品以外の器具での取付は専門業者に依頼してください。



▶ **製品を設置するときには、換気のために壁から10cm離してください。**

- 換気が不十分な場合には、製品内部の温度が上昇して、部品の寿命が短くなったり性能が低下したりします。



▶ **プラスチックの梱包材(袋類)は、子供の手の届かない場所に置いてください。**

- 子供がプラスチックの梱包材(袋類)で遊ぶと、窒息する場合があります。

クリーン



本体や液晶表面のお手入れは、よく絞った柔らかい布で拭いてください。



▶ **水や洗剤を本体に直接かけないでください。**

- 感電や火災の原因になることがあります。



▶ **柔らかい布に少量のクリーナーを含ませて、軽く拭き取ってください。**



- ▶ **プラグ・ピンのほこりや汚れは、乾いた布で拭き取ってください。**
- 接続部分が汚れていると、感電や火災の原因になることがあります。



- ▶ **製品の清掃を行うときには、必ず電源プラグを抜いてください。**
- 漏電または火災の原因となることがあります。



- ▶ **電源プラグをコンセントから抜いて、柔らかい乾いた布で拭いてください。**
- ワックス、ベンジン、アルコール、シンナー、空気清浄スプレー、潤滑剤、または溶媒などの化学薬品は使用しないでください。

その他



- ▶ **カバー(または背面)を開けないでください。**
- 感電または火災の原因となることがあります。
 - 修理は専門の技術者にご相談ください。



- ▶ **異常な音や臭いがあるなど、モニターが正しく動作しないときはすぐに電源プラグを抜き、CSセンターにご連絡ください。**
- 感電や火災の原因になることがあります。



- ▶ **オイル、煙または湿気にさらされる場所に製品を置かないでください。自動車内に設置しないでください。**
- 故障や感電、火災の原因になることがあります。
 - 水の近くや屋外で使用しないでください。



- ▶ **本体を落としたり破損したりしたときは、電源ボタンをオフにし電源プラグを抜いて、CSセンターまでご連絡ください。**
- 故障や感電、火災の原因になることがあります。

- ▶ **雷のときは電源プラグを抜き、落雷の恐れがなくなるまで使用しないでください。**
- 故障や感電、火災の原因になることがあります。



- ▶ **ケーブル類を引っ張って移動しないでください。**
- 故障や感電、火災の原因になることがあります。



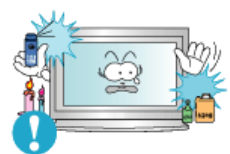
- ▶ **ケーブル類を引っ張って画面を動かさないでください。**
- 故障や感電、火災の原因になることがあります。



- ▶ **本体の通気孔をふさがないでください。**
- 故障や火災の原因になることがあります。



- ▶ **モニターの上に水が入った容器、化学製品、金属物を置かないでください。**
- 動作不良、感電、火災の原因となる場合があります。
 - 異物がモニターに入った場合、電源プラグを抜き、**CSセンター**に連絡してください。



- ▶ **可燃性の化学薬品のスプレーや可燃物は、製品から遠ざけてください。**
- 爆発や火災の原因になることがあります。



- ▶ **内部に金属を入れないでください。**
- 感電や火災、けがの原因になることがあります。

- ▶ **箸、針金やキリなどの金属、紙やマッチなどの可燃物を通気孔やAVポートに挿入しないでください。**

- 感電または火災につながる恐れがあります。異物や水が製品内に入った場合には、製品の電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜き、**CSセンター**にご



連絡ください。



▶ 画像が長時間固定されると、残像やぶれが生じることがあります。

- 長時間モニターから離れる場合は、節電モードに切り替えるかスクリーンセーバー(動画)を設定してください。



▶ 使用するモデルにあった解像度と周波数を選択します。

- 視力を低下させる恐れがあるので、適切な解像度と周波数でご使用ください。



▶ モニターを近距離で長時間見続けると、視力に影響を与えることがあります。



▶ 眼精疲労を和らげるために、時々目を休ませるようにしてください。



▶ 製品を、平らでない不安定な場所や、振動の多い場所に設置しないでください。

- 製品が落下すると、製品の損傷や人体への傷害の原因になることがあります。振動の多い場所で製品を使用すると、製品の寿命が短くなったり出火の原因となる場合があります。



▶ モニターを移動する場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く。モニターを動かす前に、アンテナ用ケーブルやその他の装置に接続するケーブルなど、すべてのケーブルが外れていることを確認してください。

- ケーブルを外さないと、ケーブルの損傷、火災や感電の原因となることがあります。(クラス1の機器のみ。)

▶ 製品の移動は、2人以上で行ってください。

- 製品を落下させると、動作不良や人体への傷害を発生させることがあります。



- ▶ **小さなお子様**が製品にぶら下がったりしますと、製品が破損する可能性がありますので、小さなお子様の手に届かない場所に設置してください。
- 破損した製品は、けがの原因となることがあり、場合によっては死亡の原因となることがあります。



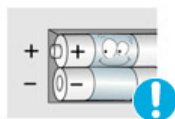
- ▶ **製品を長期間使用しないときには、電源プラグを抜いてください。**
- ほこりの堆積や絶縁不良によって熱が発生し、漏電や火災が発生することがあります。



- ▶ **子供の好きなもの(または子供が興味を持ちそうなもの)を製品の上に置かないでください。**
- 本体の上に置かれているものを取ろうとして、製品によじ登りますと、お子様が転倒や落下をし、けがの原因や、場合によっては死亡の原因となることがあります。



- ▶ **リモコンから電池を取り外す時は、子どもが飲み込んだりしないよう注意します。電池は子どもの手の届かない場所に保管します**
- 万一飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

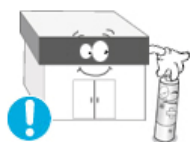


- ▶ **電池を交換する時は、電池ホルダーの指示する向きに+/-極を正しく入れます。**
- 方向を間違えると電池が破損または液漏れすることがあり、火災、けが、薬品汚染(による損害)を招くことがあります。



- ▶ **指定の標準電池以外は使用しないでください。新しい電池と古い電池を同時に使用しないでください。**
- 電池が破損または液漏れすることがあり、火災、けが、薬品汚染(による損害)を招くことがあります。

- ▶ **バッテリー(および充電式バッテリー)はリサイクルしてください。**
- お客様は、使用済みの充電式バッテリーを公共のリサイクルセンターまたは同じタイプのバッテリーおよび充電式バッテリーを販売している店舗に返送することができます。



© 1995~2007 SAMSUNG. ALL Rights Reserved



SyncMaster

WWW.SAMSUNG.COM

モデル

SyncMaster 570DXn ▼



製品の色と外観はモデルによって異なり、製品の仕様は性能の向上のために予告無く変更される場合があります。

はじめに

パッケージ内容

安全面での予防措置

はじめに

パッケージ内容

お使いのモニター

メカニカルレイアウト

接続

ソフトウェアの使用

モニターの調整

トラブルシューティング

仕様

情報

付録

☑ 注意

- ご使用前に、以下の付属品が揃っているか確認してください。
万一不足するものがあった場合、お客様相談ダイヤルか **CSセンター**までご連絡ください。
別売品の購入については、日本サムスの営業担当までお問い合わせください。

☑ 注意

- 同梱されているスタンドは一時的に設置するための簡易スタンドです。フロアに設置する場合は、別売のオプションスタンドをご購入ください。



モニタ本体

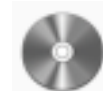
取扱説明書



簡単セットアップガイド



保証書
(日本国内においてのみ有効となります。)



ユーザーズガイド、MDC ソフトウェア
エア
MagicNet ソフトウェア

ケーブル類



ミニD-Sub15ピンケーブル
(アナログ接続)



電源コード

その他



リモートコントローラー



電池(単四×2)
(日本国内においてのみ有効となります。)



カバーホール



BNC-RCA
アダプタージャック



簡易スタンド



ねじ (4EA)



USBホルダー



HDD カバー

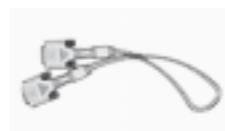
別売品



壁掛け金具



スピーカーセット



DVIケーブル



BNCケーブル



LANケーブル

お使いのモニター

➤ 前面



1) **MENU**

オンスクリーンメニューを開いたり、メニュー画面を終了したり、画面調整メニューを閉じるのに使用するボタンです。

2) **Navigateボタン(コントロールOSD(On Screen Display)メニュー)**

メニュー項目を縦に移動したり、選択したメニューの値を調整します。

3) **Adjust(調節) ボタン(コントロールOSD(On Screen Display)メニュー)**

あるメニューアイテムから他のアイテムに水平移動し、選択されたメニューの値を調整します。

4) **ENTER**

ハイライトされたメニュー項目を作動させます。

5) **SOURCE**

インジケータをオンにして、現在表示されている入力信号を表します。

モニターに接続されている外部機器についてのみ、外部入力の変更が可能です。Screenモードに変更する:

[PC] → [BNC] → [DVI] → [AV] → [S-Video] → [Component] → [HDMI] → [MagicNet]

>> [アニメーション・クリップを見るには、ここをクリックします。](#)

6) **PIP**

ボタンを押すたびに、同時画面の信号ソースが変わります。

BNC およびコンポーネントが同じ端末を使用しているため、画面上に 2 つ以上の PIP を重ねて表示することはできません。

>> [アニメーション・クリップを見るには、ここをクリックします。](#)

• **PC**

AV / S映像 / コンポーネント / HDMI モード

• **BNC**

AV / S映像 / HDMI モード

• **DVI**

AV / S映像 / コンポーネント / HDMI モード

• **AV / S映像**

PC / BNC / DVI モード

• **コンポーネント**

PC / DVI モード

• **HDMI**

PC / BNC モード

7) **電源ボタン**

AV / S映像 / コンポーネント モード

8) **輝度センサー**

この製品の輝度センサー機能は、明るさセンサーを使用して自動的に検知した周囲の明るさに合わせて輝度を調整します。

9) **電源ランプ**

正常作動中はライトが緑色に点灯します。

10) **リモコンセンサー**

モニターのこの部分に向けてリモコンを操作します。

☑ **注意**

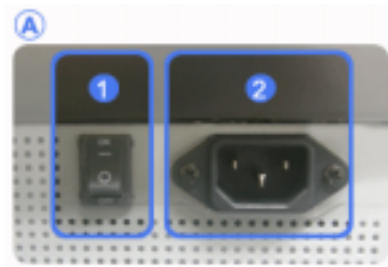
- このモニターは省電力のための内蔵型電源管理システムを備えています。このシステムはモニターが一定時間使用されない場合に、モニタを低出力モードに切り替えることによってエネルギーを節約します。電力節約のため、使用

しないときや長時間席を離れるときはモニタをオフにしてください。

📖 背面

📌 注意

- ケーブル接続に関する詳細情報については、「セットアップ」-「モニタの接続」をご参照ください。モニターの背面パネルは、モニターのモデルによって、多少異なる場合があります。

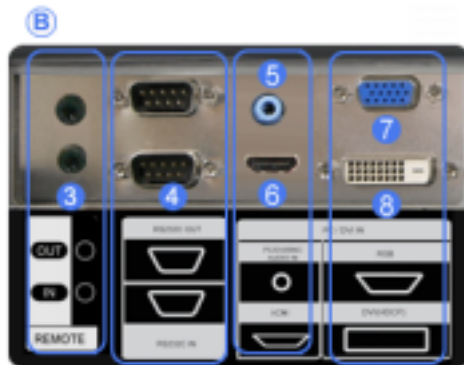


1) POWER S/W ON [|] / OFF [O]

モニターのオン/オフを切り替えます。

2) POWER IN

電源コードのプラグをモニターおよびコンセントに差し込みます。



3) REMOTE OUT/IN

モニターに接続して、有線リモコンを使用することができます。

4) RS232C OUT/IN (RS232C Serial PORT)

MDC (マルチデバイスコントロール) プログラムポート

5) DVI / PC / HDMI IN [PC/DVI/BNC AUDIO IN] PC/DVI/BNC オーディオ接続ターミナル (入力)

6) DVI / PC / HDMI IN [HDMI]

HDMIケーブルをモニター背面の[HDMI]ポートに接続します。

7) DVI / PC / HDMI IN [RGB] (PC Video 接続端子)

DVIケーブル(DVI-D から DVI-D)を使用する - DVIモード (デジタル PC)

8) DVI / PC / HDMI IN [DVI(HDCP)] (PC Video 接続端子)

ミニD-Sub15ピンケーブルを使用する - PCモード

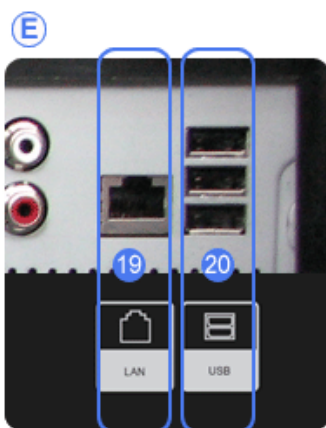
(アナログ PC)



- 9) COMPONENT AUDIO IN [L-AUDIO-R] (コンポーネントオーディオ接続ターミナル (入力))
- 10) BNC/COMPONENT OUT [R/Pr, G/Y, B/Pb, H, V] (BNC Video接続端子/コンポーネント接続端子(出力))
BNC (アナログPC) 接続: R、G、B、H、Vポートを接続する
コンポーネント接続: Pr、Y、Pbポートを接続する
- 11) BNC/COMPONENT IN [R/Pr, G/Y, B/Pb, H, V] (BNC Video接続端子/コンポーネント接続端子 (入力))



- 12) AV AUDIO IN [L-AUDIO-R] (MONITOR Audio接続端子(入力))
- 13) AV OUT [VIDEO] (Video 接続端子) : AVモード (出力)
- 14) AV IN [VIDEO] (Video 接続端子) (入力)
- 15) AV OUT [S-VIDEO] (S-Video 接続端子): S-Video モード(出力)
- 16) AV IN [S-VIDEO] (S-Video 接続端子)(入力)
- 17) EXT SPEAKER(8 Ω)[- - L - +, - - R - +] (Speaker(スピーカ) 出力)
- 18) AUDIO OUT [L-AUDIO-R] (MONITOR Audio接続端子(出力))
モニタ出力: PC、DVI、BNC を接続



- 19) LAN (LAN 接続端子)
- 20) USB (USB 接続端子)
(キーボード / マウス、大容量記憶装置対応。)

☒ 注意

- ループアウト用に接続できるモニタの数は、ケーブル、信号ソースなどの環境によって異なります。劣化の発生しないケーブルを使用した場合、1つの信号ソースに10台のモニタを接続できます。



21) ケンジントンロック

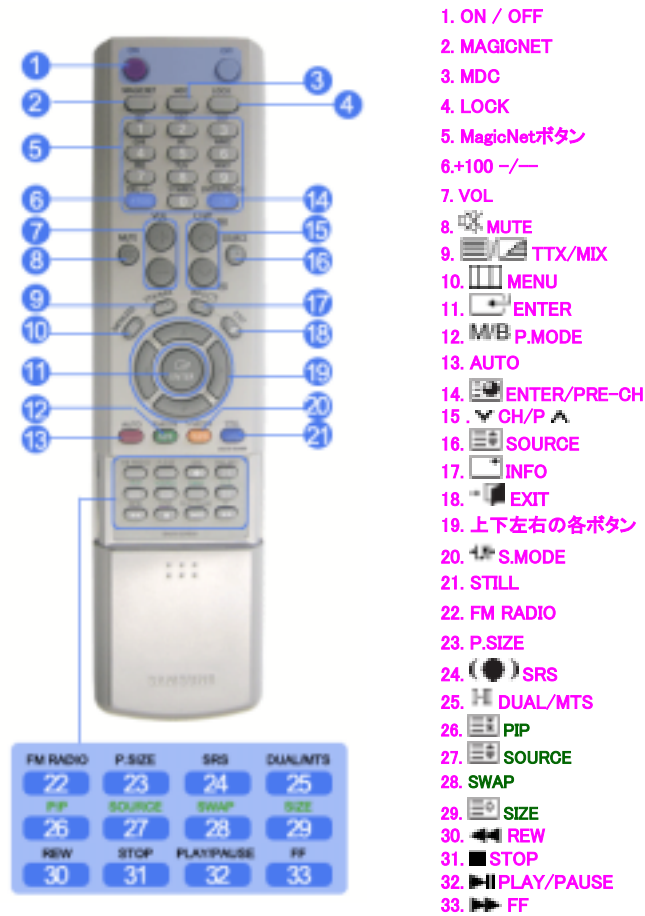
ケンジントンロックは、公共の場所で使用するときシステムを固定するのに使用する装置です。(ロック装置は、別途購入する必要があります)
ロック装置は、別途販売店等でご購入ください。

☒ 注意

- ケーブル接続の詳細については、**モニタの接続**の項を参照してください。

☑ 注意

- リモコンの性能は、モニター近くで動作しているTVやその他の電子機器の周波数干渉によって影響を受けることがあります。



1) ON / OFF

AV / S映像 / コンポーネント モード

2) MAGICNET

MagicNetクイック起動ボタン

3) MDC

(マルチディスプレイコントロール)
 MDC クイック起動ボタン

4) LOCK

このボタンは電源およびLockボタンを除くリモートコントロールおよび全ての機能を有効または無効にします。

5) MagicNetボタン

これらのボタンは MagicNet で使用します。

- 英数字: Web サイトのアドレスを入力するときにこのボタンを使用します。
- DEL: バックスペースとして使用します。
- SYMBOL: 記号を入力するときに使用します。(、0、_、-、:、/)
- ENTER: 入力するときに使用します。

6) +100 -/-

100以上のチャンネルを選択する場合に押します。
 例えば121チャンネルを選択する場合、“+100”を押してから“2”と“1”を押します。
 - このモニターでは使用できません。

7) VOL

オーディオ音量を調整します。

8) MUTE

音声出力を一時的に止めます(ミュート)。
ミュートモードでMUTEまたは - VOL + が押されると、音声元に戻ります。

9) TTX/MIX

文字放送サービスによるTVチャンネルの文字情報が表示されます。
- このモニターでは使用できません。

10) MENU

オンスクリーンメニューを開いたり、メニュー画面を終了したり、画面調整メニューを閉じるのに使用するボタンです。

11) ENTER

ハイライトされたメニュー項目を作動させます。

12) P.MODE

このボタンを押すと、画面中央下に現在のモードが表示されます。

AV / S映像 / コンポーネント : P.MODE

モニターには工場出荷時にプリセットされた4つの自動映像設定があります。
このボタンを押すと、プリセットされた各モードを順に表示します。
(ダイナミック → 標準 → 映画 → ユーザー調整)

PC/DVI/BNC : M/B (MagicBright™)

MagicBrightは、最適な画像表示環境を提供する機能です。4種類のモード(ユーザー調整、テキストモード、インターネットモード、エンターテインメントモード)が使用でき、それぞれの明るさの値が設定されています。
このボタンを押すと、プリセットされた各モードを順に表示します。
(エンターテインメント → インターネット → テキスト → ユーザー調整)

13) AUTO

画面表示を自動で調整します。(PC)
コントロールパネルで解像度を変更した場合、自動調整機能が実行されます。

14) ENTER/PRE-CH

このボタンを使用すると、直前のチャンネルに戻ります。
- このモニターでは使用できません。

15) CH/P

TVモードでTVチャンネルを選択します。
- このモニターでは使用できません。

16) SOURCE

PCモードからビデオモードに切り替えます。
モニターに接続されている外部機器についてのみ、外部入力の変更が可能です。

17) INFO

画面の左上隅に現在の映像情報が表示されます。

18) EXIT

メニュー画面を終了します。

19) 上下左右の各ボタン

メニュー項目を横や縦に移動したり、選択したメニューの値を調整します。

20) S.MODE

このボタンを押すと、画面中央下に現在のモードが表示されます。
モニターはハイファイスステレオアンプを内蔵しています。
このボタンを押すと、プリセットされた各モードを順に表示します。
(標準 → 音楽 → 映画 → ニュース → ユーザー調整)

21) STILL(静止)

特定の画面を通して動きを止める場合に押してください。静止状態からスタートさせる場合は、再び同じボタンを押してください。

22) FM RADIO

FMラジオをオン/オフする。
信号が弱い地域では、FM RADIO放送中に雑音が発生することがあります。
PC/DVIモードでは、音声のみをFMラジオに設定します。
通常の映像外部入力モードでは、FMラジオを設定すると画面がオフになります。
- このモニターでは使用できません。

23) P.SIZE

画面サイズを変更する場合に押してください。



24)

SRS

25)  DUAL/MTS

DUAL-

モニターがTVモードの時、リモコンのDUALボタンでステレオかモノラルを選択します。TV視聴中にリモコンの音声多重(DUAL)ボタンを押すと、放送タイプによってステレオ/モノラル、音声多重I/音声多重II、モノラル/NICAMモノラル/NACAMステレオが動作します。モノラル/ステレオ、音声多重I/音声多重II、モノラル/NICAMモノラル、モノラル/NICAMステレオを切り替えます。

MTS-

音声多重(マルチチャンネルTVステレオ)モードも選択できます。

	オーディオタイプ	MTS/Sモード	デフォルト
FM ステレオ	モノラル	モノラル	手動変更
	ステレオ	モノラル ↔ ステレオ	
	SAP	モノラル ↔ SAP	モノラル

- このモニターでは使用できません。

26)  **PIP**

ボタンを押すたびに、同時画面の信号ソースが変わります。

27)  **SOURCE**

映像外部入力を選択します。(PIP)

28) **SWAP**

同時画面の画像と主画面の画像を入れ替えます。
同時画面の画像がメイン画面に表示され、メイン画面の画像が同時画面に表示されます。

29)  **SIZE**

画像サイズを切り換えます。(PIP)

30)  **REW**

巻き戻し

31)  **STOP**

停止

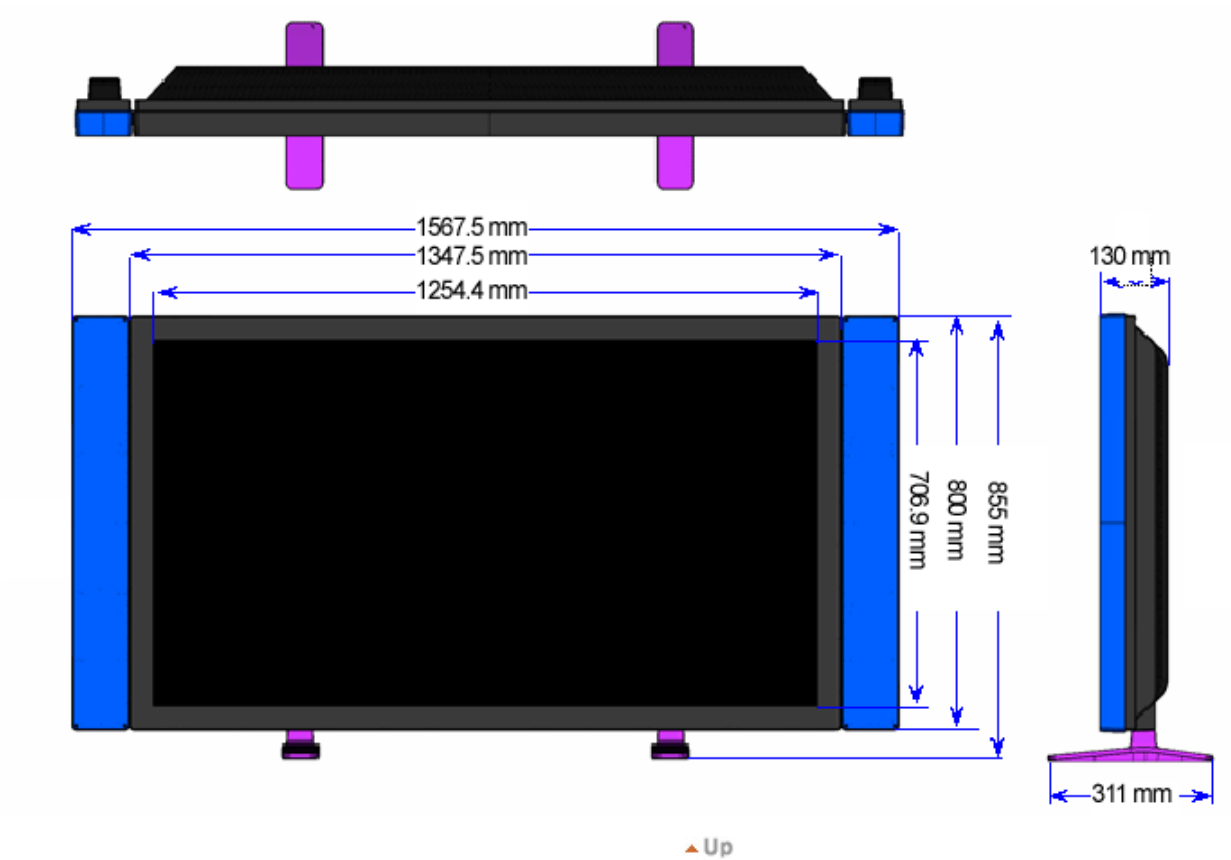
32)  **PLAY / PAUSE**

再生 / 停止

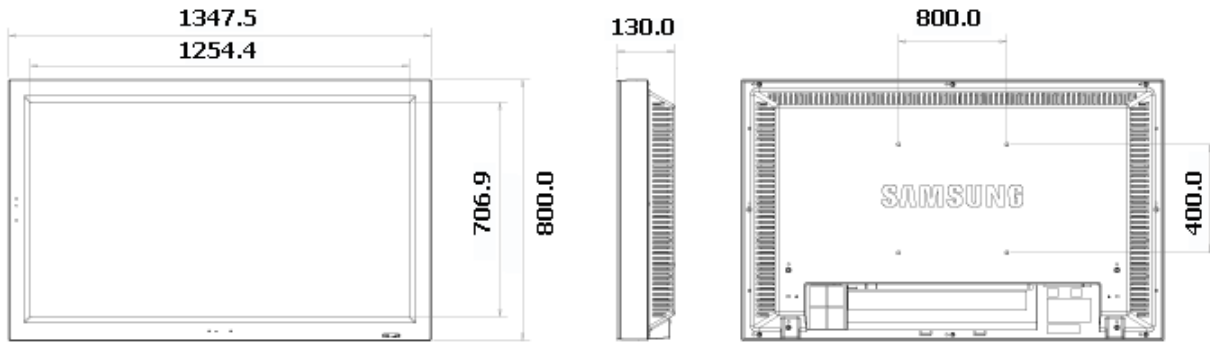
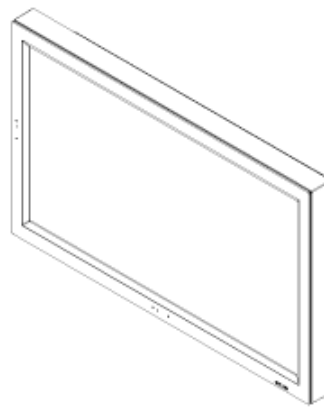
33)  **FF**

早送り

1. メカニカルレイアウト



2. モニター本体

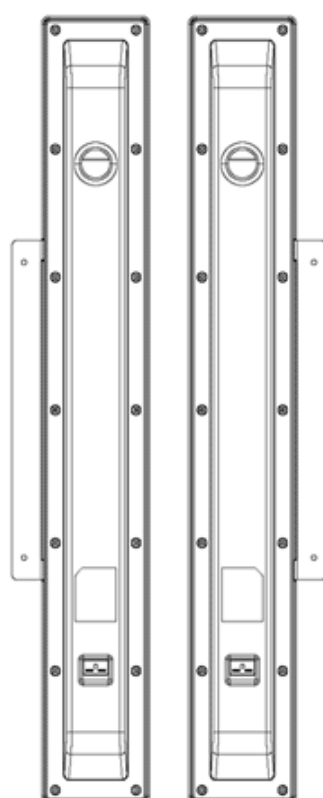
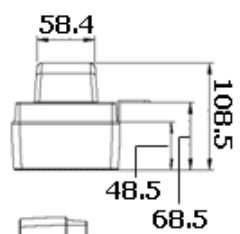


▲ Up

3. スピーカー（別売品）



壁掛け金具、スピーカーセット、オプションスタンド等の別売品のご購入につきましては、日本サムスン営業担当または販売店にお問い合わせください。



▲ Up



安全面での予防措置

はじめに

接続

オプションスタンドを設置する

モニタの接続

ソフトウェアの使用

モニターの調整

トラブルシューティング

仕様

情報

付録

SyncMaster

www.samsung.com

製品の色と外観はモデルによって異なり、製品の仕様は性能の向上のために予告無く変更される場合があります。

接続

オプションスタンドを設置する

☒ 注意

- 備え付けのボルトをご使用ください。

注意

指定外の部品を使用して生じた損害については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

▶ 簡易スタンドを取り付ける



- 1) 製品を保護するために、アクセサリにカバーホールが含まれています。これは、スタンドを挿入するモニター底面の穴を保護するものです。お使いのモニターにウォールマウントキットを率載る場合は、この穴にカバーホールを使用してください。
- 3) モニター底面の穴にこれを挿入します。カバーホールに付属するネジをマークのある場所に挿入し、しっかりと締め付けます。

注意

解像度は、製品のモデルによって異なる場合があります。最適な解像度の詳細については、ユーザーマニュアルを参照してください。

▶ 電源プラグのアースリード線を接地(アース 接続)する

故障のときに感電の原因になります。

アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前におこなってください。

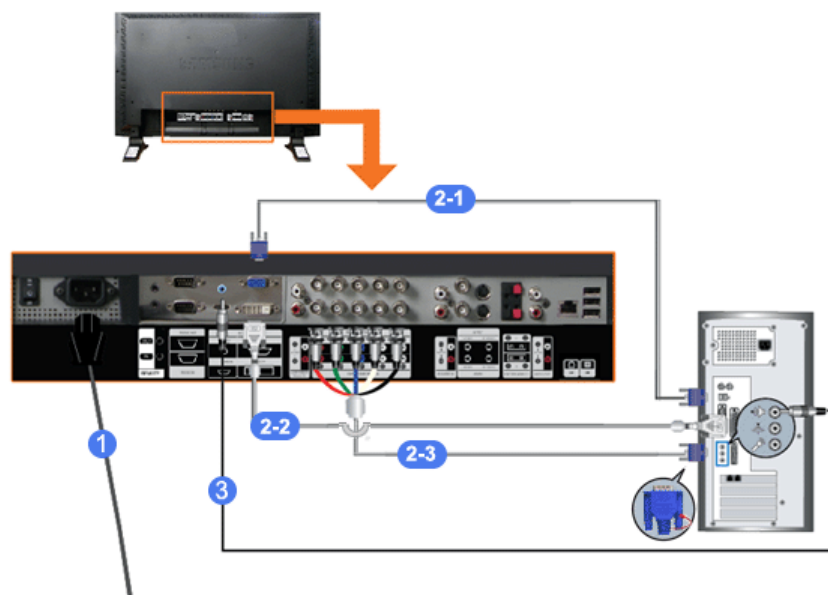
また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。



☑ 注意

- お使いのコンピュータ同様に、DVD、ビデオデッキまたはビデオカメラのようなAV入力デバイスも、モニターに接続できます。AV入力デバイスの接続に関する詳細情報については、「モニターを調節する」のユーザーコントロールを参照してください。

▶ コンピュータに接続する



- 1) モニター用の電源コードをモニターの背面にある電源端子に接続します。
電源スイッチを入れます。
- 2) 信号ケーブルをモニターに接続する方法は3つあります。
次の中から一つ選択します。
 - 2-1) ビデオカードにあるミニD-sub15ピン (アナログ) コネクタを使用する。
モニター背面にある15ピンの**RGBポート**に信号ケーブルを接続します。



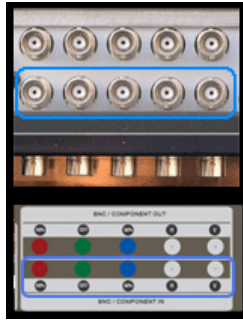
- 2-2) ビデオカードにあるDVI (デジタル) コネクタを使用する。
モニター背面にある**DVIポート**にDVI(HDCP)ケーブルを接続します



- 2-3)

ビデオカードにあるBNC (アナログ) コネクタを使用する。

BNCケーブルをモニターの背面にある **BNC/コンポーネント IN - R、G、B、H、Vポート**に接続します。



3) モニター用のオーディオケーブルをコンピューターの背面にあるオーディオポートに接続します。

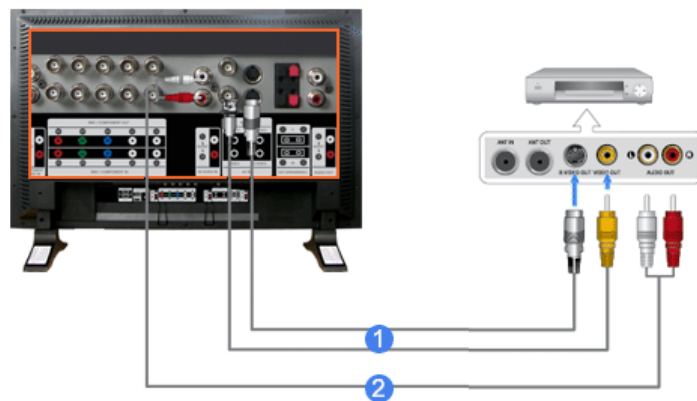
☒ 注意

- コンピュータとモニターの電源を入れます。

☒ 注意

- DVIケーブルとBNCケーブルは同梱されておりません。お近くの販売店でお求めください。

※ AV入力デバイスに接続する



- 1) ビデオデッキまたはビデオカメラのようなAV入力デバイスは、S-VHSケーブルまたはBNCケーブルを使用しながら、モニターの背面にある**AV IN [VIDEO]**接続端子または **AV IN [S-VIDEO]**接続端子に接続されます。
- 2) ビデオデッキまたはビデオカメラのAudio (L) (左音声)端子とAudio (R)(右音声)端子を、オーディオケーブルを使用しながらモニターの、**AV AUDIO IN [L-AUDIO-R]**接続端子に接続します

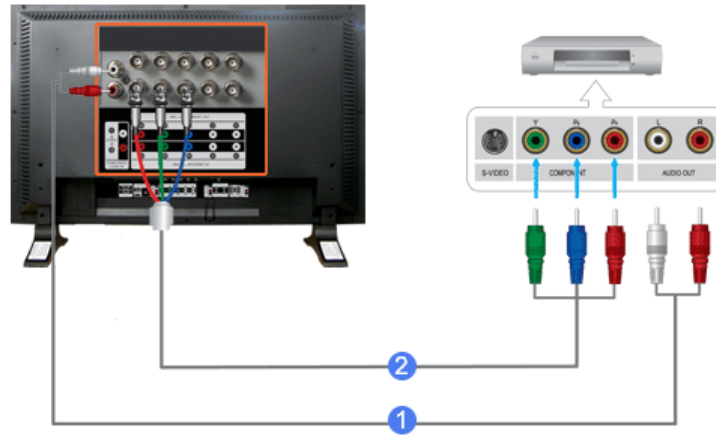
☒ 注意

- モニターのフロントまたはリモートコントローラーのSourceボタンを使用しながら、ビデオデッキまたはビデオカメラに接続される**AV**または**S-Video**を選択します。
- それから、テープを挿入して、ビデオデッキまたはビデオカメラをスタートさせます。

☒ 注意

- S-VHSケーブルとBNCケーブルは同梱されておりません。

※ DVDプレーヤーに接続する



- 1) モニターにあるコンポーネント Audio 接続端子とセットトップボックスにある**COMPONENT AUDIO IN [L-AUDIO-R]** ジャック間をオーディオケーブルにより接続します。
- 2) モニターにある**BNC/COMPONENT IN - PR, Y, PB port**ポートとセットトップボックスにあるPR, Y, PB ジャック間を DVD ケーブルにより接続します。

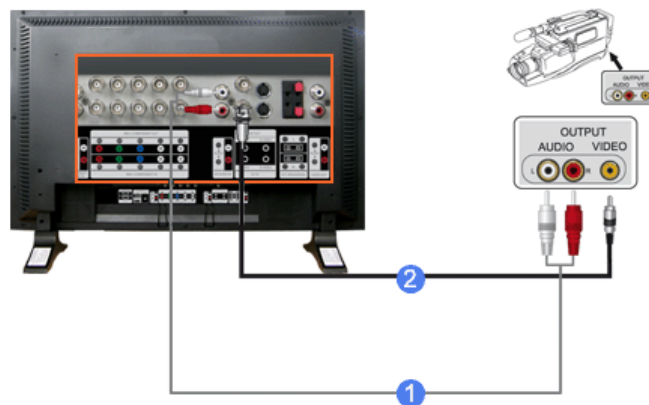
☒ 注意

- ・ モニターのフロントまたはリモートコントローラーにあるSourceボタンを使用しながら、DVDプレーヤーに接続される**コンポーネント**を選択します。
- ・ それから、DVDディスクを挿入して、DVDまたはビデオカメラをスタートさせます。

☒ 注意

- ・ コンポーネントビデオの説明に関しては、DVDプレーヤーの取扱説明書を参照してください。

♪ ビデオカメラを接続する



- 1) ビデオカメラにあるA/V 出力ジャックの位置を確認します。通常、ビデオカメラの側面または背面にあります。ビデオカメラにあるAUDIO OUTPUTジャックとモニターにある**AV AUDIO IN [L-AUDIO-R]**接続端子間をオーディオケーブルにより接続します。
- 2) ビデオカメラにあるVIDEO OUTPUTジャックとモニターにある**AV IN [VIDEO]**接続端子間をビデオケーブルにより接続します。

☒ 注意

- ・ モニターのフロントまたはリモートコントローラーにあるSourceボタンを使用しながら、ビデオカメラに接続される**AV**を選択します。
- ・ それから、テープを挿入して、ビデオカメラをスタートさせます。

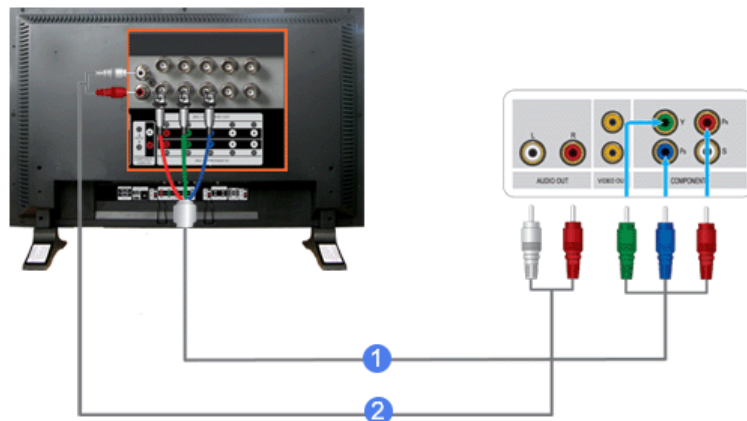
☒ 注意

- ・ ここで示されているオーディオビデオケーブルは、ビデオカメラと一緒に付属されています。(見当たらない場合は、お近くの電気店に確認してください。)ビデオカメラがステレオの場合は、接続するために2本のケーブルが必要です。

※ セットトップボックスに接続する

☒ 注意

- 通常のセットトップボックスは、以下のように接続されます。



- 1) モニターにある **BNC / COMPONENT IN - PR, Y, PB**ポートとセットトップボックスにあるPR, Y, PBジャック間をコンポーネントケーブルにより接続します。
- 2) モニターにある**COMPONENT AUDIO IN [L-AUDIO-R]**接続端子とセットトップボックスにあるAUDIO OUTジャック間をオーディオケーブルにより接続します。

☒ 注意

- モニターのフロントまたはリモートコントローラーにあるSourceボタンを使用しながら、セットトップボックスに接続する**コンポーネント**を選択します。

☒ 注意

- コンポーネントビデオの説明に関しては、セットトップボックスの取扱説明書を参照してください。

※ スピーカーの接続



☒ 注意

- ねじを使用して、スピーカーをモニターセットに固定します。
* スピーカセットは、スピーカスタンドを使わずに取り付けます。



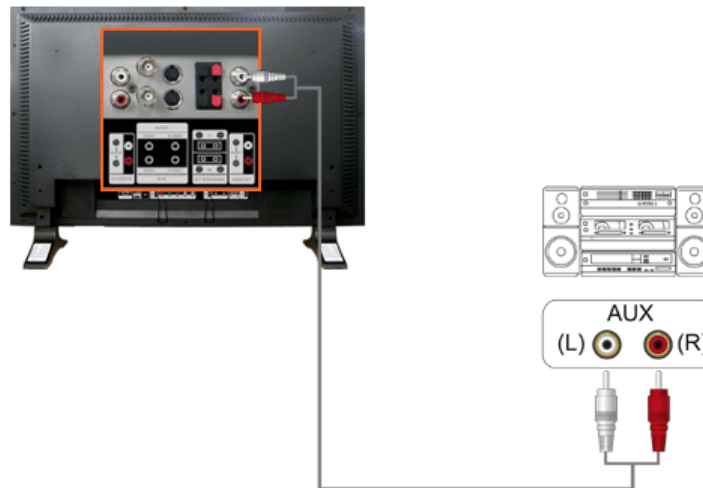
☒ 注意

- ・スピーカー接続ケーブルを、モニターセット後部およびスピーカーの後部にあるスピーカー接続ジャックに接続します。

☒ 注意

- ・モニターセットとスピーカーが接続された状態でモニターを移動しないでください。

♪ オーディオシステムに接続する



☒ 注意

- ・ **AUDIO SYSTEM**にあるAUX L、Rジャックとモニターにある **AUDIO OUT [L-AUDIO-R]**接続端子間をオーディオケーブルで接続します。

♪ 有線リモコンへの接続



☒ 注意

- ・ REMOTE OUT端子から他の機器のリモコン信号を受信できるようにして、モニターを制御することができます。
- ・ REMOTE IN端子から他の機器からのリモコン信号を受信できるようにして、機器を制御することができます。

☒ 注意

- ・ 制限事項:他の機器が有線リモコン入出力端子を持っている場合にのみ利用できます。

♪ HDMIの接続



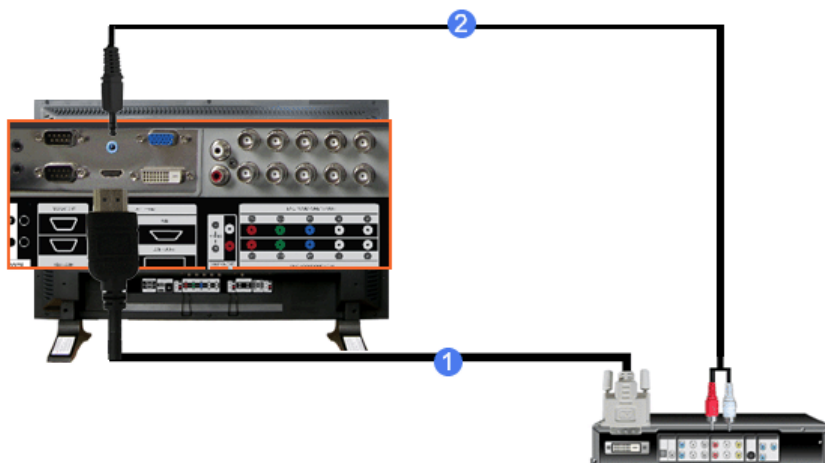
☑ 注意

- HDMIケーブルを使用して、デジタルDVDなどの装置をモニターのHDMI IN端子に接続します。

☑ 注意

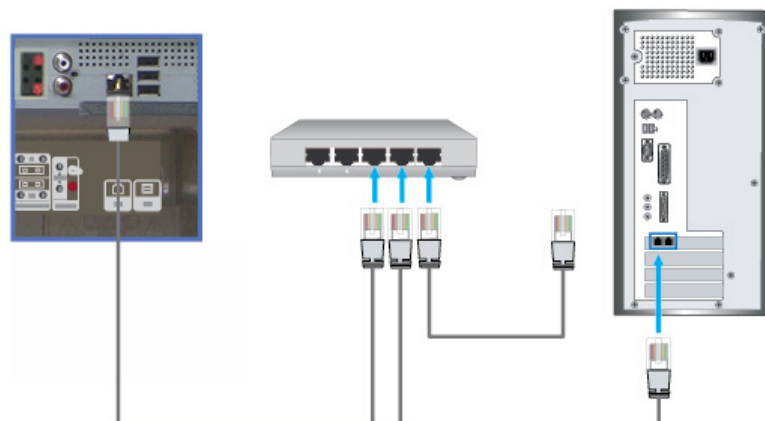
- PCをHDMI IN端子に接続することはできません。

♪ DVI - HDMI ケーブルを使用して接続する



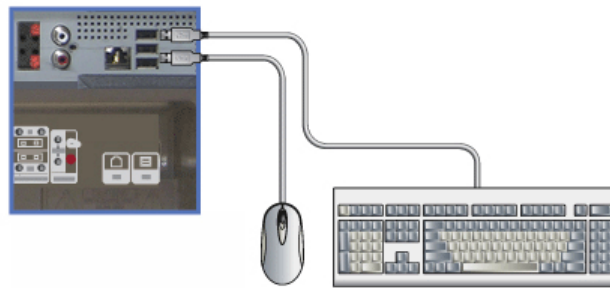
- 1) デジタル出力デバイスのDVI出力端子をDVI - HDMIケーブルを使用して、モニターのHDMI IN端子に接続します。
- 2) RCA - ステレオ (PC用) ケーブルの赤および白のジャックをデジタル出力デバイスの同じ色の音声出力端子に接続し、反対側のジャックをモニターのHDMI/PC DVI-D AUDIO IN端子に接続します。

♪ LAN ケーブルの接続



- 1) LAN ケーブルを接続します。

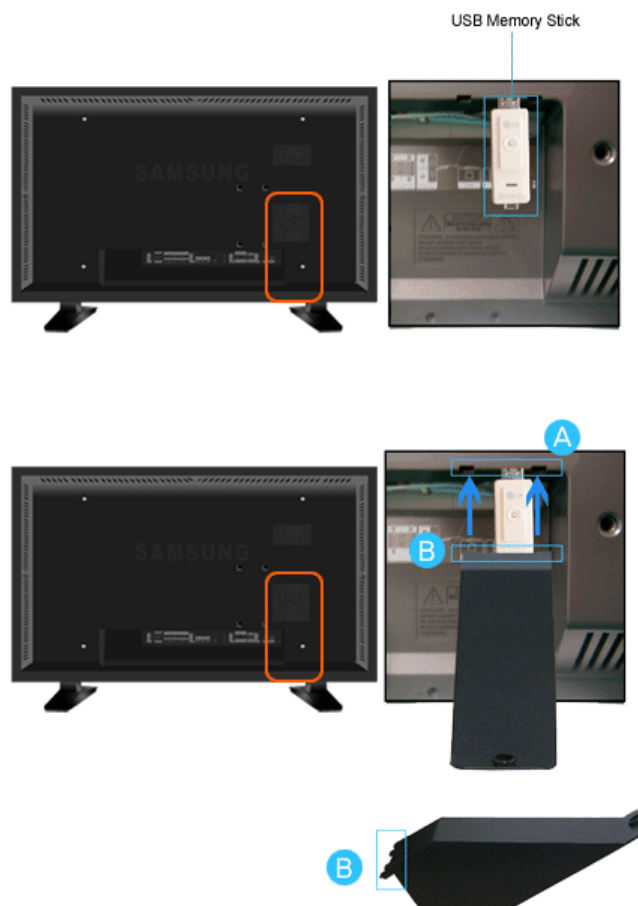
✧ USB の接続



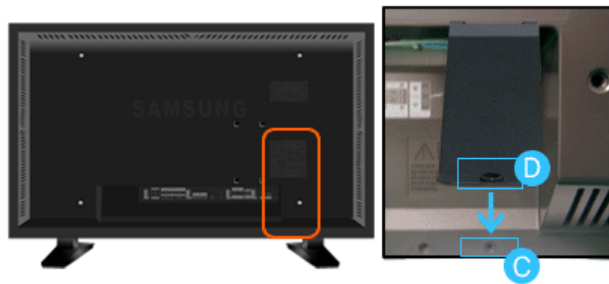
- 1) マウスやキーボードなどの USB 機器を接続することができます。

✧ USBホルダーの使用

ポータブルメモリスティックや、モニター背面のUSB端子に接続された小型の外部デバイスは、使用時に紛失してしまう可能性があります。外部デバイスを取り付けた後にUSBホルダーを取り付けることで、盗難や紛失を防ぐことができます。

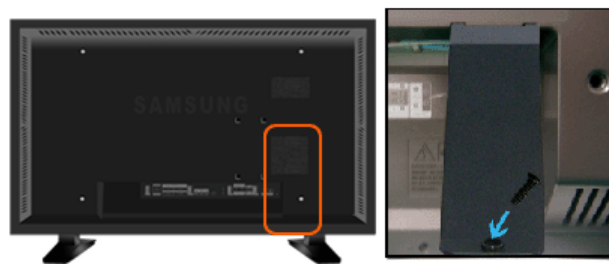


- 1) USBホルダーの部品 **B** を、モニター背面の部品 **A** の溝に挿入します。



- 2) USBホルダーの **D** の部分を、モニター背面の **C** の部分の一番下にある溝に合わせます。

USBホルダーの **D** の部分を、モニター背面の **C** の部分の一番下に合わせます。

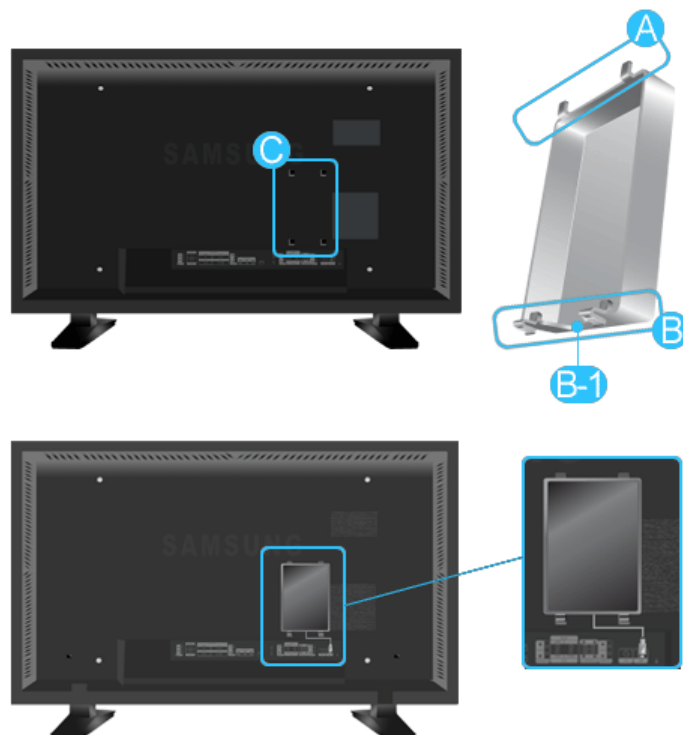


- 3) ステップ[2]で位置を合わせた溝にネジを差し込んで締めます。

C と **D** の位置を合わせ、ネジを使って固定します。

※ HDD カバーの使用

外付けの 2.5" USB ハード ディスクを取り付けることができます。



- 1) **A** を **C** 上部の溝に挿入し、**B** を **C** の底面にある溝に押し込みます。
外付けハード ディスクの USB ケーブルは、**B-1** の部分からモニターの USB コネクタに接続することができます。
- 2) 部品が正しく固定されているかどうかチェックします。

☑ 注意

- HDD カバーを取り外すときは、B-1 の部分を少し引っ張ります。



安全面での予防措置

はじめに

接続

ソフトウェアの使用

MagicNetのインストール

MDC

MagicNet

モニターの調整

トラブルシューティング

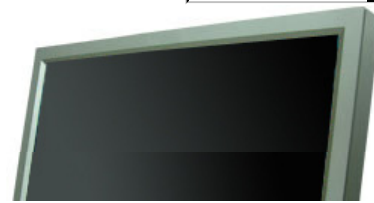
仕様

情報

付録

SyncMaster

www.samsung.com



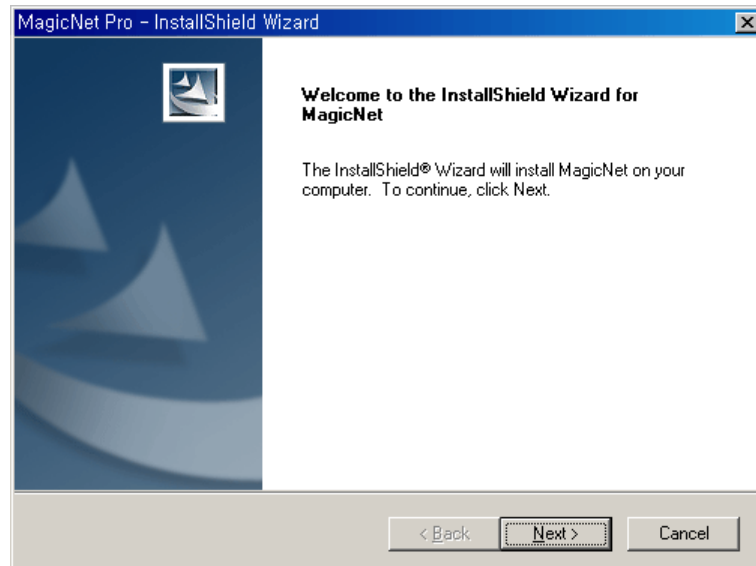
製品の色と外観はモデルによって異なり、製品の仕様は性能の向上のために予告無く変更される場合があります。

ソフトウェアの使用

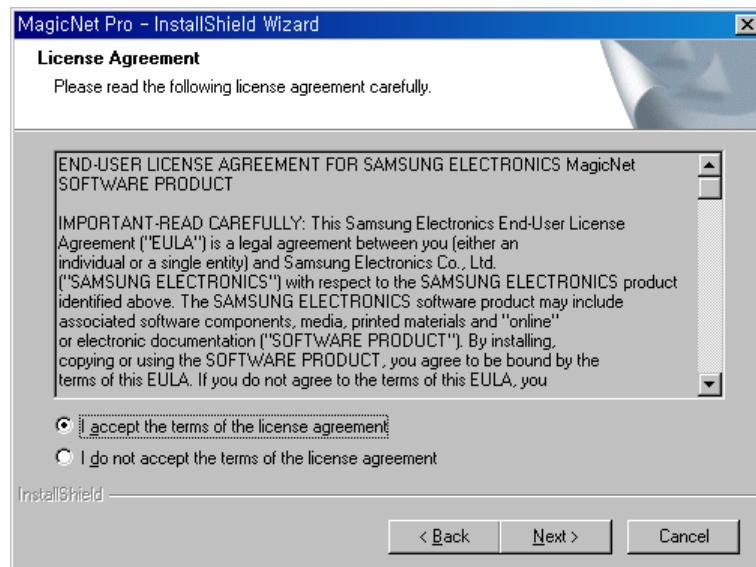
MagicNet インストール

インストール

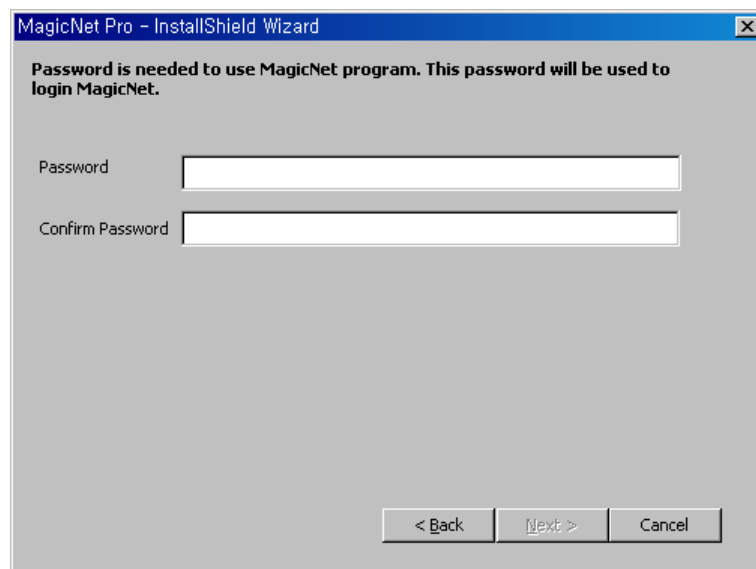
1. インストールCDをCD-ROMドライブに挿入します。
2. MagicNetインストールファイルをクリックします。
3. インストールシールドウィザードのウィンドウが表示されたら、“次へ”をクリックします。



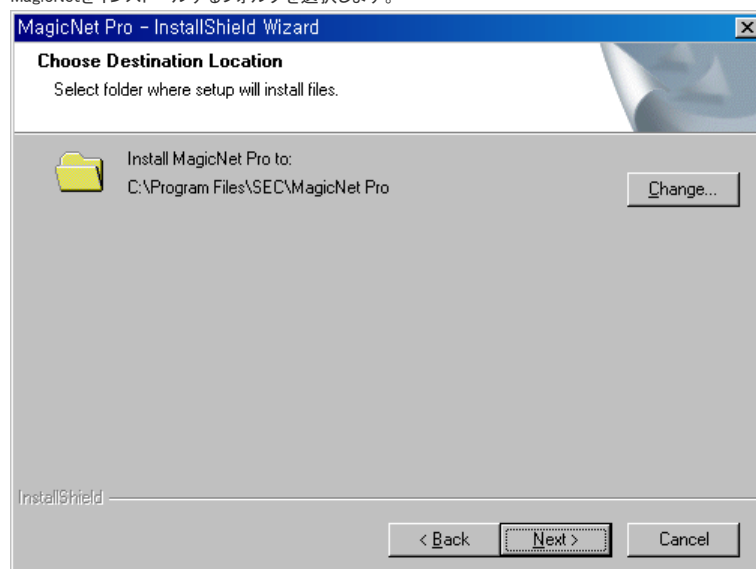
4. “使用許諾契約条件に同意します”を選択して、使用条件に同意します。



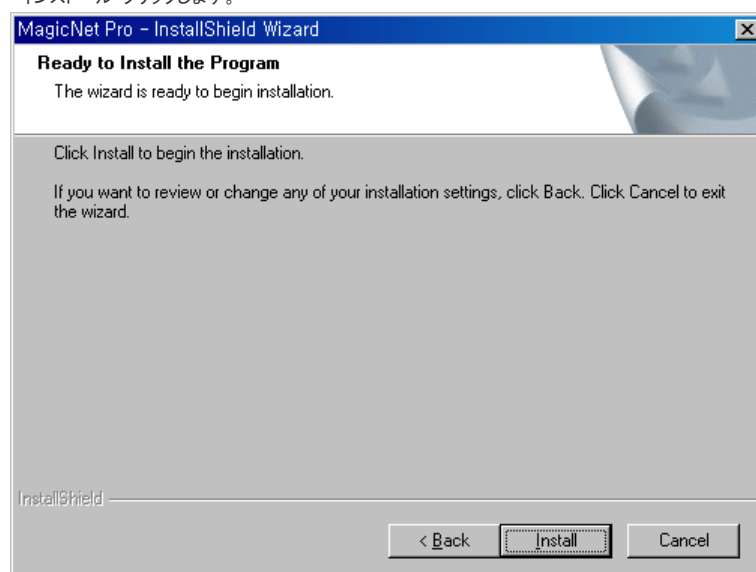
5. MagicNet Server プログラムにログインする必要があります。パスワードを入力してログインしてください。パスワードは、ログイン後に変更することができます。



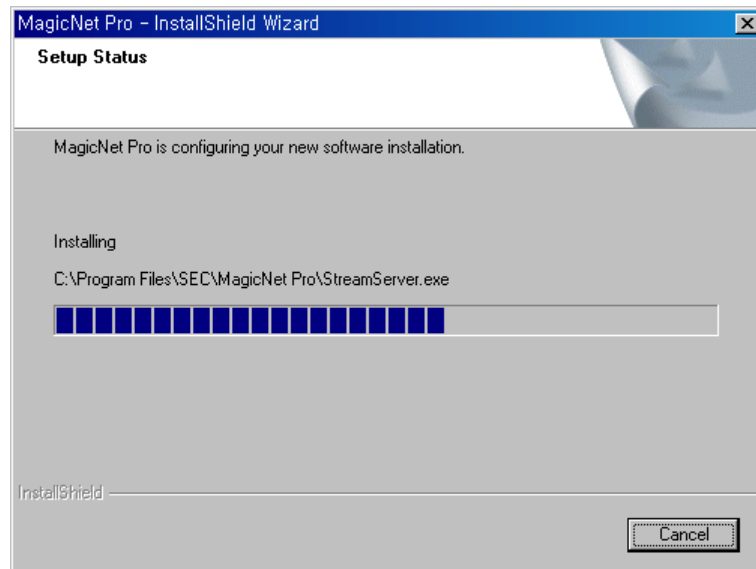
6. MagicNetをインストールするフォルダを選択します。



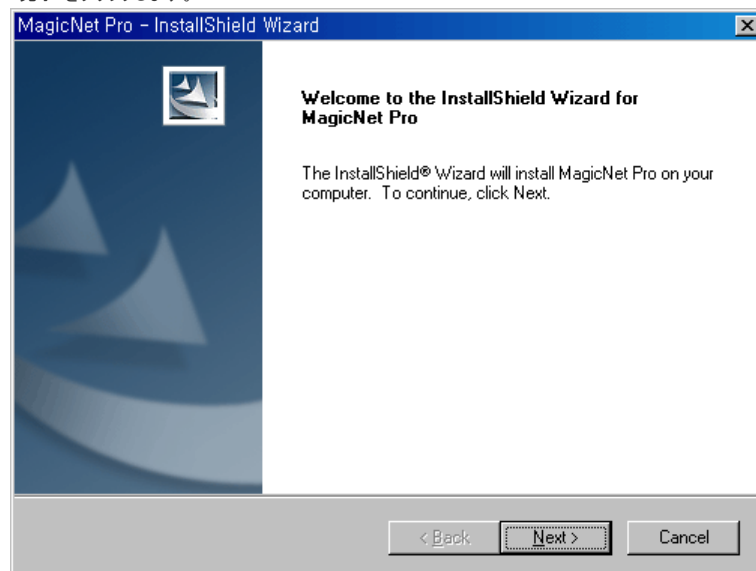
7. “インストール”をクリックします。



8. インストール状況”のウィンドウが表示されます



9. MagicNet Server プログラムを正常に動作させるために、システムを再起動することを推奨します。
“完了”をクリックします。



10. インストールが終了すると、MagicNetの実行アイコンがデスクトップに表示されます。



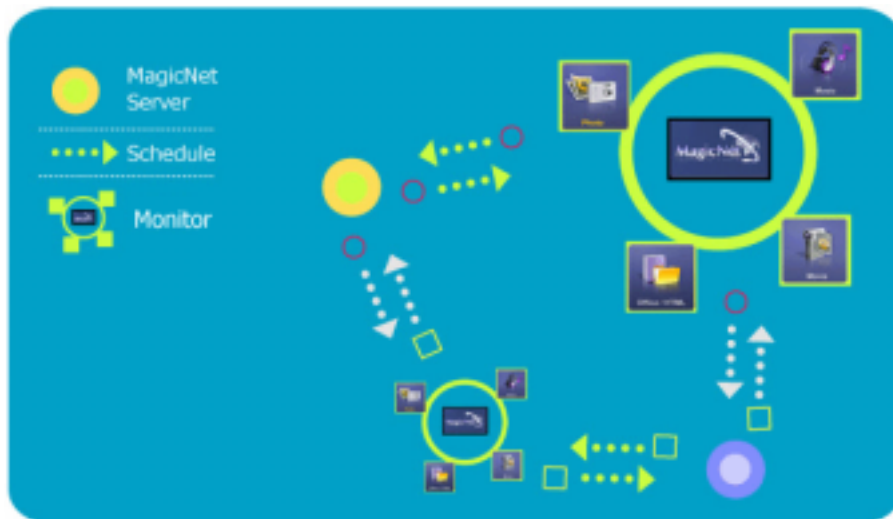
11. アイコンをダブルクリックしてプログラムを起動します。

サーバーのシステム要件

	CPU	RAM	Eイーサネット	OS	アプリケーション
最小	P1.8	256M		Windows XP	
推奨	P3.0Ghz	512M	100M/1G	Windows 2000 (Service Pack 4)	WMP 以降



MagicNetとは?



MagicNetは、Ethernetネットワークをサーバーおよびモニターに使用し、メディアファイル(画像ファイル、音楽ファイルおよび映画)およびオフィスファイル(HTML、PDF)をネットワークを経由してサーバーからモニターへ転送します。複数のモニターがネットワーク経由でサーバーに接続され、サーバーはファイルを同時にすべてのモニターに転送したり、1つのファイルを1つのモニターに転送することができます。ファイルを転送するには2つの方法があります。1つめは、サーバーがモニターにスケジュールを登録し、そのスケジュールに従ってファイルを転送する方法です。2つめは、モニターがサーバーのライブラリリストに登録されているファイルを検索して受信し、それを再生する方法です。2台以上のサーバーが接続されている場合には、モニターはサーバーを選択してそこからスケジュールを受信することができます。モニターには、内蔵のインターネット接続機能があります。サーバーおよびモニターは、ネットワークに接続されます。各サーバーまたはモニターは、ネットワーク上の識別できるように一意の名前が付けられます。サーバーおよびモニターは、同じサーバー名を持っている場合のみ接続できます。たとえば、サーバーの名前が「MagicNet」の場合、サーバー名が「MagicNet」のモニターのみがスケジュールを受信できます。モニターが、登録されているサーバー名と同じであるサーバーを見つけられなかった場合には、その名前のサーバーが現れるまで待機します。しかし、自動接続が有効になっている場合には、モニターは他のサーバーへの接続を試行し、最初に応答したサーバーに接続します。

MagicNetの主な機能

1. 自由な画面デザイン
→ 複数の領域を配置および再生し、その領域のプロパティを変更することで、モニター上に表示される画面の構成を行うことができます。
2. コンテンツのダウンロードまたはストリーミング
→ 画面上でコンテンツを再生するための転送モードとして「ストリーミング」または「ダウンロード」を選択し、環境に合わせて画面に再生することができます。ダウンロードした画面は、モニターがサーバーに接続されていない場合でも、スケジュールで定められた時間にモニター上で再生されます。
3. ライブラリメディアファイルの管理とコンテンツサーバー
→ ライブラリに登録されているコンテンツを、フォルダを作成して効率的に管理することができます。ネットワークの状態に応じてコンテンツサーバーを操作することにより、環境に合わせて画面のコンテンツを再生することができます。
4. ネットワーク/ローカルスケジュールと発行
→ 編集されたモニターを、発行機能を使用して転送することができます。ローカルスケジュールを使用して、ネットワークに接続されていないモニターに画面を転送することもできます。
5. インスタントメッセージ
→ 選択したモニターに、スケジュールと無関係にメッセージを表示することができます。
6. MDCおよびシステム
→ MDCとシステム機能によって、モニターの制御、ステータスの表示、および診断を行うことができます。
7. VNC

→ VNC 機能によって、モニターにリモートから接続して、ステータスの表示、制御および診断を行うことができます。

8. アップデートとPXE

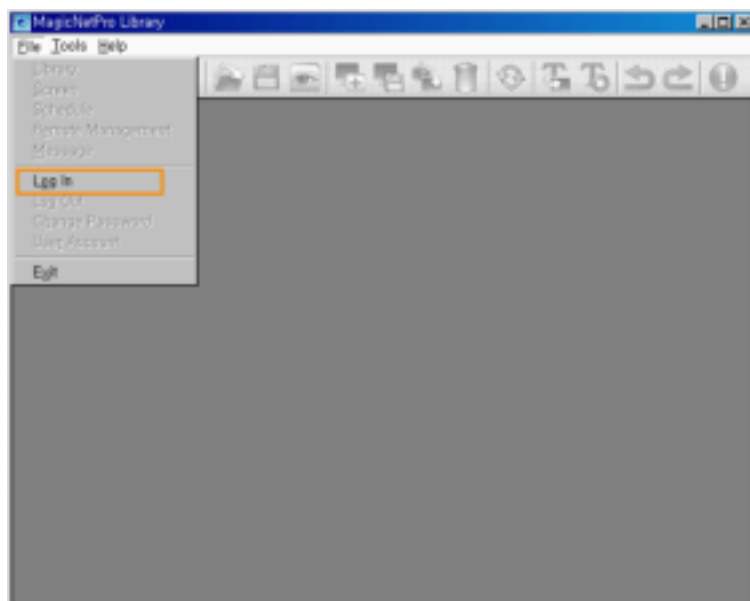
→ アップデート機能により、モニターのプログラムを簡単にアップデートすることができます。PXEによって、モニターのオペレーティングシステム画像を復元することができます。



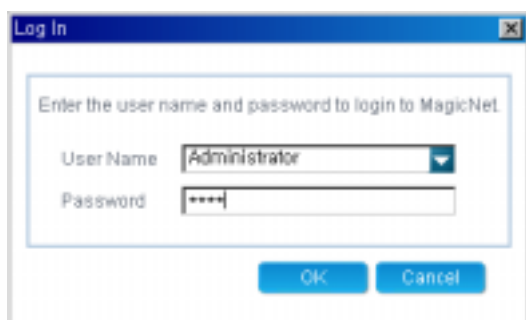
MagicNetの使用

MagicNetの実行

1. [プログラム] -> [MagicNetPro] -> [MagicNetPro]をクリックします。
2. MagicNetProを実行するときは、[ファイル]メニューから[ログイン]を選択します。



3. ユーザー名とパスワードを入力して[OK]をクリックします。

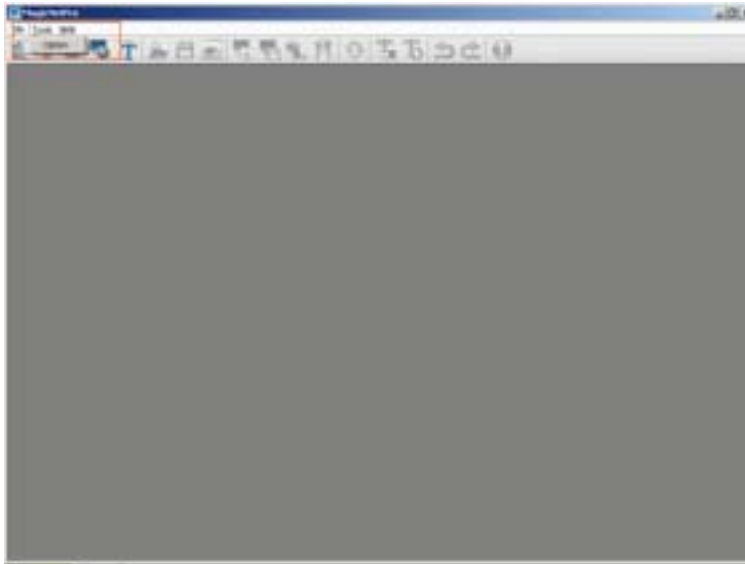


-  初めてログインする場合は、ユーザー名として「Administrator」を選択し、プログラムをインストールしたときに設定したパスワードを入力します。(MagicNetのインストール方法については、「MagicNetのインストール」、「ソフトウェアの使用」を参照してください)

サーバーにモニターを接続する

サーバーの設定

1. [ツール]メニューからオプションを選択し、[サーバー設定]ウィンドウを開きます。



2. [一般事項]タブでネットワーク接続の設定を行います。モニターに、サーバーの名前と同じサーバー名を入力します。サーバー名を変更するには、[サーバー名]項目の[値]フィールドをダブルクリックします。

Item	Value
Network Connection	Automatic connection using server name
Server Name	MagicNet
Network Device	Intel(R) PRO/1000 MT Network Connection - Pack...
Maximum number of undos	10
Refresh Time	5
Show hidden files and folders	On
Maximum number of local monitors	0
Maximum number of network groups	20
Maximum number of Alarm Info	1000
Content Synchronization Period	Daily
Content Synchronization Time	24:00:00
Content Synchronization Sequence	One after the other

3. サーバーに複数のネットワークカードがある場合には、[ネットワーク機器]項目でネットワークカードを選択します。
4. サーバーおよびモニターの両方が同じネットワーク上にある場合には、[値]フィールドで接続方法として「サーバー名を使用して自動接続」を選択します。モニターを設定するときに、同じ設定を使用します。
5. サーバーおよびモニターが別のネットワーク上にある場合には、[値]フィールドで接続方法として「IPアドレスを使用して直接接続」を選択します。モニターを設定するときに、同じ設定を使用します。

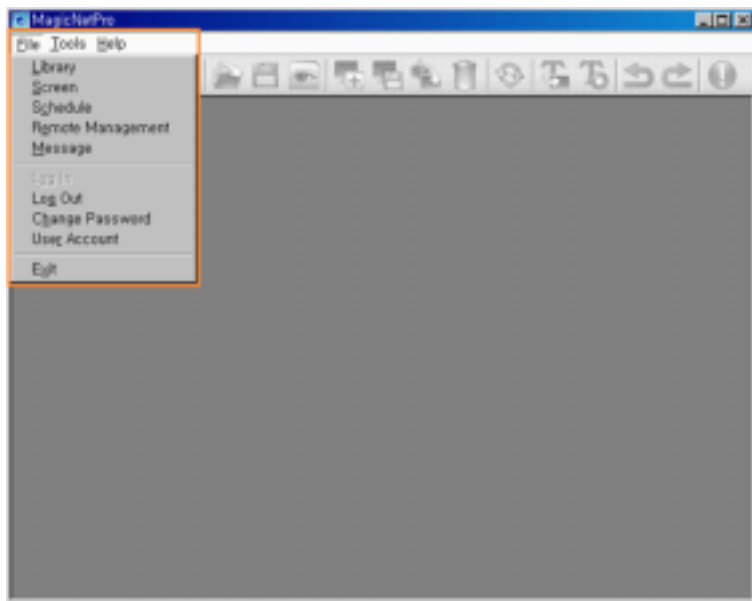
 このとき、モニターが接続するサーバーのIPアドレスは、パブリックIPアドレスでなければなりません。モニターの設定を行うときには、[サーバーIPアドレス]項目にIPアドレスを入力します。

 サーバーがファイアウォールを使用している場合には、モニターのIPアドレスをファイアウォールの例外リストに含めます。

■ モニターの設定

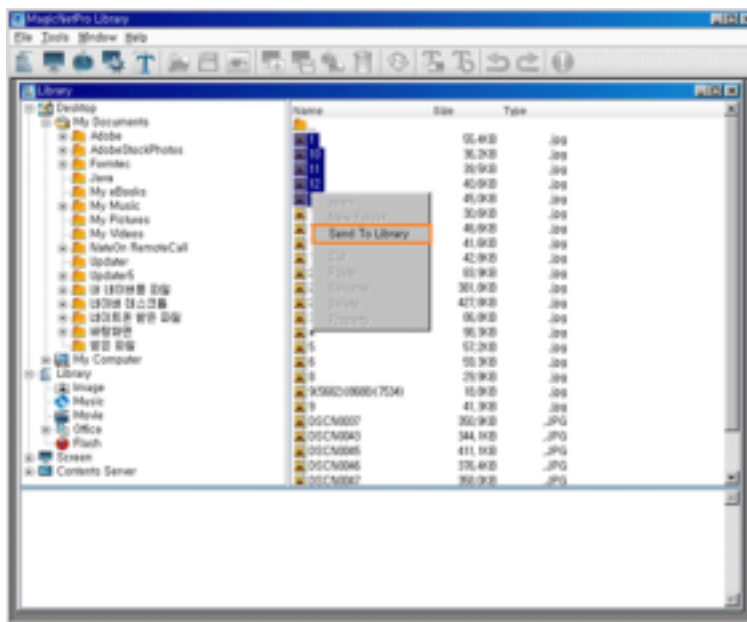
1. モニターの外部入力を「MagicNet」に設定し、[ネットワーク接続]項目の[設定]メニューを使用してIPアドレスをサーバー名を入力します。接続するサーバーのIPアドレスと名前と同じでなければなりません。（詳しくは、「OSD」ページのMagicNetの設定に関する説明を参照してください）
2. モニターがサーバーに正常に接続されたことを通知するメッセージが表示されます。

■ [ファイル]サブメニュー



■ ライブラリの登録

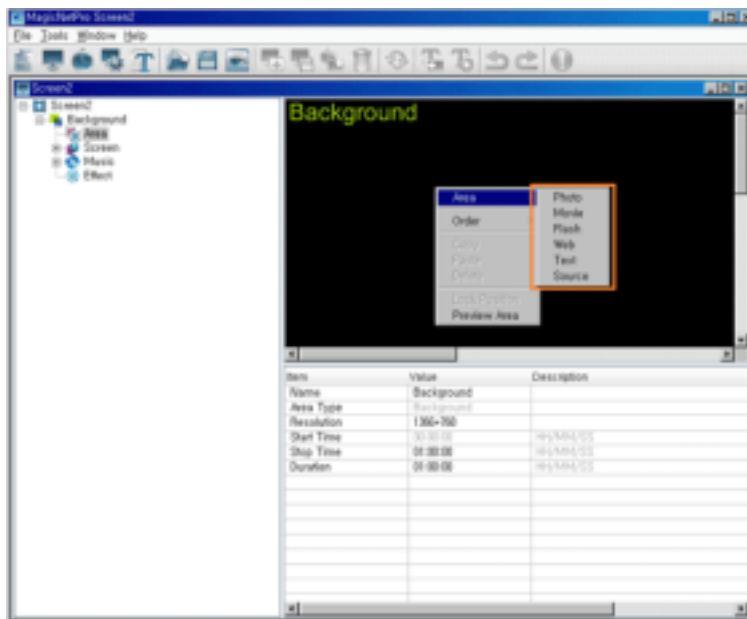
1. [ファイル]メニューからライブラリビューを開きます。
2. サーバー上の写真、音楽、映画、文書、またはFlashファイルなどを選択します。
3. 選択したファイルを右クリックし、表示されるメニューから[ライブラリに送る]を選択して、ライブラリに登録します。



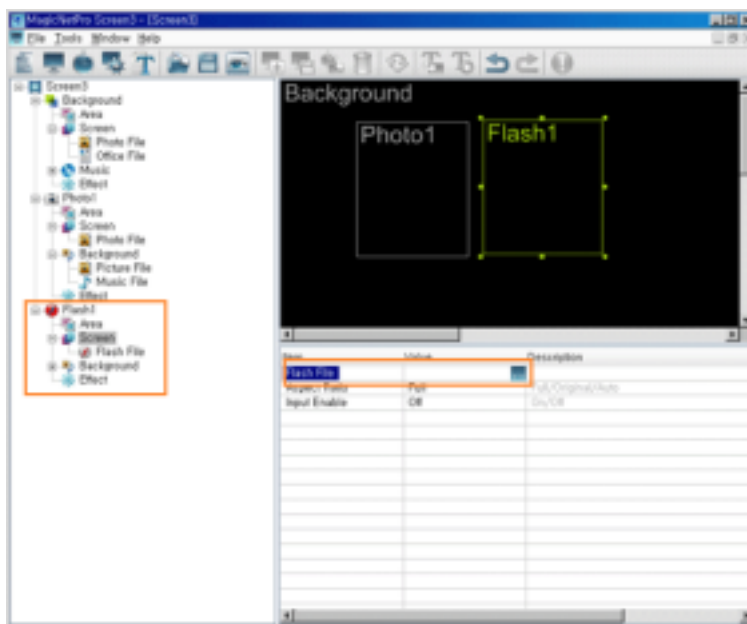
4. 登録済みのライブラリファイルは、動作モードが「プレーヤー」に設定されているか、画面の登録に使用されているときにモニターによって使用されます。

■ 画面の登録

1. [ファイル]メニューから[画面]を選択して画面ビューを開きます。
2. 背景ビューを右クリックします。[領域]をクリックして、表示されたメニューから、[写真]、[映画]、[Flash]、[外部入力]のいずれかをクリックします。



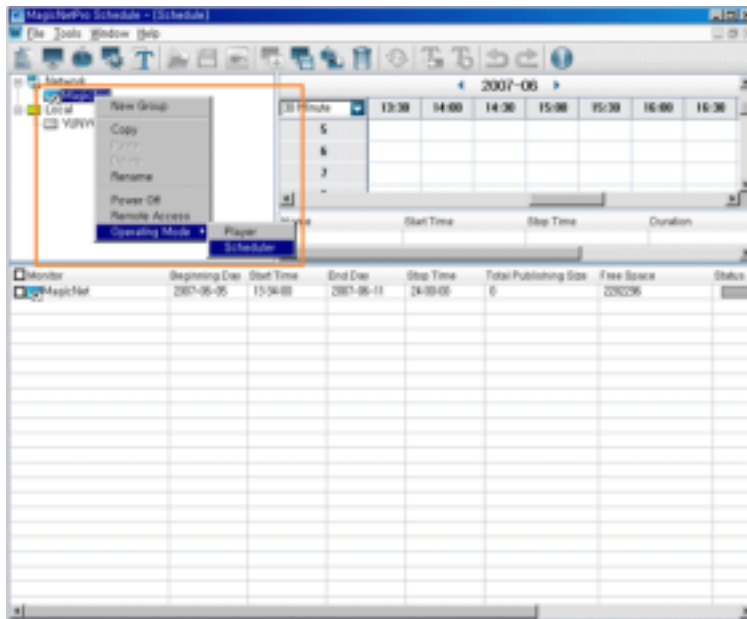
3. マウスポインタが十字(+)に変わったら、編集ビューにドラッグしたファイルを表示する領域を設定します。
4. 領域が設定されたときは、ツリー項目が[背景]項目の下に表示されるのと同じ順序でツリービューに追加されます。追加されたツリー項目は、ステップ2で選択したタイプによって異なります。画面の項目を選択してファイルを選択し、続いて背景項目の下にある項目を選択することができます。



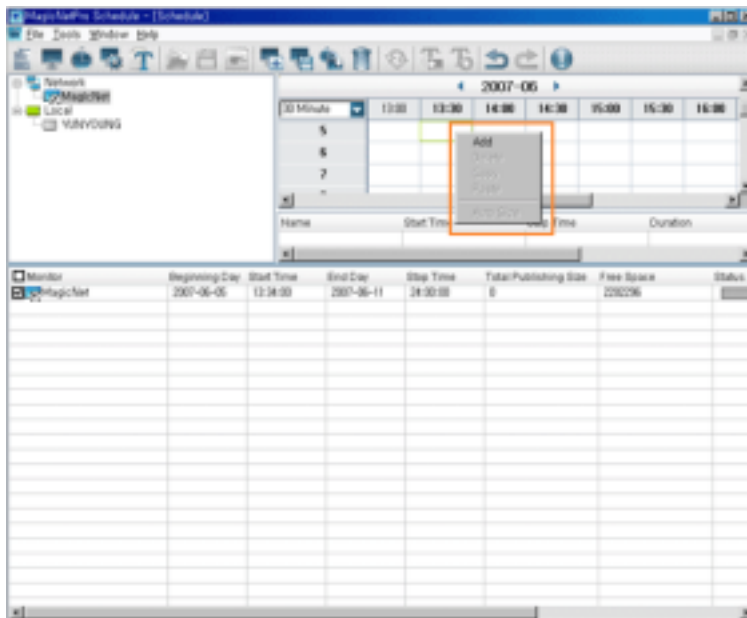
5. ステップ2~4を繰り返して、画面の他の領域を登録します。
6. 領域の登録が終了したら、[ファイル]メニューから[保存]を選択して画面を保存します。
7. 保存した画面をモニターに表示するスケジュールを登録します。

■ スケジュールの登録

1. [ファイル]メニューから[スケジュール]を選択して、スケジュールビューを開きます。
2. スケジュールを登録するモニターを、左側のツリービューで登録します。選択したモニターの動作モードは、サーバーに登録されたスケジュールを表示できる場合には「スケジュール」に設定する必要があります。



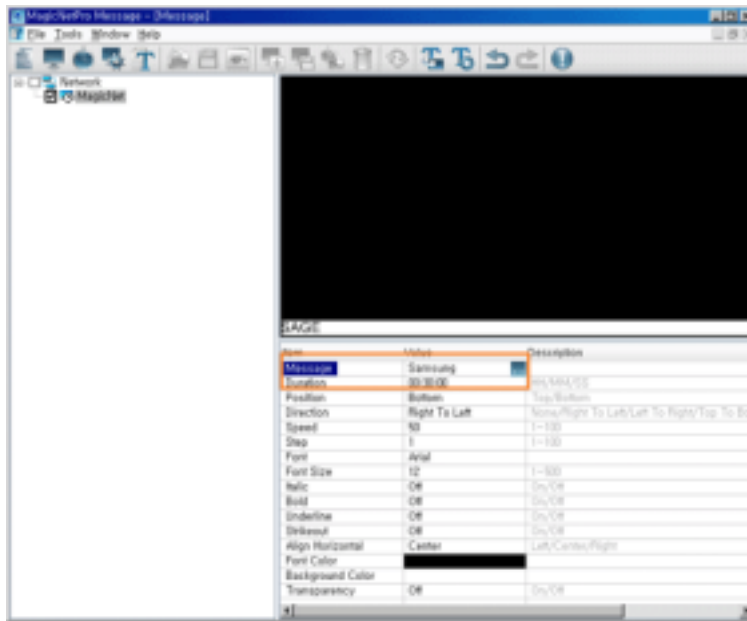
- 右側にある編集ビューで日付と時刻をクリックし、スケジュールが実行される日時を選択します。編集ビューを右クリックし、表示されるメニューから「追加」を選択します。このとき選択できるのは、[画面]メニューを使用して保存した画面に対するスケジュールのみとなります。



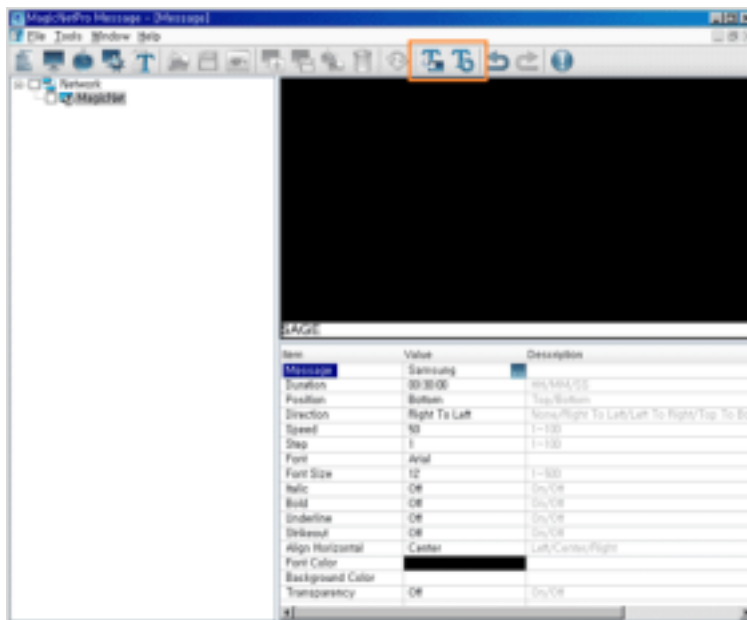
- スケジュールの日時を変更したい場合には、別の日付または時刻にドラッグします。
- [ツール]メニューから「発行」を選択します。選択したスケジュールを登録するモニターの横にあるチェックボックスを選択します。

メッセージの送信

- [ファイル]メニューから「メッセージ」を選択して、メッセージビューを開きます。
- メッセージを登録するモニターの横にあるチェックボックスを選択します。
- メッセージの設定を右下にあるリストビューで行います。ここで入力したテキストが、選択したモニター上に表示されます。



4. 選択したモニター上にメッセージを表示するには、メニューバー下のツールバーにある[メッセージ送信]アイコンをクリックします。
 選択したモニター上に表示されるメッセージを非表示にするには、ツールバーで[メッセージ停止]アイコンをクリックします。

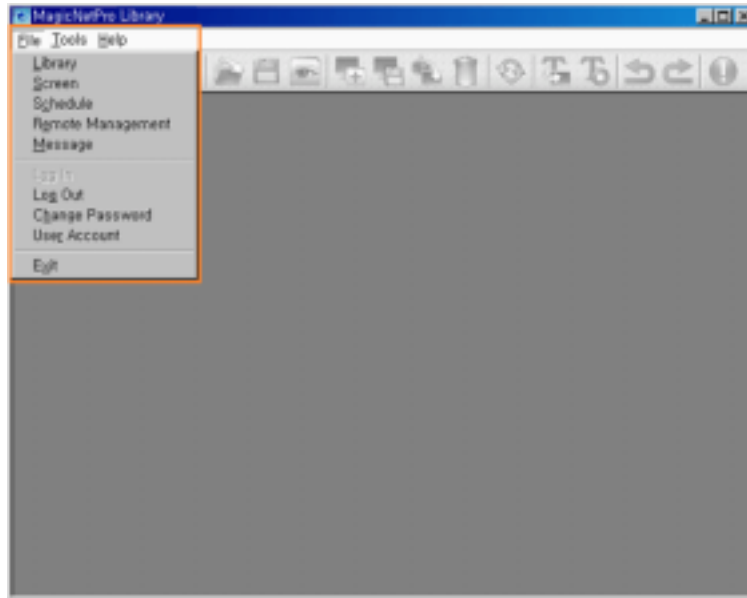




MagicNetとは?		MagicNetの使用		ライブラリ		画面		スケジュール
リモート管理		メッセージ		オプション		クライアント		トラブルシューティング

ライブラリ

[ファイル]メニュー



ライブラリ / 画面 / スケジュール / リモート管理 / メッセージ

- ビューの作成、または各メニュー項目について作成したビューの選択を行い、画面スケジュールの実行とモニターの基本的な制御をサーバーから行うことができます。

閉じる

- 現在作業している画面ビューを閉じます。保存されていない変更がある場合には、新しいウィンドウが表示され保存を行うことができます。

ログイン

- サーバーの機能を利用するには、サーバーにログインする必要があります。サーバーにログインして、サーバーのプログラムを実行することができます。MagicNet Proをインストールしたときに入力したパスワードが、デフォルトで管理者アカウントのパスワードになります。

ログアウト

- サーバーにログインしている場合は、ログアウトすることができます。サーバーからログアウトした場合には、作成したすべてのビューが閉じられ、保存していない変更がある場合には新しいウィンドウが表示されて保存を行うことができます。

パスワードの変更

- 現在ログインしているアカウントのパスワードを変更します。

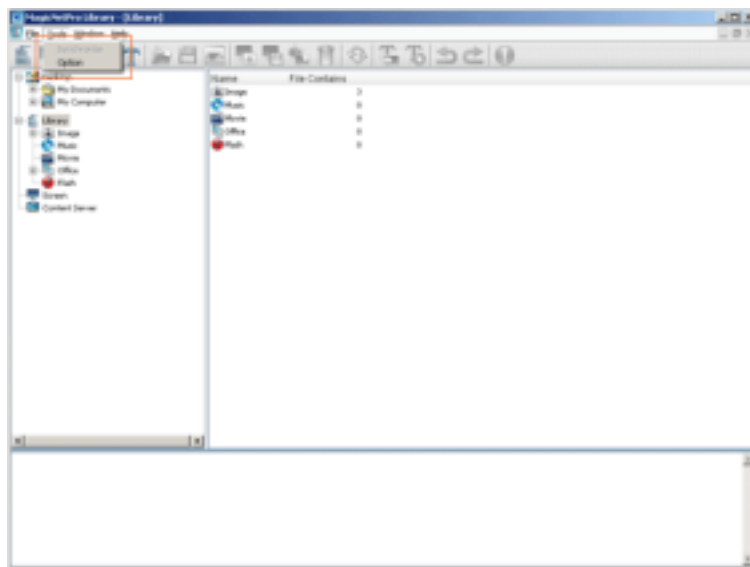
ユーザーアカウント

- サーバーにログインできるユーザーアカウントの作成、削除および変更を行います。管理者とユーザーアカウントの2種類のアカウントを作成できます。
 - Administrator：すべてのサーバー機能を利用する権限があります。
 - User：サーバーオプションの変更とユーザーアカウント機能を除くすべての機能を利用する権限があります。

終了

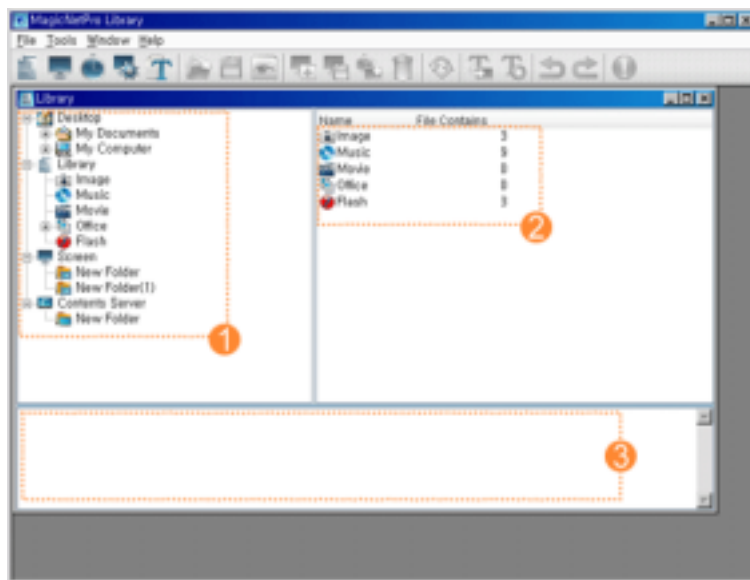
- プログラムを終了します。保存されていない変更がある場合には、新しいウィンドウが表示され保存を行うことができます。

[ツール]メニュー



- ☐  **Synchronize**
 - メインサーバーのライブラリファイルを、コンテンツサーバーのファイルと同期します。
- ☐  **オプション**
 - サーバーの設定を変更します。詳しくは、「オプション」セクションを参照してください。

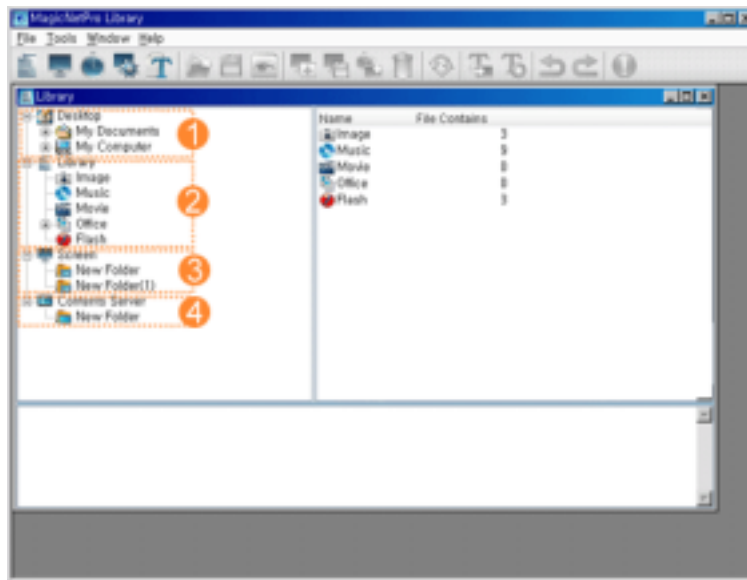
ライブラリ



- 1** ツリービュー
- 2** リストビュー
- 3** 出力ビュー

ツリービュー

Windowsデスクトップの[マイコンピュータ]以下にあるすべてのフォルダ、ライブラリ、画面、およびコンテンツサーバーがツリービューに表示されます。フォルダを選択すると、そのサブフォルダとファイルのリストが右側ペインのビューに表示されます。



- ① 通常のファイルを探す
- ② ライブラリを探す
- ③ 画面ファイルを探す
- ④ コンテンツサーバーを探す

■ 通常のファイルを探す

- サーバーがインストールされているコンピュータのすべてのフォルダをツリービューに表示します。
- 機能: デスクトップにあるフォルダを選択すると、そのサブフォルダおよびライブラリに登録可能なファイルが右側ペインのリストビューに表示されます。

■ ライブラリを探す

- libraryに作成されたすべてのフォルダをツリービューで表示します。
- 機能: デスクトップにあるフォルダを選択すると、そのサブフォルダおよびライブラリに登録可能なファイルが右側ペインのリストビューに表示されます。
- フォルダを選択すると、そのサブフォルダとライブラリファイルのリストが右側ペインのビューに表示されます。
- ホットキー
 - F2 キー: 選択したフォルダの名前を変更します。
 - Delete キー: 選択したフォルダ、そのサブフォルダ、および選択したフォルダ内のすべてのファイルを削除します。
- ドラッグ&ドロップ
 - デスクトップファイル: リストビューからライブラリにファイルをドラッグアンドドロップする場合は、そのライブラリに登録できるかどうかのチェックが行われ、可能であれば登録します。
 - ライブラリファイル: リストビューからライブラリにファイルをドラッグアンドドロップする場合、ファイルとライブラリの両方のコンテンツタイプが同じであればライブラリに移動します。

■ 画面ファイルを探す

- ツリービューに[画面]メニューで作成した画面管理フォルダを表示します。
- 機能:
 - フォルダを選択して、右側のリストウィンドウで選択したフォルダ内にあるサブフォルダと画面ファイルを、
 - ホットキー
 - F2 キー: 選択したフォルダの名前を変更します。
 - Delete キー: 選択したフォルダ、そのサブフォルダ、および選択したフォルダとサブフォルダ内のすべてのファイルを削除します。
 - ドラッグ&ドロップ
 - 画面ファイル: リストビューで画面ファイルをドラッグアンドドロップすると、フォルダに移動されます。

■ コンテンツサーバーを探す

- ツリービューにコンテンツサーバーの管理フォルダを表示します。
-

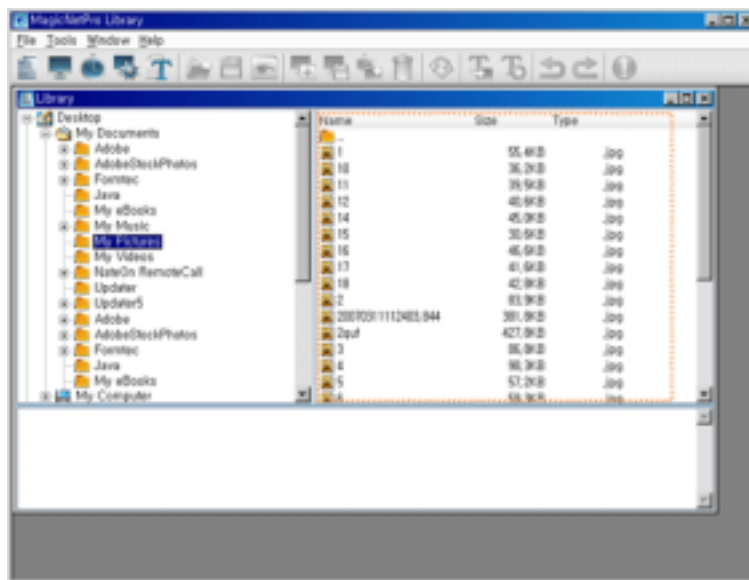
機能:

- フォルダを選択すると、そのサブフォルダとコンテンツサーバーのリストが右側ペインのビューに表示されます。
- ホットキー
 - F2 キー: 選択したフォルダの名前を変更します。
 - Delete キー: 選択したフォルダ、そのサブフォルダ、および選択したフォルダとサブフォルダ内のすべてのファイルを削除します。
- ドラッグ&ドロップ
 - コンテンツサーバー: ツリービューでコンテンツサーバーをコンテンツサーバーフォルダにドラッグアンドドロップすると、そのフォルダに移動されます。

■ リストビュー

ツリーウィンドウで選択したすべてのフォルダおよびファイルまたはコンテンツサーバーを、リストとして表示します。項目のドラッグアンドドロップ、ショートカットキーの使用、コンテキストメニューを使用した項目の移動、削除および名前の変更を行うことができます。

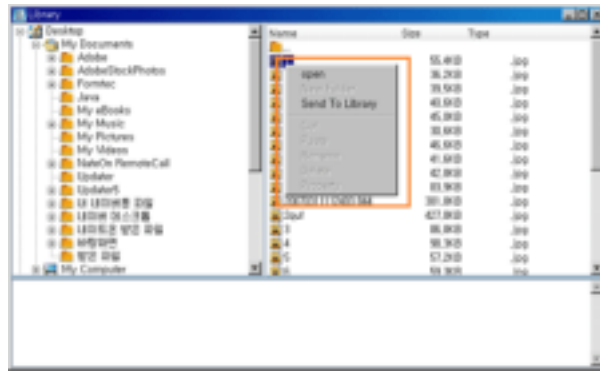
■ 通常のファイルを探す



選択したフォルダ内のサブフォルダおよびファイルを表示します。

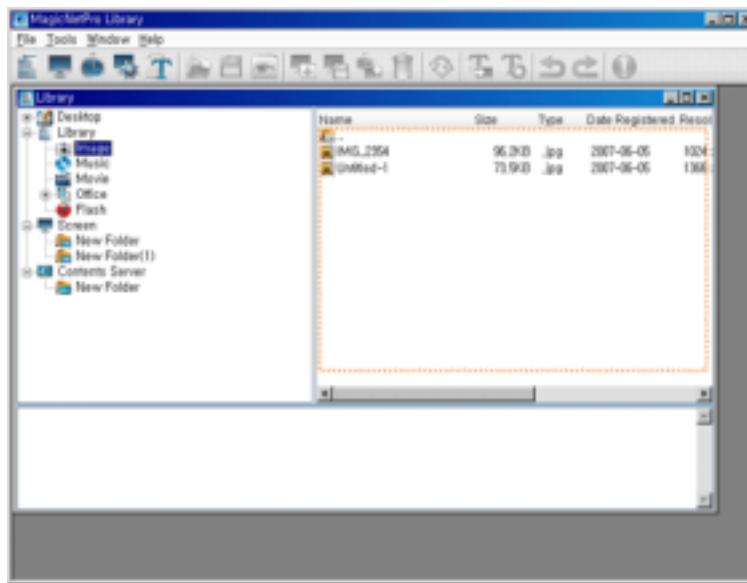
機能:

- ダブルクリック
 - 上向き矢印アイコンをダブルクリックすると、上のフォルダに移動します。
 - 下向き矢印アイコンをダブルクリックすると、下のフォルダに移動します。
 - ファイルアイコンをダブルクリックすると、そのファイルを実行します。
- ドラッグ&ドロップ
 - ファイルをリストビューからライブラリにドラッグアンドドロップすると、ライブラリに登録されます。ただし、フォルダのドラッグ&ドロップの機能はサポートされていません。



- 開く: フォルダの[開く]をクリックすると、そのフォルダに移動できます。ファイルの[開く]をクリックすると、そのファイルを実行します。
- ライブラリに送る: 選択したファイルの[ライブラリに送信]をクリックすると、ライブラリに登録されます。

■ ライブラリを探す



 選択したフォルダ内のサブフォルダおよびファイルを表示します。

 機能:

■ ダブルクリック

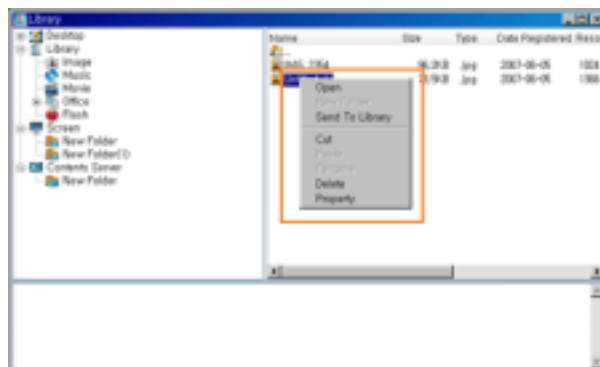
-  をダブルクリックすると、上のフォルダに移動します。
-  をダブルクリックすると、下のフォルダに移動します。
- ファイルをダブルクリックすると、そのファイルを実行します。

■ ドラッグ&ドロップ

- ツリービューまたはリストビューでライブラリファイルをライブラリフォルダにドラッグアンドドロップすると、ライブラリファイルとライブラリフォルダのコンテンツタイプが同じであれば、そのフォルダにライブラリファイルが移動します。ただし、フォルダのドラッグ&ドロップの機能はサポートされていません。

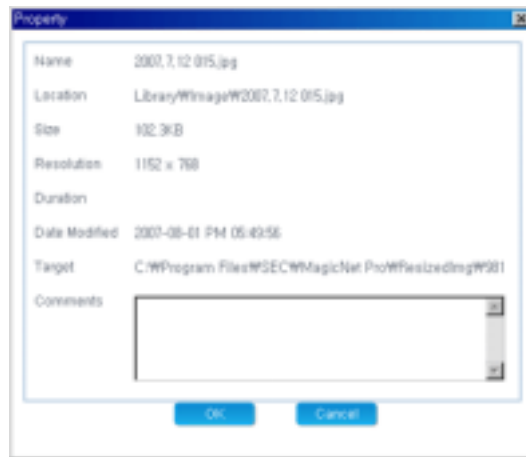
■

コンテキストメニュー

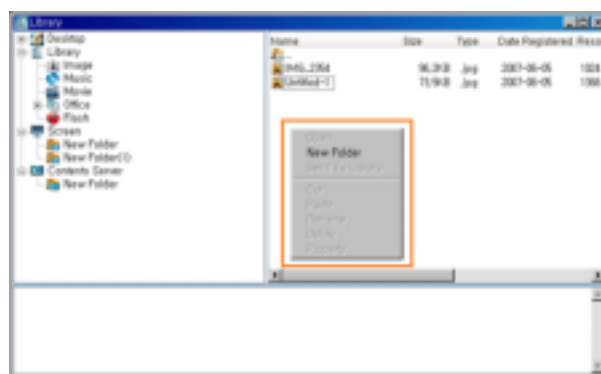


- 開く: フォルダの[開く]をクリックすると、そのフォルダに移動できます。ファイルの[開く]をクリックすると、そのファイルを実行します。

- ライブラリに送る: 選択したライブラリファイルを、各コンテンツ項目の最も上位のフォルダに移動します。ただし、このメニューはフォルダを選択したときには無効になります。
- 切り取り: 選択したライブラリファイルを切り取ってクリップボードに入れ、別の場所に貼り付けられるようにします。ただし、このメニューはフォルダを選択したときには無効になります。
- 貼り付け: クリップボードに切り取られたファイルを選択した場所に貼り付けます。ただし、このメニューはツリービューで選択されたフォルダがライブラリまたはオフィスフォルダの場合には無効になります。
- 名前の変更: 選択したフォルダの名前を変更します。ただし、このメニューはツリービューでライブラリまたはオフィスフォルダが選択されているときは無効になります。このメニュー項目はライブラリファイルではサポートされていません。
- 削除: 選択したフォルダおよびライブラリファイルを削除します。ただし、ツリービューでライブラリまたはオフィスフォルダが選択され、選択に上位のフォルダを示す「..」が含まれる場合には無効になります。
- プロパティ: 選択したライブラリファイルの詳細な情報を表示します。コメントを追加することができます。



- 名前: 選択したファイルの名前
- 場所: 選択したファイルが登録されている場所
- サイズ: 選択したファイルのサイズ
- 解像度: 選択したファイルの解像度
- 継続時間: 選択したファイルの再生時間
- 変更日: 選択したファイルが最後に修正された日
- ターゲット: 選択したファイルの実際の場所
- コメント: 選択したライブラリファイルについてユーザーが入力したコメント。編集可能。

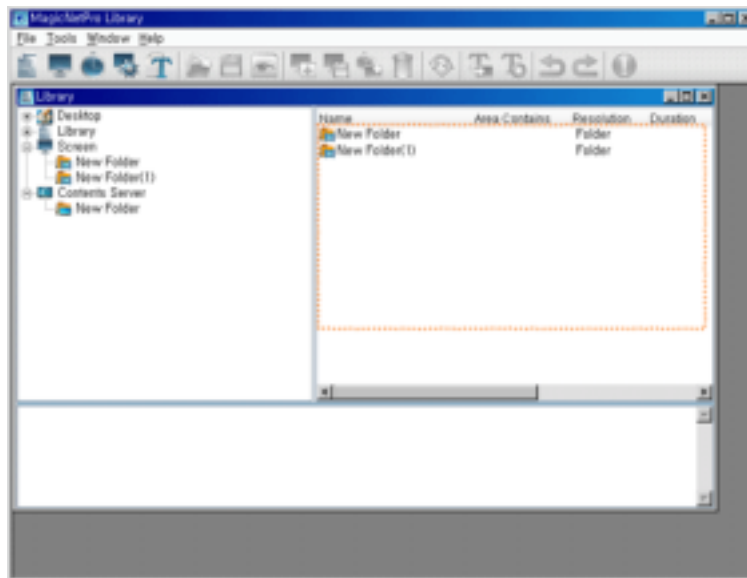


- 新規フォルダ: このメニューは、フォルダもファイルも選択されていないときにのみ有効になります。このメニュー項目を選択すると、新しいフォルダが作成されます。ただし、ツリービューでライブラリまたはオフィスフォルダが選択されているときは無効になります。

■ ホットキー

- F2 キー: 選択したフォルダの名前を変更します。ただし、ファイルの名前は変更できません。
- Delete キー: 選択したフォルダ、サブフォルダおよびライブラリファイルを削除します。
- Ctrl + X キー: 選択したライブラリファイルを切り取ってクリップボードに入れ、別の場所に貼り付けられるようにします。ただし、このホットキーはフォルダに対してはサポートされていません。
- Ctrl + V キー: クリップボードに切り取られたライブラリファイルを選択した場所に貼り付けます。ただし、ツリービューでライブラリまたはオフィスフォルダが選択されているときは貼り付けは行えません。

■ 画面を探す



 選択したフォルダ内のサブフォルダおよびファイルを表示します。

 機能:

 ダブルクリック

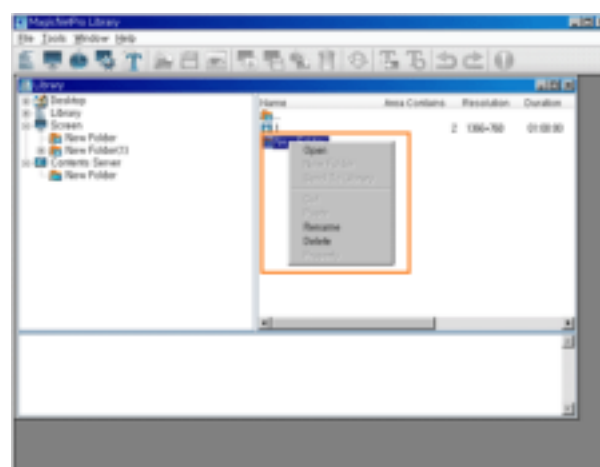
-  をダブルクリックすると、上のフォルダに移動します。
-  をダブルクリックすると、下のフォルダに移動します。

 ドラッグ&ドロップ

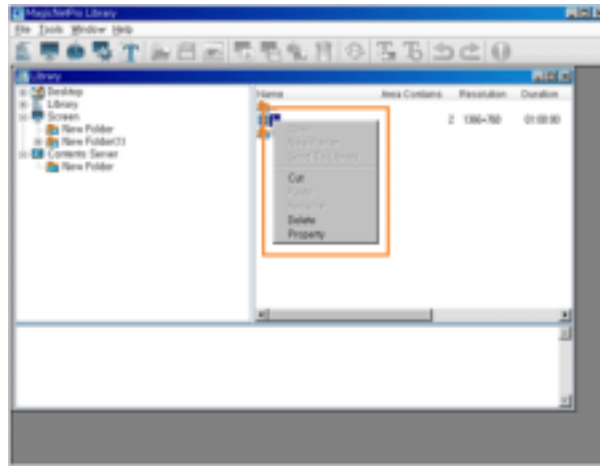
- 画面ファイルをツリービューまたはリストビューで画面フォルダにドラッグアンドドロップした場合、そのフォルダに移動されます。ただし、フォルダのドラッグ&ドロップの機能はサポートされていません。



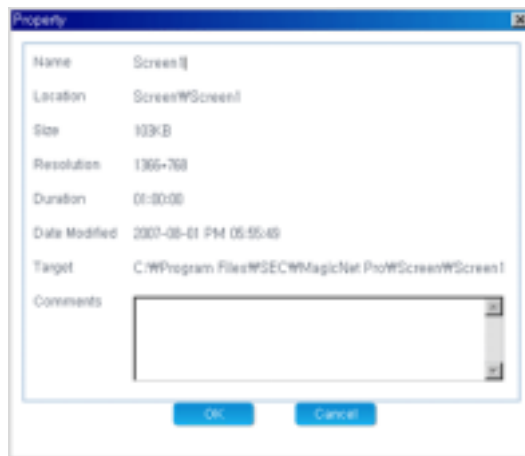
コンテキストメニュー



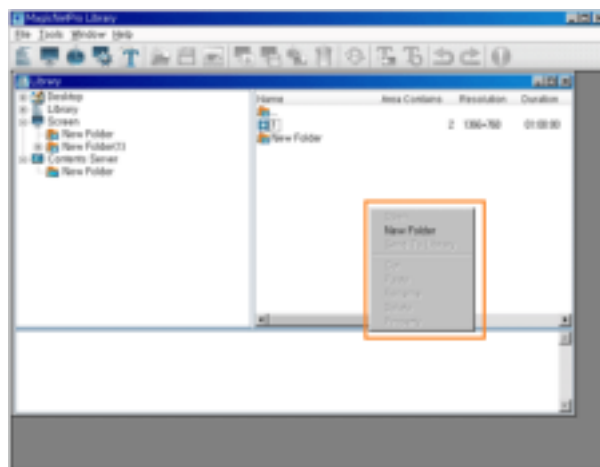
- 開く: フォルダの[開く]をクリックすると、そのフォルダに移動できます。ただし、このメニューは画面ファイルを選択したときには無効になります。
- 名前の変更: 選択したフォルダの名前を変更します。ただし、このメニュー項目は画面ファイルについてはサポートされていません。
- 削除: 選択した画面ファイルおよびフォルダを削除します。ただし、選択に上位のフォルダを示す「...」が含まれる場合には、このメニューは無効になります。



- 切り取り: 選択した画面ファイルを切り取ってクリップボードに入れ、別の場所に貼り付けられるようにします。ただし、このメニューはフォルダを選択したときには無効になります。
- 削除: 選択した画面ファイルおよびフォルダを削除します。ただし、選択に上位のフォルダを示す「…」が含まれる場合には、このメニューは無効になります。
- プロパティ: 選択した画面ファイルの詳細情報を表示します。コメントを入力することができます。



- 名前: 選択した画面の名前
- 場所: 選択した画面が登録されている場所
- サイズ: 選択した画面のサイズ
- 解像度: 選択した画面の解像度
- 継続時間: 選択した画面の再生時間
- 変更日: 選択した画面が最後に修正された日
- ターゲット: 選択した画面の実際の場所
- コメント: 選択した画面についてユーザーが入力したコメント。編集可能。



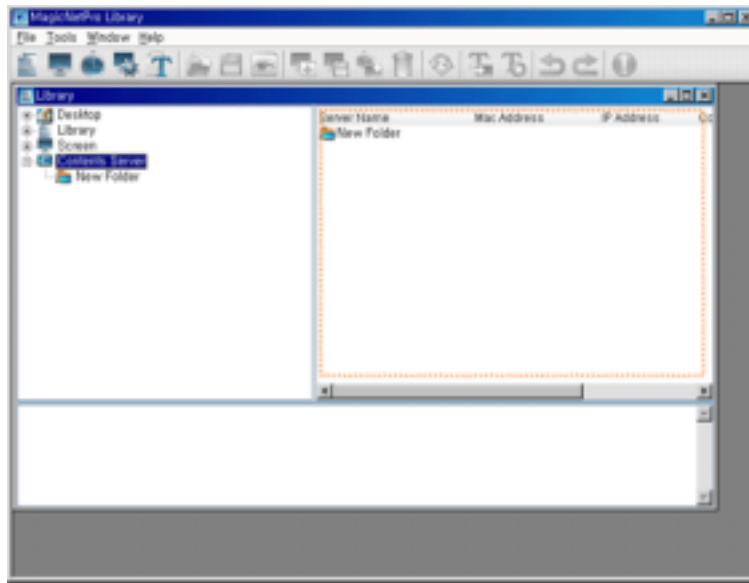
- 新規フォルダ: これはフォルダもファイルも選択されていないときにのみ有効になります。このメニュー項目を選択すると、選択した場所に新しいフォルダが作成されます。


 ホットキー

- F2 キー: 選択したフォルダの名前を変更します。ただし、ファイルの名前は変更できません。
- Delete キー: 選択したフォルダ、サブフォルダおよび画面ファイルを削除します。

- Ctrl + X キー: 選択した画面ファイルを切り取ってクリップボードに入れ、別の場所に貼り付けられるようにします。ただし、このホットキーはフォルダに対してはサポートされていません。
- Ctrl + V キー: クリップボードに切り取られた画面ファイルを選択した場所に貼り付けます。

■ コンテンツサーバーを探す



 選択したフォルダ内のサブフォルダおよびコンテンツサーバーを表示します。

 機能:

 ダブルクリック

-  をダブルクリックすると、上のフォルダに移動します。
-  をダブルクリックすると、下のフォルダに移動します。

 ドラッグ&ドロップ

- コンテンツサーバーをツリービューまたはリストビューでコンテンツサーバーフォルダにドラッグアンドドロップした場合、そのフォルダに移動されます。ただし、フォルダのドラッグ&ドロップの機能はサポートされていません。



コンテキストメニュー

- 開く: フォルダの[開く]をクリックすると、そのフォルダに移動できます。ただし、このメニューはコンテンツサーバーを選択したときには無効になります。
- 新規サーバー: フォルダまたはファイルが選択されていないときにのみ軌道します。このメニュー項目を使用して、新しいサーバーのMACアドレス、サーバー名、およびコメントを入力できます。



- MACアドレス: 新たに作成したコンテンツサーバーのMACアドレス
- サーバー名: 新たに作成したコンテンツサーバーの名前
- コメント: 新たに作成したコンテンツサーバーについてのコメント
- 新規フォルダ: これはフォルダもファイルも選択されていないときにのみ有効になります。このメニュー項目を選択すると、選択した場所に新しいフォルダが作成されます。
- 切り取り: 選択したコンテンツサーバーを切り取ってクリップボードに入れ、別の場所に貼り付けられるようにします。ただし、このメニューはフォルダを選択したときには無効になります。
- 貼り付け: クリップボードに切り取られたコンテンツサーバーを選択した場所に貼り付けます。
- 名前の変更: 選択したフォルダの名前を変更します。ただし、コンテンツサーバーについては、名前の変更は[プロパティ]ウィンドウでのみ行えます。
- 削除: 選択したコンテンツサーバーおよびフォルダを削除します。ただし、選択に上位のフォルダを示す「..」が含まれる場合には、このメニューは無効になります。
- プロパティ: プロパティ: 選択したコンテンツサーバーのMACアドレス、サーバー名、およびコメントを編集できます。



- 1) MACアドレス: 選択したコンテンツサーバーのMACアドレス。編集可能。
- 2) サーバー名: 選択したコンテンツサーバーのサーバー名。編集可能。
- 3) IPCアドレス: 選択したコンテンツサーバーのIPアドレス。編集可能。
- * 回でもコンテンツサーバーが接続されると、IPアドレスが表示されます。
- 4) コメント: 選択したコンテンツサーバーについてのコメント
- 5) History: コンテンツサーバーの同期履歴記録を表示

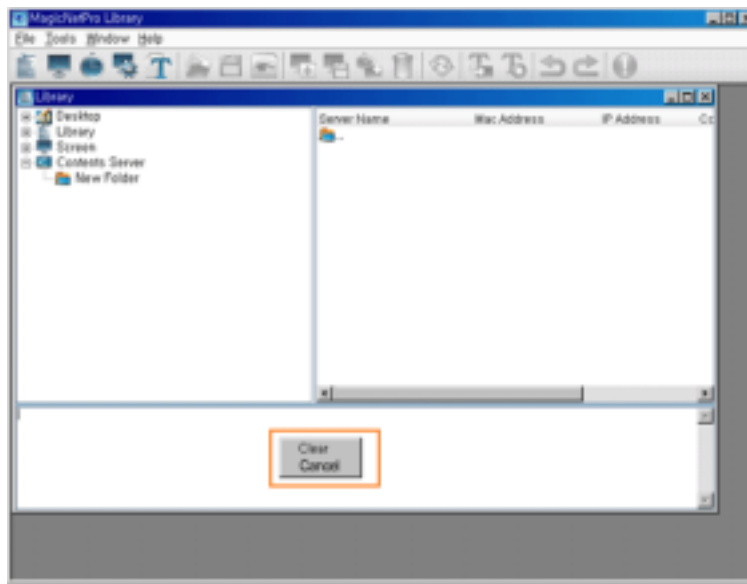
📁 ホットキー

- F2 キー: 選択したフォルダの名前を変更します。ただし、ファイルの名前は変更できません。
- Delete キー: 選択したフォルダ、サブフォルダおよびコンテンツサーバーを削除します。
- Ctrl + X キー: 選択したコンテンツサーバーを切り取ってクリップボードに入れ、別の場所に貼り付けられるようにします。ただし、このホットキーはフォルダに対してはサポートされていません。
- Ctrl + V キー: クリップボードに切り取られたコンテンツサーバーを選択した場所に貼り付けます。

📁 コンテンツサーバーのステータス

-  このアイコンは、コンテンツサーバーに接続しているときに表示されます。
-  このアイコンは、コンテンツサーバーと同期しているときに表示されます。
-  このアイコンは、コンテンツサーバーと同期できないときに表示されます。
-  このアイコンは、コンテンツサーバーに接続されていないときに表示されます。

🖨 出力ビュー



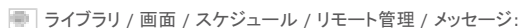
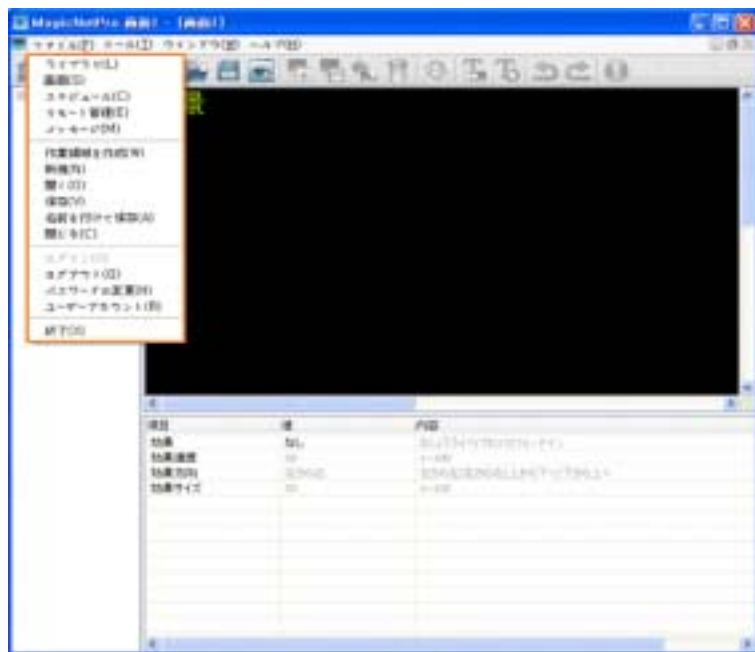
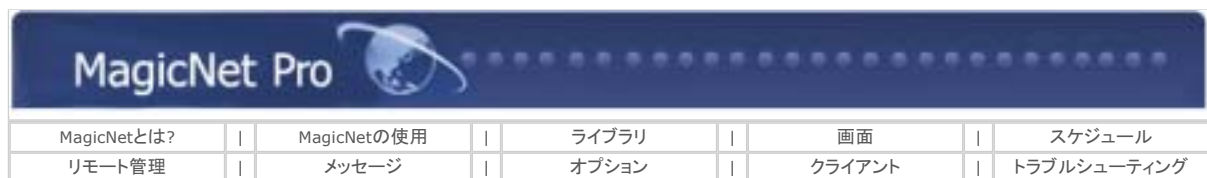
-  ライブラリの追加および削除の進行状況と結果を表示します。このビューを使用して、追加または削除のコマンドをキャンセルすることができます。

コンテキストメニュー

- クリア: すべてのライブラリの進行状況と結果メッセージをクリアします。
- キャンセル: 完了していないライブラリの追加または削除コマンドを選択してキャンセルすることができます。

ホットキー

- Ctrl + C: 選択したメッセージをクリップボードにコピーして、別の場所に貼り付けられるようにします。



- ビューの作成、または各メニュー項目について作成したビューの選択を行い、画面スケジュールの実行とモニターの基本的な制御をサーバーから行えるようにします。



- 新しい画面ビューを作成し、複数の画面ビューのデザインを行います。画面ビューを除く他のタイプのビューでは、作成できるビューは1つのみとなります。



- 現在作業している画面ビューを初期化します。保存されていない変更がある場合には、新しいウィンドウが表示され保存を行うことができます。



- 画面ファイルを開きます。保存されていない変更がある場合には、新しいウィンドウが表示され保存を行うことができます。



- 現在の画面ファイルへの変更を保存したり、新しい画面ファイルとして保存します。



- 現在作業している画面ビューを閉じます。保存されていない変更がある場合には、新しいウィンドウが表示され保存を行うことができます。



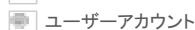
- サーバーの機能を利用するには、サーバーにログインする必要があります。サーバーにログインして、サーバーのプログラムを実行することができます。MagicNet Proをインストールしたときに入力したパスワードが、デフォルトで管理者アカウントのパスワードになります。



- サーバーにログインしている場合は、ログアウトすることができます。サーバーからログアウトした場合には、作成したすべてのビューが閉じられ、保存していない変更がある場合には新しいウィンドウが表示されて保存を行うことができます。



- 現在ログインしているアカウントのパスワードを変更します。



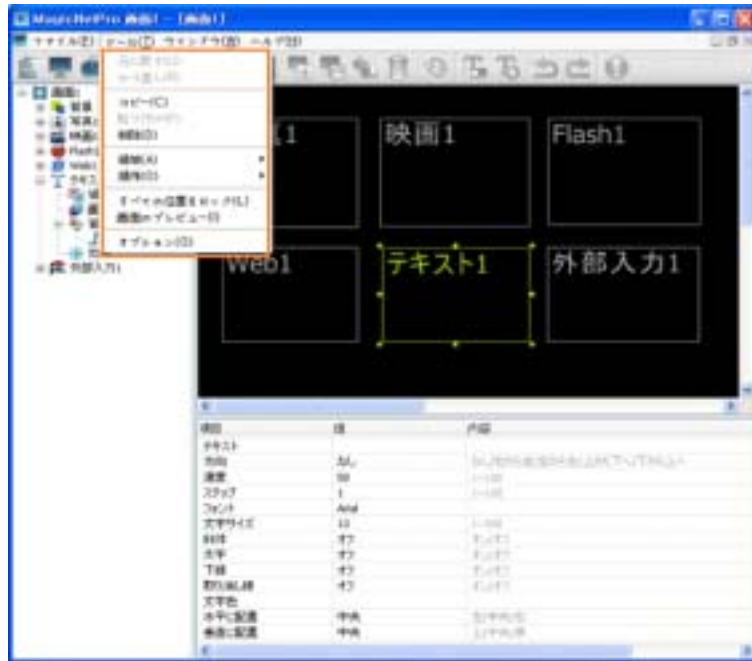
- サーバーにログインできるユーザーアカウントの作成、削除および変更を行います。管理者とユーザーアカウントの2種類のアカウントを作成できます。
 - 管理者:すべてのサーバー機能を利用する権限があります。

- ユーザー:サーバーオプションの変更とユーザーアカウント機能を除くすべてのサーバー機能を利用する権限があります。

 終了

- プログラムを終了します。保存されていない変更がある場合には、新しいウィンドウが表示され保存を行うことができます。

..... [ツール]メニュー



 元に戻す / やり直し

- 直前に実行したコマンドをキャンセル、またはキャンセルされたコマンドを再度実行します。元に戻すコマンドの最大数は、[オプション]メニューで変更することができます。

 コピー / 貼り付け / 削除

- 現在選択しているデータをコピー、貼り付けおよび削除します。

 領域

- 作成する領域のタイプを選択します。領域を[画面編集]ウィンドウにドラッグアンドドロップすると、編集することができます。

 複数の外部入力領域を同時に再生することはできません。したがって、外部入力領域の再生時刻が重なっている場合には、再生時間が終了した外部入力領域が後で再生されます。
(写真、映画、Flash、Web、テキスト、または外部入力の各領域を追加できます)

 順序

- 現在選択している領域の順序を変更します。
 外部入力領域は常に最も上の位置になければなりません。
(前面へ、背面へ、前へ、後ろへ)

 すべての位置をロック

- 作成したすべての領域の位置をロックします。領域がロックされると、マウスを使用してその位置とサイズを変更できなくなります。

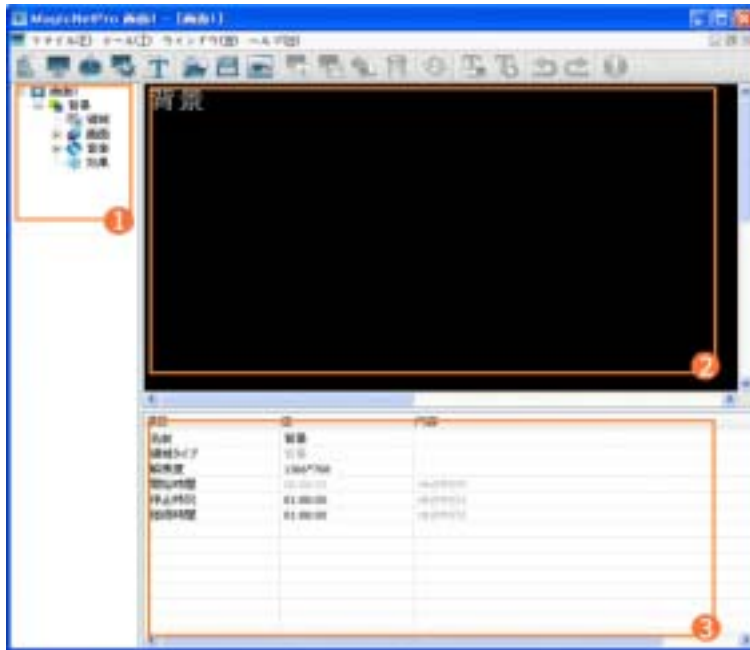
 画面のプレビュー

- 現在の状態をプレビューします。別のプレビューウィンドウが表示されます。プレビューウィンドウを閉じるには、ダブルクリックするかESCキーを押します。
 外部入力および背景のオフィスファイルはプレビューできません。

 オプション

- サーバーの設定を変更します。詳しくは、「オプション」セクションを参照してください。

画面



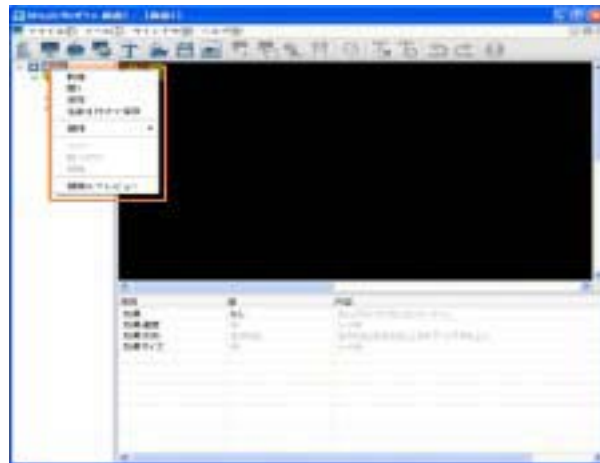
- ① ツリービュー
- ② ビューの編集
- ③ リストビュー

ツリービュー

ツリーは、編集ビューで領域が作成された順序に従って作成されます。ツリービューを使用して、編集ビューで現在選択されている領域をチェックすることができます。領域のプロパティを選択している場合には、詳細なプロパティ情報がリストビューに表示されます。

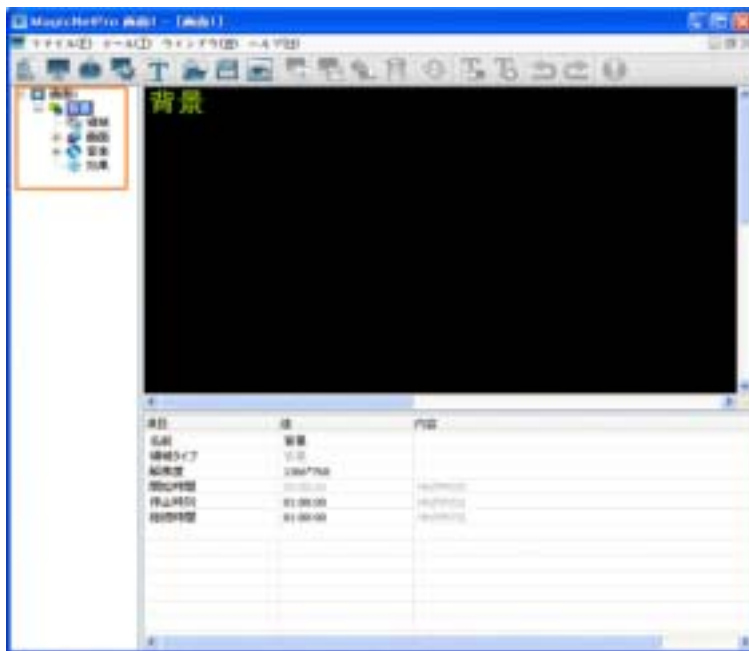


コンテキストメニュー



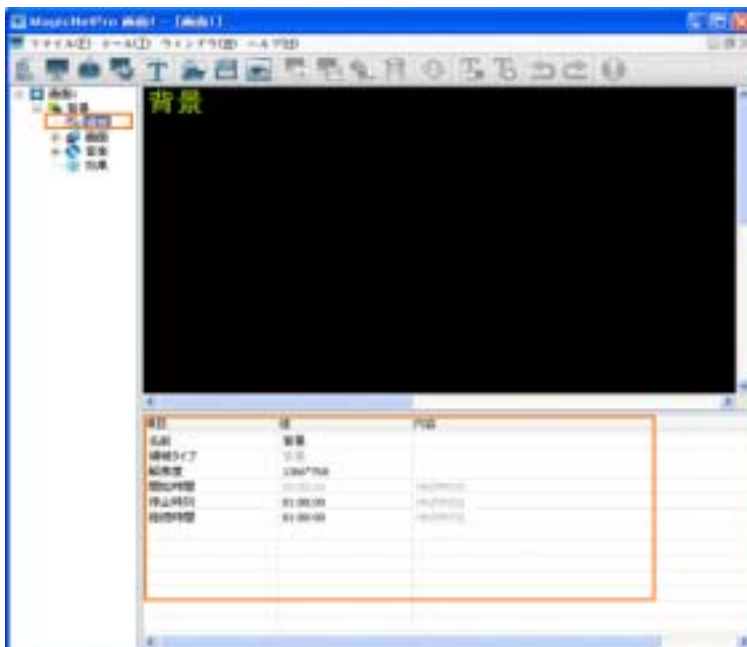
- 新規:現在作業している画面ビューを初期化します。保存されていない変更がある場合には、新しいウィンドウが表示され保存を行うことができます。
- 開く:画面ファイルを開きます。保存されていない変更がある場合には、新しいウィンドウが表示され保存を行うことができます。
- 保存 / 名前を付けて保存:現在の画面ファイルへの変更を保存したり、新しい画面ファイルとして保存します。
- 順序:現在選択している領域の順序を変更します。
 - 外部入力領域は常に最も上の位置になければなりません。(前面へ、背面へ、前へ、後ろへ)
- コピー / 貼り付け / 削除:現在選択しているデータをコピー、貼り付けおよび削除します。
- 領域のプレビュー:現在選択されている領域の最新の状態をプレビューします。
 - 外部入力および背景のオフィスファイルはプレビューできません。

■ 背景



すべての画面の背景を設定します。背景は、領域、画面、音楽および効果の各機能で構成されています。カラーまたは写真を背景として使用する場合には、映画やテキストなどの他の領域を背景上に自由に配置して、さまざまな画面を構成することができます。オフィスファイルまたは外部入力を背景として使用する場合には、他の領域を背景に配置することはできず、背景のみで画面を構成する必要があります。領域機能では、背景のサイズとすべての画面が再生される時間を設定できます。画面機能では、使用する背景のコンテンツを設定できます。音楽機能では、BGMを設定できます。効果機能では、背景を変更するときに使用する効果を設定できます。

□ 領域



名前 : 背景の名前を変更します。

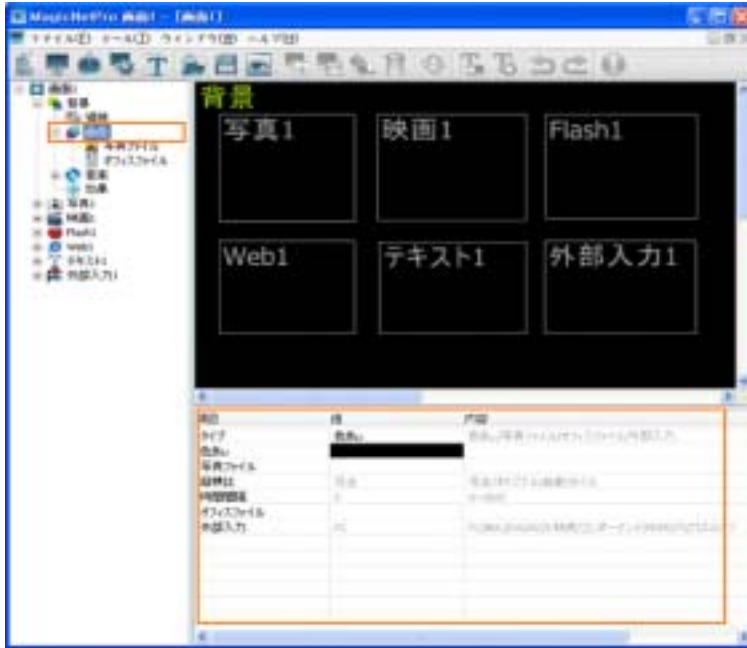
+すでに他の領域名に使われている名前は使用できません。

解像度: 背景の解像度を変更します。[オプション]メニューを使用して、新しい解像度の追加とデフォルトの解像度の設定を行うことができます。

開始時刻 / 停止時刻 / 継続時間: 背景の再生時間を分単位で設定します。

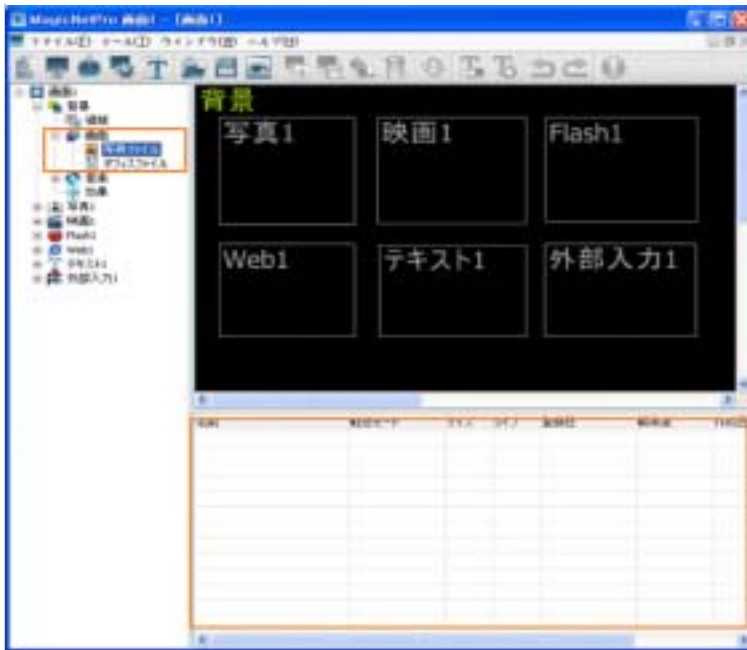
+背景の再生時間は、画面の再生時間とは異なります。背景に含まれる領域の再生時間より短くすることはできません。

画面



- タイプ:背景のタイプ(カラー、写真ファイル、オフィスファイル、外部入力リスト)を設定します。
 - ✚ オフィスファイルまたは外部入力ファイルを選択している場合、他の領域を作成することはできません。
- カラー:背景タイプが「カラー」に設定されているときに、使用するカラーを選択します。
- 写真ファイル:背景タイプが「写真ファイル」に設定されているときに、写真ファイルを選択します。
- 縦横比:背景タイプが「写真ファイル」に設定されているときに、写真ファイルの縦横比を選択します。
 - 完全:写真ファイルは背景全体のサイズに合わせて拡大または縮小されます。
 - オリジナル:写真ファイルはオリジナルサイズで表示されます。
 - 自動:写真ファイルは背景全体に合わせて拡大または縮小されますが、元の縦横比は維持されます。
 - タイル:写真ファイルは背景全体にわたって連続的に並べられます。
- 間隔:背景タイプが「写真ファイル」に設定されているときに、写真ファイルのスライドショー間隔を設定します。
- オフィスファイル:背景タイプが「オフィスファイル」に設定されているときに、オフィスファイルを選択します。
 - ✚ Power Point、Excel、Word、または PDF ファイルを使用して背景を作成することができます。使用するオフィスファイルは領域として設定することはできず、背景には完全モードで表示されます。オフィスファイルを使用するには、対応する表示プログラムを製品上にインストールしておく必要があります。
 - ✚ 選択できるファイルは1つのみです。
- 外部入力リスト:背景タイプが「外部入力リスト」に設定されているときに外部入力を選択します。
 - ✚ 選択できる外部入力は1つのみです。

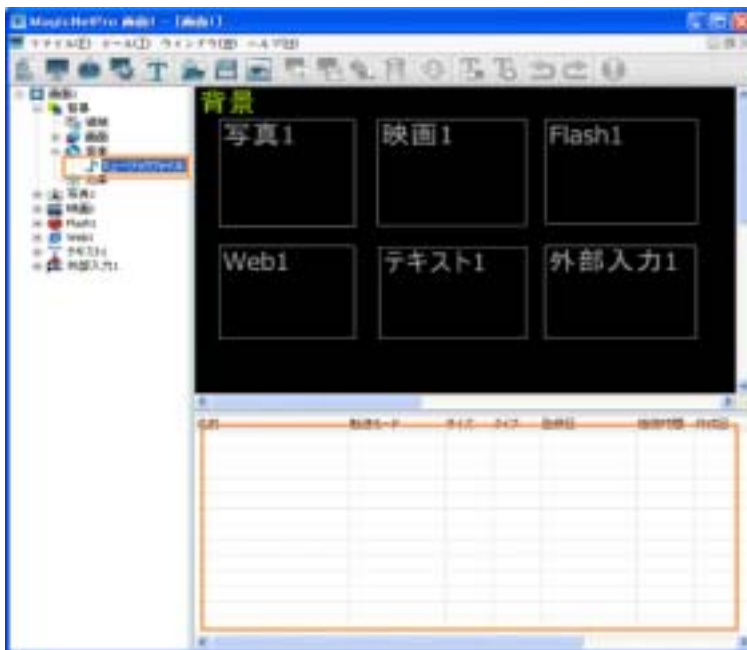
写真ファイル / オフィスファイル / 音楽ファイル



■ 各タイプの選択されたファイルの詳細なプロパティと転送モードを変更します。

- 転送モード: 選択したファイルをモニターに転送するモードを変更します。
- ダウンロード: ファイルをモニターにダウンロードして再生します。
- ストリーム: ファイルをモニターにストリーミングします。
- コンテキストメニュー: 追加、削除、上へ、下へファイルの追加および削除と、再生順序の変更を行います。

■ 音楽



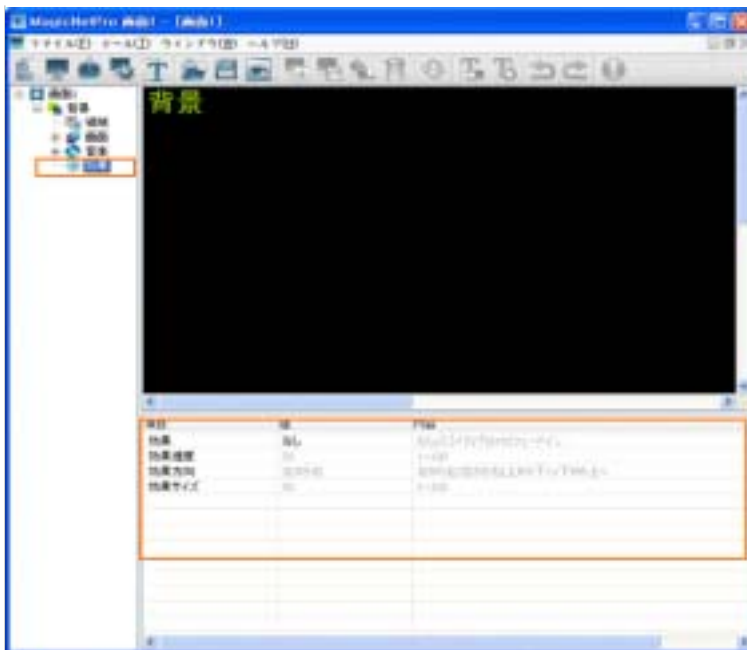
■ サウンド: 背景音声のオン/オフを切り替えます。

■ 音楽ファイル: BGMの音楽ファイルを選択します。

■ 音量: BGMの音量を変更します。

■ 繰り返し: 音楽ファイルを繰り返し再生することができます。「繰り返し」に設定されている場合は、音楽ファイルは背景が作成されている間繰り返し再生されます。

■ 効果



効果: 背景を作成するときに適用する効果のタイプを選択します。

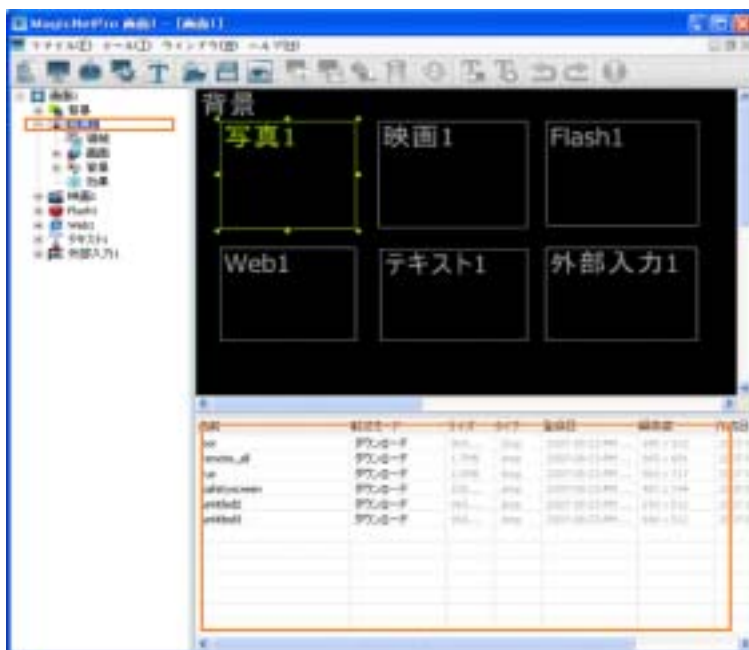
- なし: 効果を使用しません。
- スライド: 移動させながら背景を作成します。
- ブロック: ブロックで背景を作成します。
- フェードイン: 作成時に背景をフェードインします。

効果速度: 効果を作成する速度を調整します。

効果方向: スライド効果が選択されているときの方向を設定します。

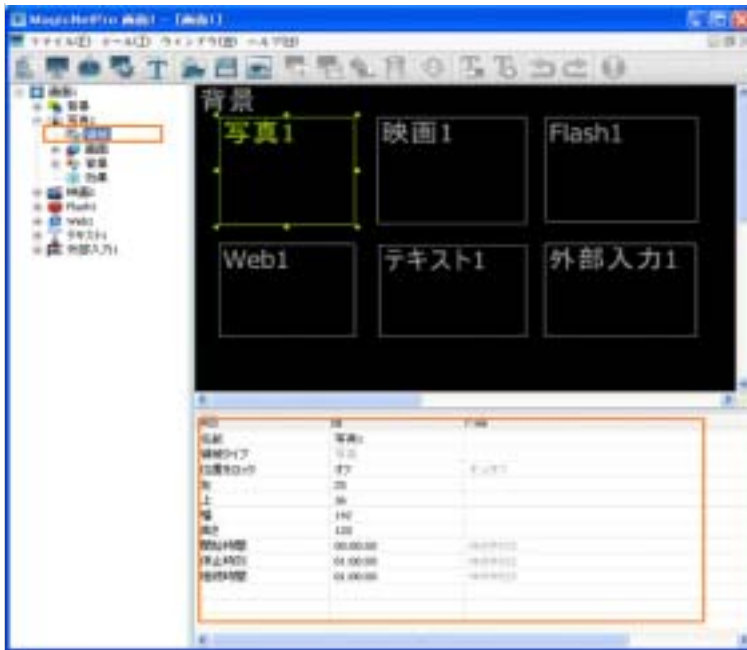
効果サイズ: ブロック効果が選択されているときのブロックのサイズを設定します。

写真



この機能は写真ファイルを使用して画面を構成するもので、領域、画面、背景、効果機能が利用できます。領域機能では、写真を表示する位置と、いつでもだけの時間表示するかを設定できます。画面機能では、写真ファイルを選択し、それらを表示する時間を設定できます。背景機能では、写真を表示するときの背景画像および音楽を設定できます。効果機能では、背景を変更するときの効果を設定できます。以下のセクションでは、写真機能で使用するオプションの詳細について説明します。

領域



名前: 領域の名前を変更します。

すでに他の領域名に使われている名前は使用できません。

位置をロック: 領域の位置をロックします。

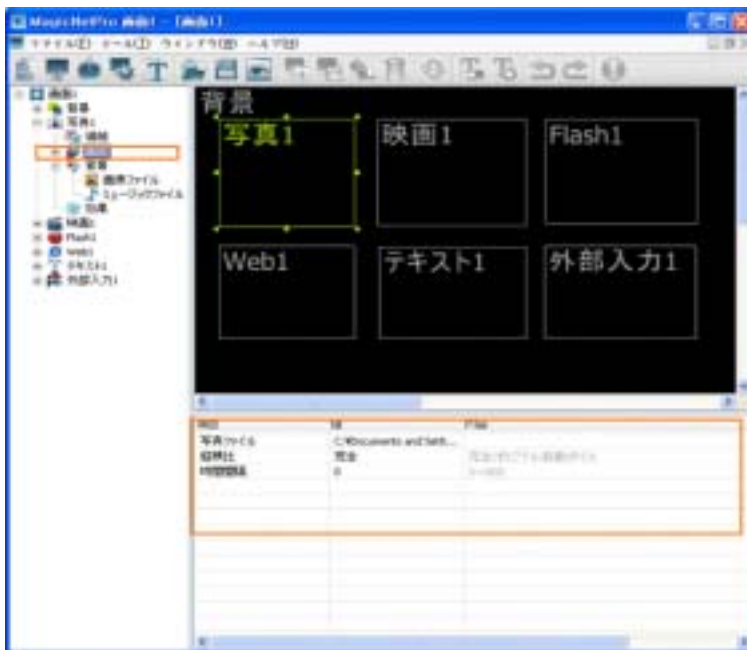
左、上、幅、高さ: 領域の位置とサイズを変更します。

領域の位置は背景内になければならず、サイズは背景のサイズより大きくすることはできません。

開始時刻 / 停止時刻 / 継続時間: 再生時間を秒単位で設定します。

背景の再生時間より長くすることはできません。

☐ 画面



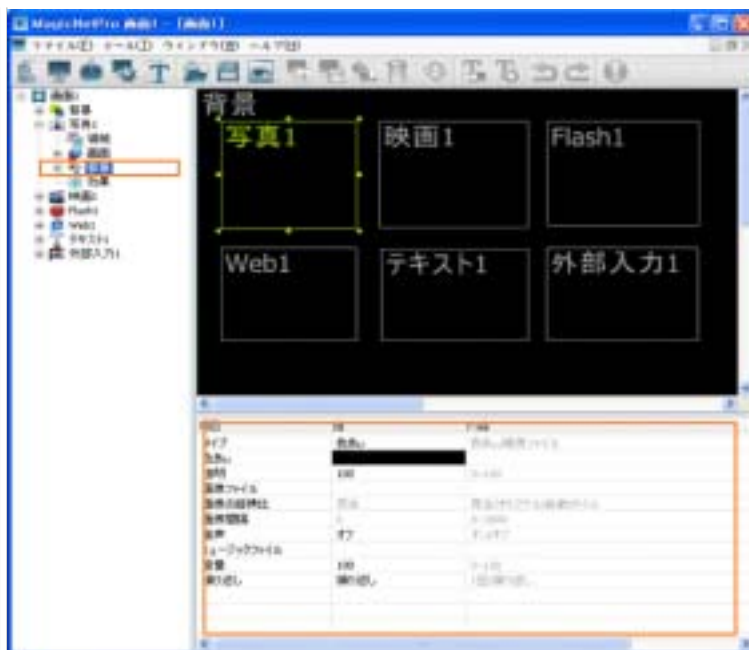
写真ファイル: 写真領域で再生する写真ファイルを選択します。

縦横比: 写真領域で再生する写真ファイルの縦横比を選択します。

- 完全: 写真ファイルは背景全体のサイズに合わせて拡大または縮小されます。
- オリジナル: 写真ファイルはオリジナルサイズで表示されます。
- 自動: 写真ファイルは背景全体に合わせて拡大または縮小されますが、元の縦横比は維持されます。
- タイル: 写真ファイルは背景全体にわたって連続的に並べられます。

間隔: 選択したフォトファイル間のスライドショーの間隔を設定します。

☐ 背景



タイプ:写真領域の背景タイプ(カラー、画像ファイル)を設定します。

カラー :写真領域の背景タイプが「カラー」に設定されているときの色を設定します。

透過度:写真領域の背景タイプが「カラー」に設定されているときの透過度を設定します。

透過度の値が100未満に設定されている場合には、現在の位置より後ろ側に配置されている領域が透き通って表示されます。ただし、領域で映画が再生されている場合には、透過度は映画領域には影響しません。

画像ファイル :写真領域の背景タイプが「画像ファイル」に設定されているときの写真ファイルを設定します。

画像の縦横比 :写真領域の背景タイプが「画像ファイル」に設定されているときの縦横比を設定します。

- 完全:写真ファイルは背景全体のサイズに合わせて拡大または縮小されます。
- オリジナル:写真ファイルはオリジナルサイズで表示されます。
- 自動:写真ファイルは背景全体に合わせて拡大または縮小されますが、元の縦横比は維持されます。
- タイル:写真ファイルは背景全体にわたって連続的に並べられます。

画像間隔 :写真領域の背景タイプが「画像ファイル」に設定されているときに、選択した写真ファイルのスライドショー間隔を設定します。

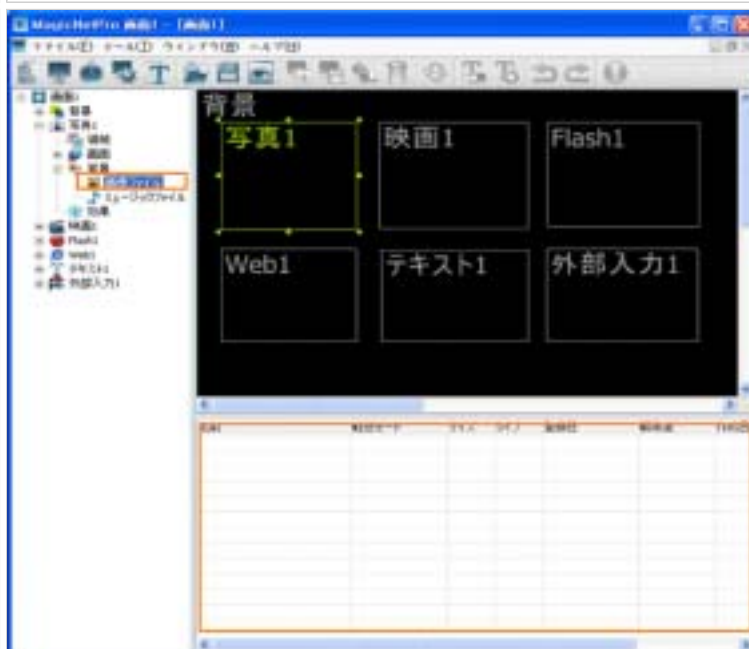
サウンド :写真領域のBGMのオン/オフを切り換えます。

音楽ファイル:写真領域のBGMファイルを選択します。

音量 :写真領域のBGMファイルのを音量を制御します。

繰り返し:音楽ファイルを繰り返し再生することができます。「繰り返し」に設定されている場合は、音楽ファイルは写真領域の背景が作成されている間繰り返し再生されます。

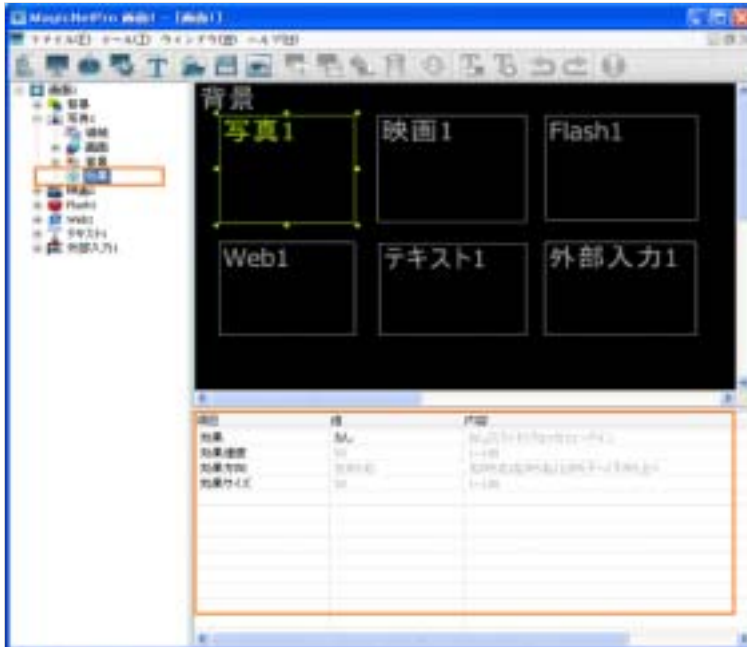
写真ファイル / オフィスファイル / 音楽ファイル



各タイプの選択されたファイルの詳細なプロパティと転送モードを変更します。

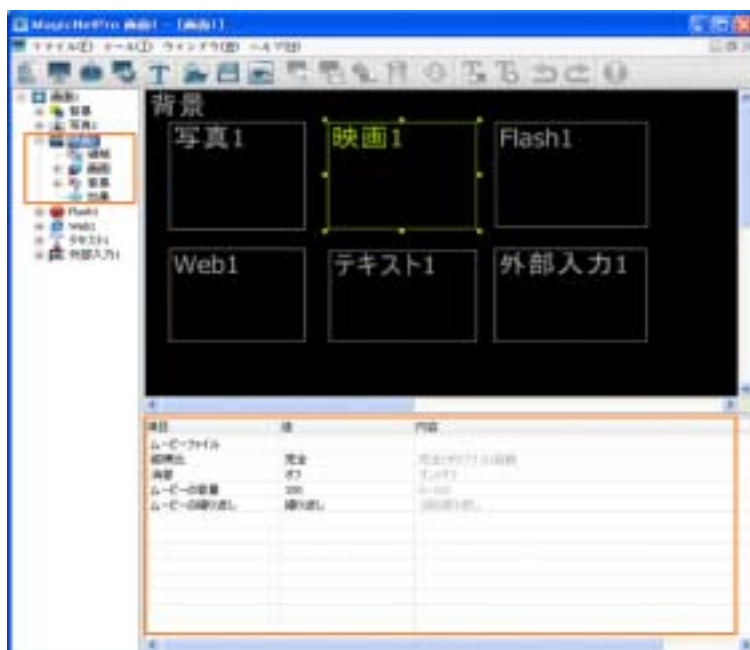
- 転送モード: 選択したファイルをモニターに転送するモードを変更します。
- ダウンロード: ファイルをモニターにダウンロードして再生します。
- ストリーム: ファイルをモニターにストリーミングします。
- コンテキストメニュー: 追加、削除、上へ、下へファイルの追加および削除と、再生順序の変更を行います。

効果



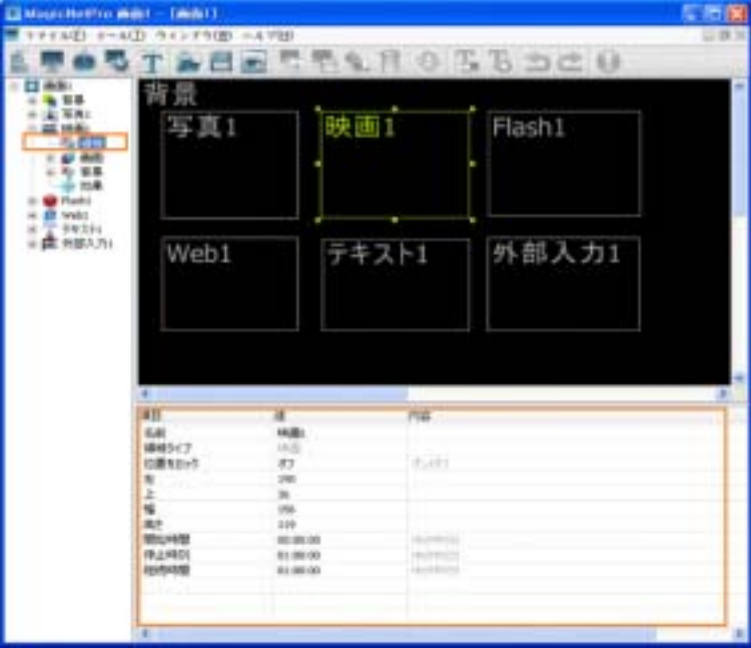
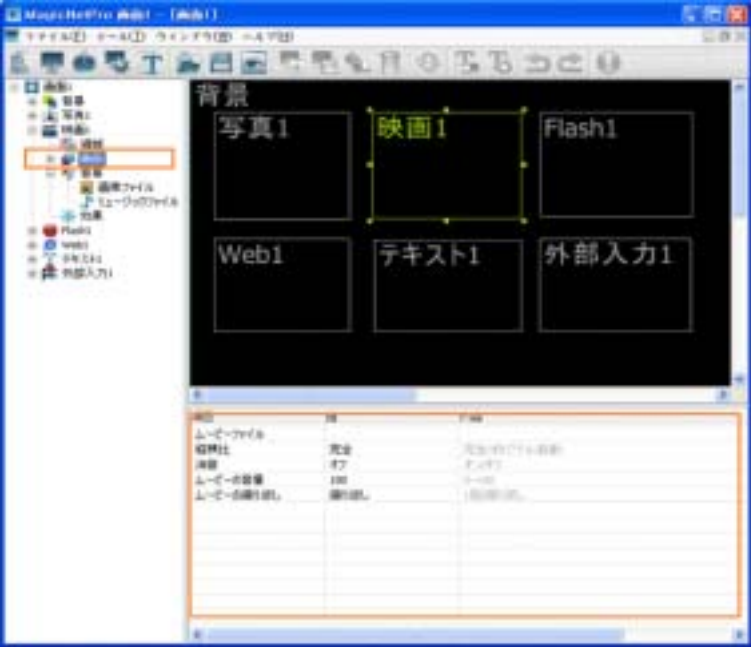
- 効果: 写真領域を作成するときに適用する効果のタイプを選択します。
 - なし: 効果を使用しません。
 - スライド: 移動させながら写真領域を作成します。
 - ブロック: ブロックで写真領域を作成します。
 - フェードイン: 作成時に写真領域をフェードインします。
- 効果速度: 効果を作成する速度を調整します。
- 効果方向: スライド効果が選択されているときの方向を設定します。
- 効果サイズ: ブロック効果が選択されているときのブロックのサイズを設定します。

映画



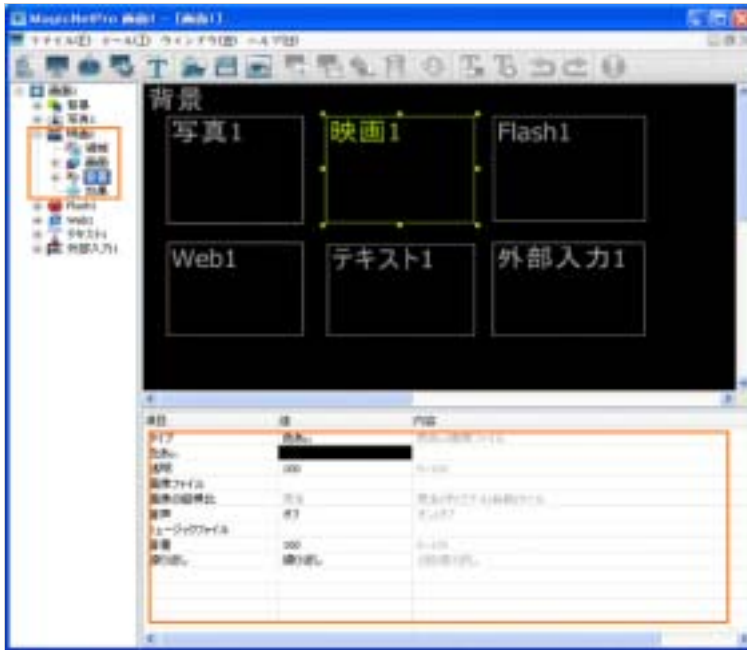
この機能は映画ファイルを使用して画面を構成するもので、領域、画面、背景、効果機能が利用できます。領域機能では、映画を再生する位置と、いつでもどれだけの時間再生するかを設定できます。画面機能では、映画ファイルを選択し、それらを再生する時間を設定できます。背景機能では、映画を表示するときの背景画像および

音楽を設定できます。効果機能では、背景を変更するときの効果を設定できます。

	領域
	
	名前:領域の名前を変更します。
	 すでに他の領域名に使われている名前は使用できません。
	位置をロック:領域の位置をロックします。
	左、上、幅、高さ:領域の位置とサイズを変更します。
	 領域の位置は背景内になければならず、サイズは背景のサイズより大きくすることはできません。
	開始時刻 / 停止時刻 / 継続時間:再生時間を秒単位で設定します。
	 背景の再生時間より長くすることはできません。
	
	画面
	
	映画ファイル:映画領域で再生する映画ファイルを選択します。
	縦横比:映画領域で再生する映画ファイルの縦横比を選択します。
	● 完全:映画ファイルは背景全体のサイズに合わせて拡大または縮小されます。 ● オリジナル:映画ファイルはオリジナルサイズで表示されます。 ● 自動:映画ファイルは背景全体に合わせて拡大または縮小されますが、元の縦横比は維持されます。
	ミュート:映画領域で再生する映画ファイルの音声を消します。
	動画の音量 :映画領域で再生する映画ファイルの音量を制御します。
	

動画の繰り返し: 映画ファイルを繰り返し再生することができます。「繰り返し」に設定されている場合は、映画ファイルは背景が作成されている間繰り返し再生されます。

背景



タイプ:映画領域の背景タイプ(カラー、画像ファイル)を設定します。

カラー:映画領域の背景タイプが「カラー」に設定されているときの色を設定します。

透過度:映画領域の背景タイプが「カラー」に設定されているときの透過度を設定します。

+ 透過度の値が100未満に設定されている場合には、現在の位置より後ろ側に配置されている領域が透き通って表示されます。ただし、領域で映画が再生されている場合には、透過度は映画領域には影響しません。

画像ファイル :映画領域の背景タイプが「画像ファイル」に設定されているときの写真ファイルを設定します。

 映画領域で選択できる画像ファイルは1つのみとなります。

画像の縦横比: 映画領域の背景タイプが「画像ファイル」に設定されているときに、映画領域で再生される写真ファイルの縦横比を設定します。

- 完全:写真ファイルは背景全体のサイズに合わせて拡大または縮小されます。
- オリジナル:写真ファイルはオリジナルサイズで表示されます。
- 自動:写真ファイルは背景全体に合わせて拡大または縮小されますが、元の縦横比は維持されます。
- タイル:写真ファイルは背景全体にわたって連続的に並べられます。

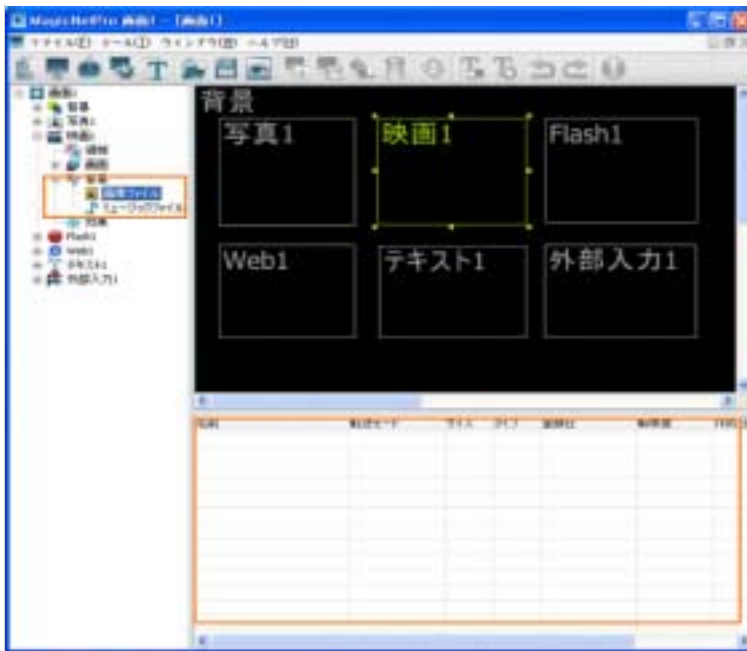
サウンド :映画領域のBGMのオン/オフを切り換えます。

音楽ファイル:映画領域のBGMファイルを選択します。

音量 : 映画領域のBGMの音量を変更します。

繰り返し:音楽ファイルを繰り返し再生することができます。「繰り返し」に設定されている場合は、音楽ファイルは映画領域の背景が作成されている間繰り返し再生されます。

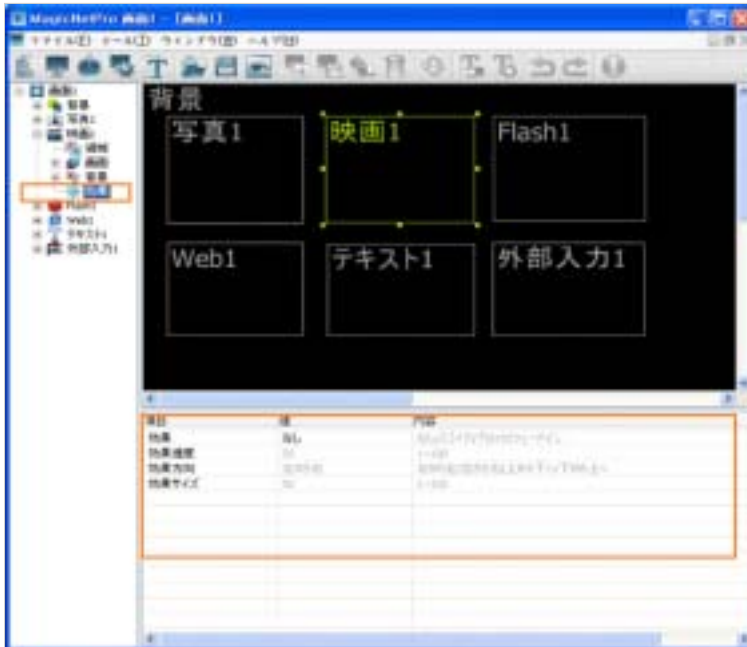
動画ファイル / 画像ファイル / 音楽ファイル



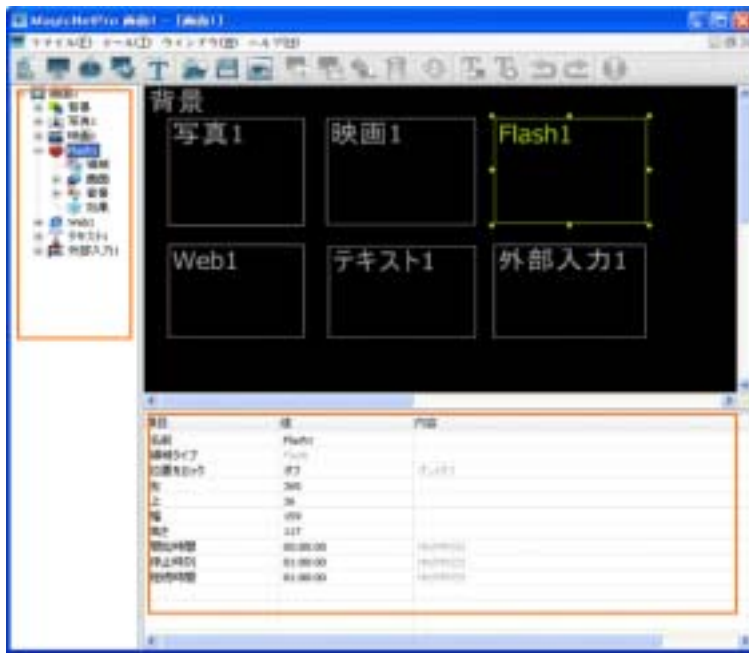
各タイプの選択されたファイルの詳細なプロパティと転送モードを変更します。

- 転送モード: 選択したファイルをモニターに転送するモードを変更します。
- ダウンロード: ファイルをモニターにダウンロードして再生します。
- ストリーム: ファイルをモニターにストリーミングします。
- コンテキストメニュー: 追加、削除、上へ、下へファイルの追加および削除と、再生順序の変更を行います。

効果



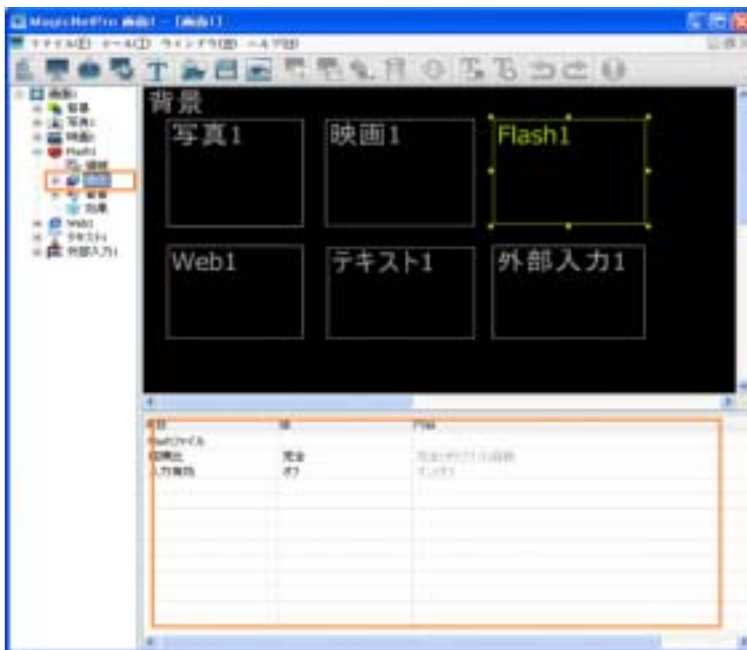
- 効果: 映画領域を作成するときに適用する効果のタイプを選択します。
 - なし: 効果を使用しません。
 - スライド: 移動させながら映画領域を作成します。
 - ブロック: ブロックで映画領域を作成します。
 - フェードイン: 作成時に映画領域をフェードインします。
- 効果速度: 効果を作成する速度を調整します。
- 効果方向: スライド効果が選択されているときの方向を設定します。
- 効果サイズ: ブロック効果が選択されているときのブロックのサイズを設定します。



この機能はMacromedia Flashファイルを使用して画面を構成するもので、領域、画面、背景、効果機能が利用できます。領域機能では、映画を再生する位置と、いつどれだけの時間再生するかを設定できます。画面機能では、Flashファイルを選択し、それらを再生する時間を設定できます。背景機能では、Flashファイルが再生されときの背景画像および音楽を設定できます。効果機能では、背景を変更するときに使用する効果を設定することができます。

FlashプレーヤーがサーバーのインストールされたPC上にない場合は、正常に動作しない場合があります。Flashプレーヤーをインストールしてください。

	領域
	名前:領域の名前を変更します。 すでに他の領域名に使われている名前は使用できません。
	位置をロック:領域の位置をロックします。
	左、上、幅、高さ:領域の位置とサイズを変更します。 領域の位置は背景内になければならず、サイズは背景のサイズより大きくすることはできません。
	開始時刻 / 停止時刻 / 継続時間:再生時間を秒単位で設定します。 背景の再生時間より長くすることはできません。
	画面



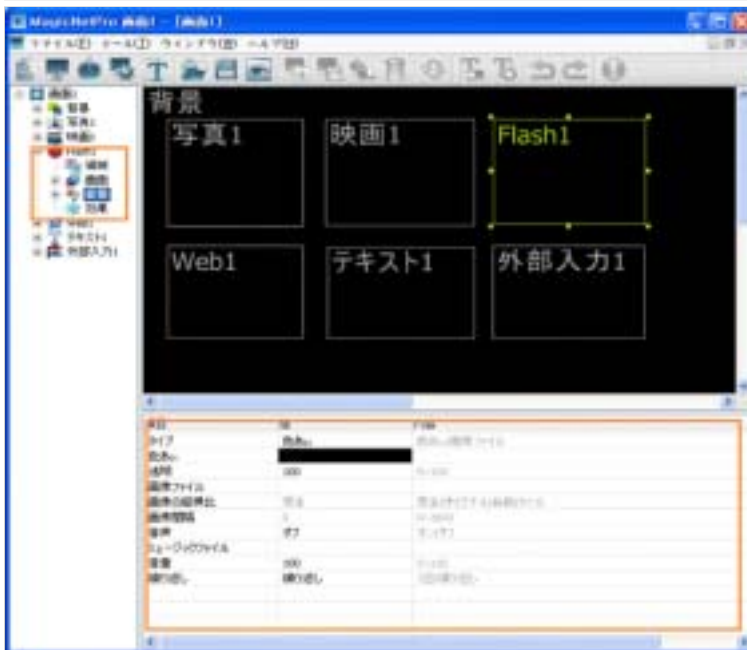
Flashファイル :Flash領域で再生するFlashファイルを選択します。

縦横比:Flash領域で再生するFlashファイルの縦横比を選択します。

- 完全:Flashファイルは背景全体のサイズに合わせて拡大または縮小されます。
- オリジナル:Flashファイルはオリジナルサイズで表示されます。
- 自動:Flashファイルは背景全体に合わせて拡大または縮小されますが、元の縦横比は維持されます。

入力有効:Flash領域にマウスを使用して入力を行うことができます。

背景



タイプ:Flash領域の背景タイプ(カラー、画像ファイル)を設定します。

カラー :Flash領域の背景タイプが「カラー」に設定されているときの色を設定します。

透過度 :Flash領域の背景タイプが「カラー」に設定されているときの透過度を設定します。

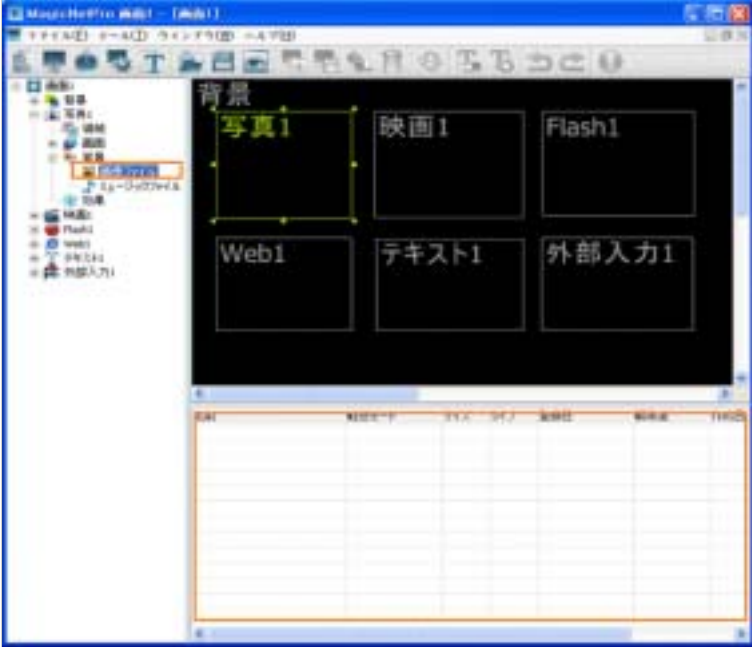
透過度の値が100未満に設定されている場合には、現在の位置より後ろ側に配置されている領域が透き通って表示されます。ただし、領域で映画が再生されている場合には、透過度は映画領域には影響しません。

画像ファイル:Flash領域の背景タイプが「画像ファイル」に設定されているときの写真ファイルを設定します。

画像の縦横比 :Flash領域の背景タイプが「画像ファイル」に設定されているときに、Flash領域で再生される写真ファイルの縦横比を設定します。

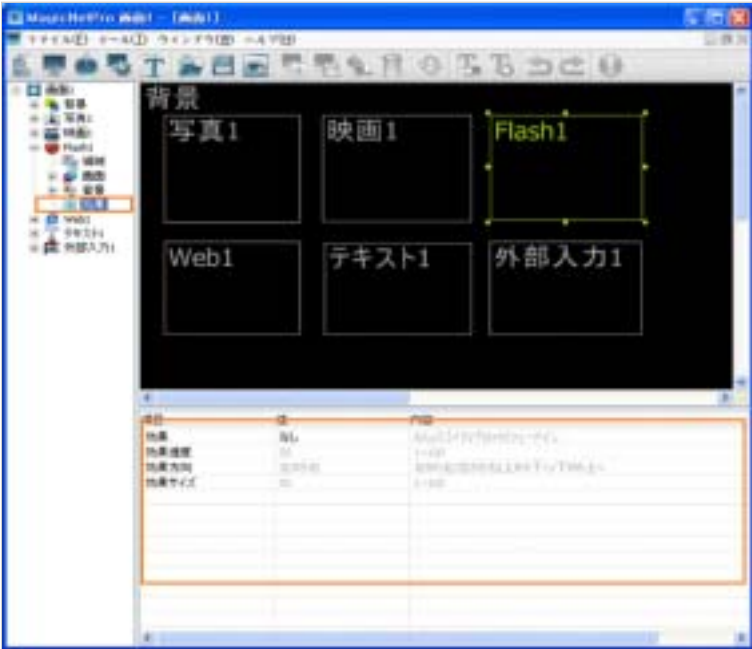
- 完全:写真ファイルは背景全体のサイズに合わせて拡大または縮小されます。
- オリジナル:写真ファイルはオリジナルサイズで表示されます。
- 自動:写真ファイルは背景全体に合わせて拡大または縮小されますが、元の縦横比は維持されます。

		● タイル:写真ファイルは背景全体にわたって連続的に並べられます。
		画像間隔 :Flash領域の背景タイプが「画像ファイル」に設定されているときに、写真ファイルのスライドショー間隔を設定します。
		サウンド:Flash領域のBGMのオン/オフを切り換えます。
		音楽ファイル:Flash領域のBGMファイルを選択します。
		音量 :Flash領域のBGMファイルの音量を制御します。
		繰り返し:音楽ファイルを繰り返し再生することができます。「繰り返し」に設定されている場合は、音楽ファイルはFlash領域の背景が作成されている間繰り返し再生されます。
		Flashファイル / 画像ファイル / 音楽ファイル



		各タイプの選択されたファイルの詳細なプロパティと転送モードを変更します。
		● 転送モード:選択したファイルをモニターに転送するモードを変更します。 ● ダウンロード:ファイルをモニターにダウンロードして再生します。 ● ストリーム:モニターにストリーミングします。
		● コンテキストメニュー:追加、削除、上へ、下へファイルの追加および削除と、再生順序の変更を行います。

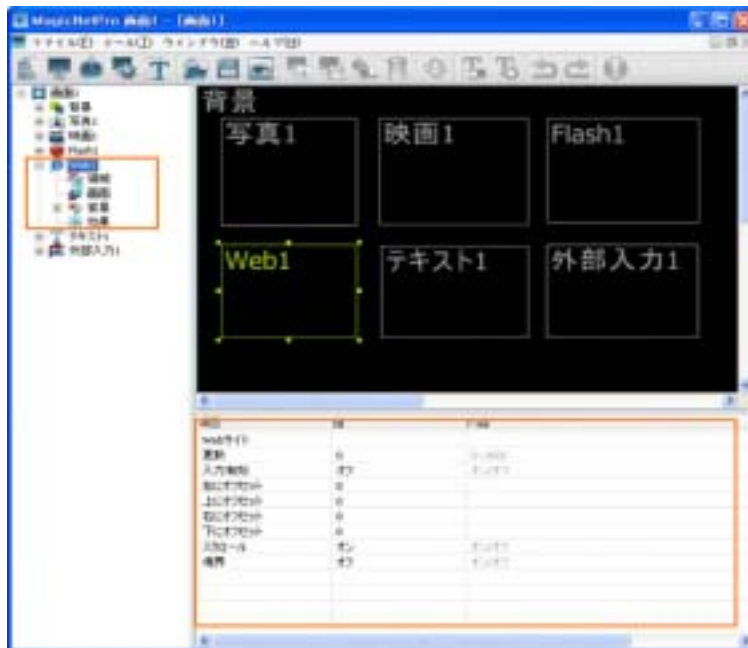
		効果
--	--	----



		● 効果:Flash領域を作成するときに適用する効果のタイプを選択します。 ○ なし:効果を使用しません。
--	--	--

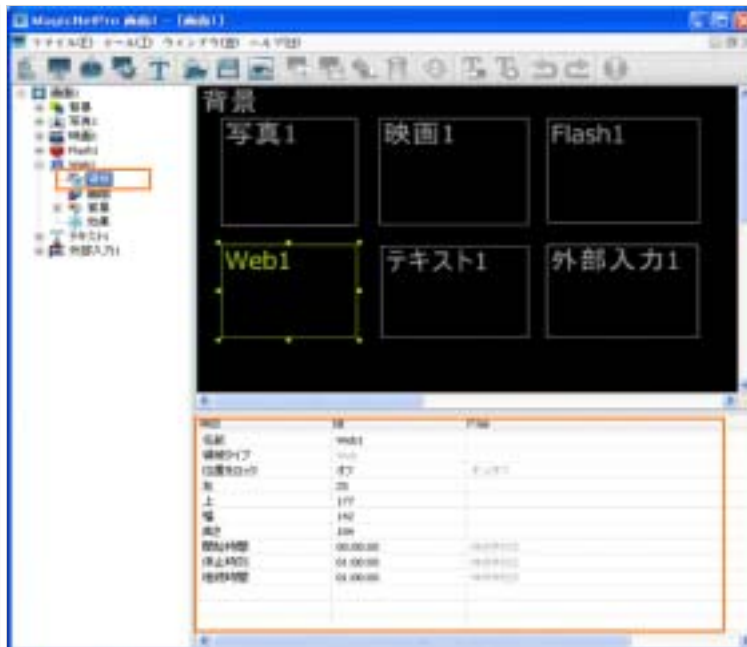
- スライド: 移動させながらFlash領域を作成します。
- ブロック: ブロックでFlash領域を作成します。
- フェードイン: 作成時にFlash領域をフェードインします。
- 効果速度: 効果を作成する速度を調整します。
- 効果方向: スライド効果が選択されているときの方向を設定します。
- 効果サイズ: ブロック効果が選択されているときのブロックのサイズを設定します。

Web



この機能はWebサイトの差に接続して画面を構成するもので、領域、画面、背景、効果機能が利用できます。領域機能では、Webページの位置と、いつでもだけの時間表示するかを設定できます。画面機能では、接続するWebサイトのファイルとWebページの位置を設定できます。背景機能では、Webページを表示するときの背景画像および音楽を設定できます。効果機能では、背景を変更するときに使用する効果を設定することができます。

領域



名前: 領域の名前を変更します。

すでに他の領域名に使われている名前は使用できません。

位置をロック: 領域の位置をロックします。

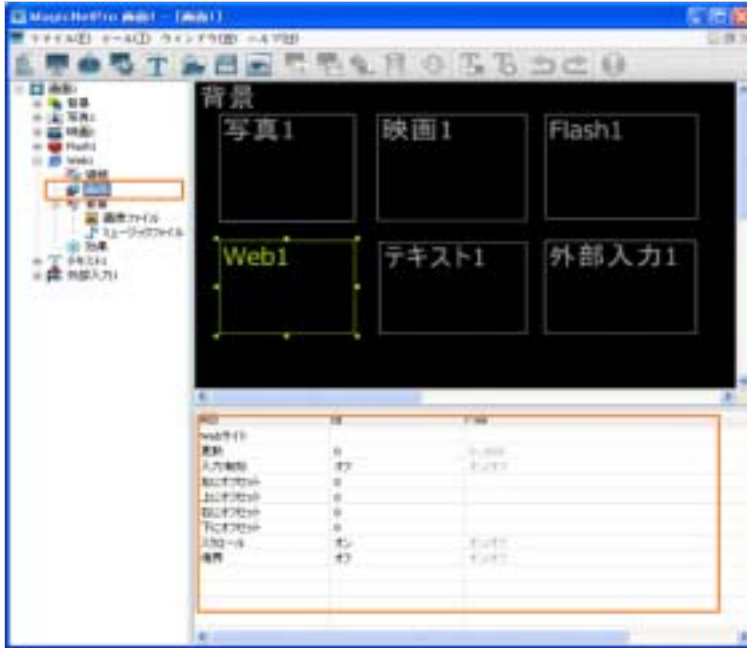
左、上、幅、高さ: 領域の位置とサイズを変更します。

領域の位置は背景内になければならず、サイズは背景のサイズより大きくすることはできません。

開始時刻 / 停止時刻 / 継続時間: 再生時間を秒単位で設定します。

背景の再生時間より長くすることはできません。

画面



ウェブサイト:Web領域に表示するWebページを設定します。

Web領域では選択できるURLは1つのみです。

更新:Web領域に表示するURLの更新間隔を設定します。

入力有効:Web領域にマウスを使用して入力を行うことができます。

左/上/右/下にオフセット:Web領域内のWebページの位置を移動します。

スクロール:Webページのスクロールバーのオン/オフを切り換えます。

境界:Web領域のWebページ境界線を表示または非表示にします。

背景



タイプ:Web領域の背景タイプ(カラー、画像ファイル)を設定します。

カラー :Web領域の背景タイプが「カラー」に設定されているときの色を設定します。

透過度 :Web領域の背景タイプが「カラー」に設定されているときの透過度を設定します。

透過度の値が100未満に設定されている場合には、現在の位置より後ろ側に配置されている領域が透き通って表示されます。ただし、領域で映画が再生されている場合には、透過度は映画領域には影響しません。

画像ファイル:Web領域の背景タイプが「画像ファイル」に設定されているときの写真ファイルを設定します。

画像の縦横比 :Web領域の背景タイプが「画像ファイル」に設定されているときに、Web領域で再生される写真ファイルの縦横比を設定します。

- 完全:写真ファイルは背景全体のサイズに合わせて拡大または縮小されます。
- オリジナル:写真ファイルはオリジナルサイズで表示されます。
- 自動:写真ファイルは背景全体に合わせて拡大または縮小されますが、元の縦横比は維持されます。
- タイル:写真ファイルは背景全体にわたって連続的に並べられます。

画像間隔 :Web領域の背景タイプが「画像ファイル」に設定されているときに、写真ファイルのスライドショー間隔を設定します。

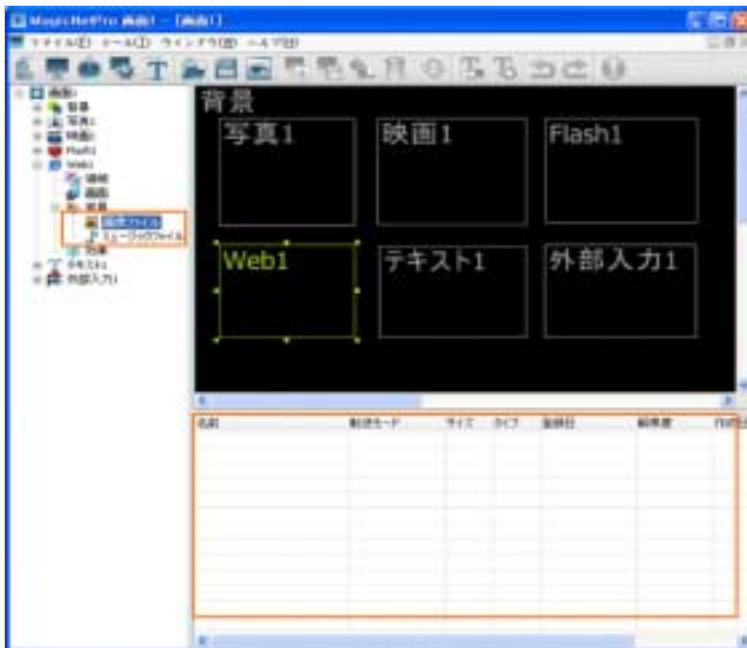
サウンド:Web領域のBGMのオン/オフを切り換えます。

音楽ファイル:Web領域のBGMファイルを選択します。

音量 :Web領域のBGMファイルをの音量を制御します。

繰り返し:音楽ファイルを繰り返し再生することができます。「繰り返し」に設定されている場合は、音楽ファイルはWeb領域の背景が作成されている間繰り返し再生されます。

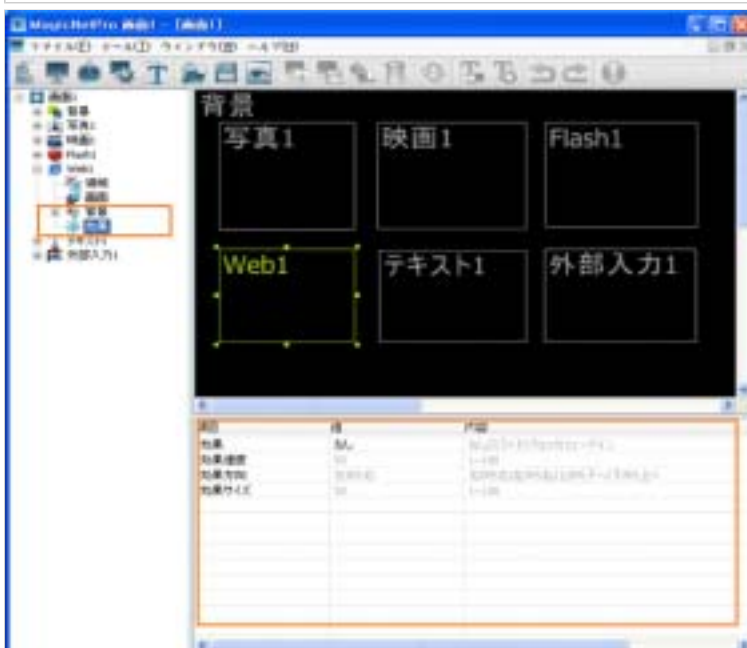
写真ファイル / 音楽ファイル



各タイプの選択されたファイルの詳細なプロパティと転送モードを変更します。

- 転送モード:選択したファイルをモニターに転送するモードを変更します。
- ダウンロード:ファイルをモニターにダウンロードして再生します。
- ストリーム:ファイルをモニターにストリーミングします。
- コンテキストメニュー:追加、削除、上へ、下へファイルの追加および削除と、再生順序の変更を行います。

効果



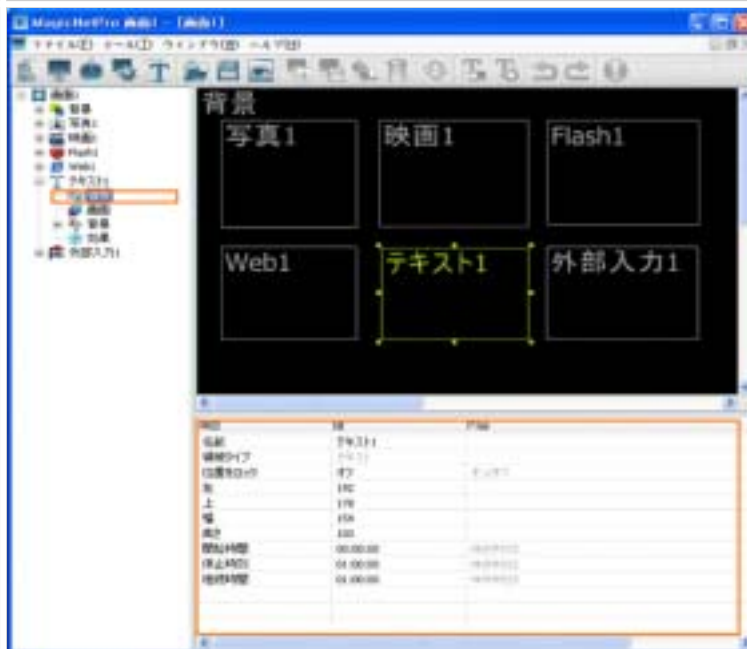
- 効果: Web領域を作成するときに適用する効果のタイプを選択します。
 - なし: 効果を使用しません。
 - スライド: 移動させながらWeb領域を作成します。
 - ブロック: ブロックでWeb領域を作成します。
 - フェードイン: 作成時にWeb領域をフェードインします。
- 効果速度: 効果を作成する速度を調整します。
- 効果方向: スライド効果が選択されているときの方向を設定します。
- 効果サイズ: ブロック効果が選択されているときのブロックのサイズを設定します。

■ テキスト



この機能はテキストに接続して画面を構成するもので、領域、画面、背景、効果機能が利用できます。領域機能では、テキストの位置と、いつでもだけの時間表示するかを設定できます。画面機能では、テキストを選択し、それらを表示する時間を設定できます。背景機能では、テキストを表示するときの背景画像および音楽を設定できます。効果機能では、背景を変更するとき使用する効果を設定することができます。以下のセクションでは、テキスト機能で使用するオプションの詳細について説明します。

■ 領域



名前: 領域の名前を変更します。

すでに他の領域名に使われている名前は使用できません。

位置をロック: 領域の位置をロックします。

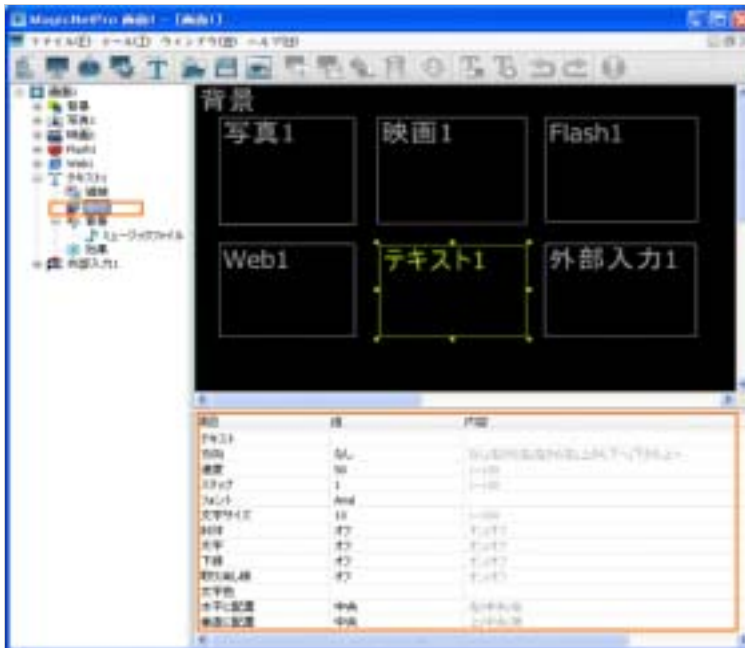
左、上、幅、高さ: 領域の位置とサイズを変更します。

領域の位置は背景内になければならず、サイズは背景のサイズより大きくすることはできません。

開始時刻 / 停止時刻 / 継続時間:再生時間を秒単位で設定します。

背景の再生時間より長くすることはできません。

画面



テキスト:テキスト領域に表示するテキストを設定します。

方向:テキスト領域のテキストが流れる方向を設定します。

- なし
- 右から左
- 左から右
- 上から下へ
- 下から上

速度:テキスト領域のテキストが流れる速度を設定します。

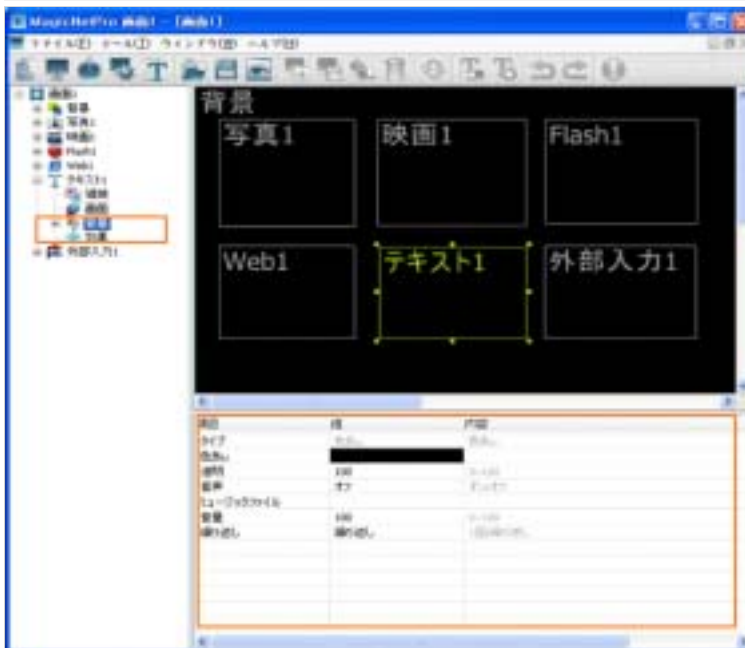
ステップ:テキスト領域のテキストが流れる間隔を設定します。

フォント、フォントサイズ、斜体、太字、下線、取消線、フォント色:テキスト領域のテキストの書式間隔を設定します。

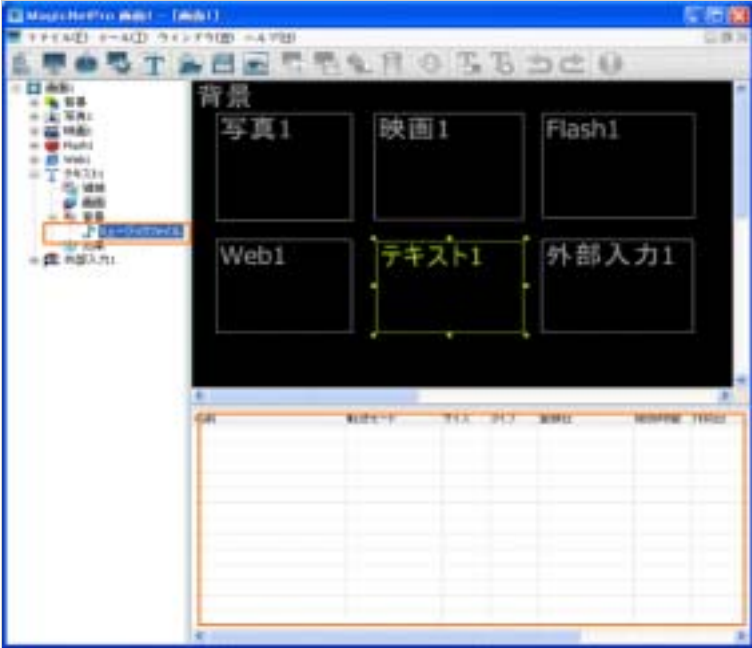
フォントタイプは、サーバーが動作しているコンピュータ上のフォントを表示します。モニターに同じフォントがインストールされていれば、モニターは同じフォントを表示できます。

横に配置、縦に配置:テキスト領域内にテキストを配置します。

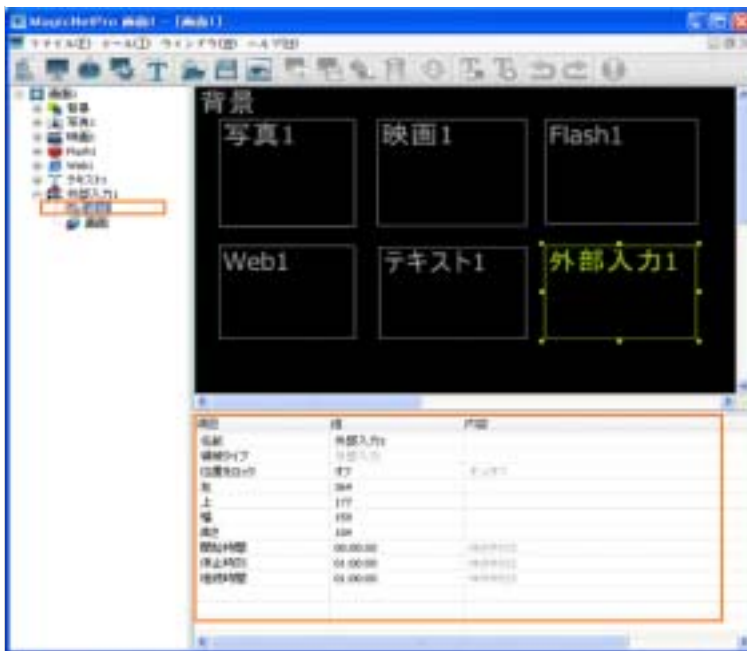
背景



		タイプ:テキスト領域の背景タイプ(カラー)を設定します。
		 テキスト領域の背景タイプに選択できるのは、「カラー」のみとなります。
		カラー :テキスト領域の背景タイプが「カラー」に設定されているときに使用する色を設定します。
		透過度 :テキスト領域の背景タイプが「カラー」に設定されているときに使用する透過度を設定します。
		 透過度の値が100未満に設定されている場合には、現在の位置より後ろ側に配置されている領域が透き通って表示されます。ただし、領域で映画が再生されている場合には、透過度は映画領域には影響しません。
		サウンド:テキスト領域のBGMのオン/オフを切り換えます。
		音楽ファイル:テキスト領域のBGMファイルを選択します。
		音量 :テキスト領域のBGMファイルをの音量を制御します。
		繰り返し:音楽ファイルを繰り返し再生することができます。「繰り返し」に設定されている場合は、音楽ファイルはテキスト領域の背景が作成されている間繰り返し再生されます。
		音楽ファイル



		各タイプの選択されたファイルの詳細なプロパティと転送モードを変更します。
		● 転送モード:選択したファイルをモニターに転送するモードを変更します。 ● ダウンロード:ファイルをモニターにダウンロードして再生します。 ● ストリーム:ファイルをモニターにストリーミングします。 ● コンテキストメニュー:追加、削除、上へ、下へファイルの追加および削除と、再生順序の変更を行います。
		効果



名前:領域の名前を変更します。

すでに他の領域名に使われている名前は使用できません。

位置をロック:領域の位置をロックします。

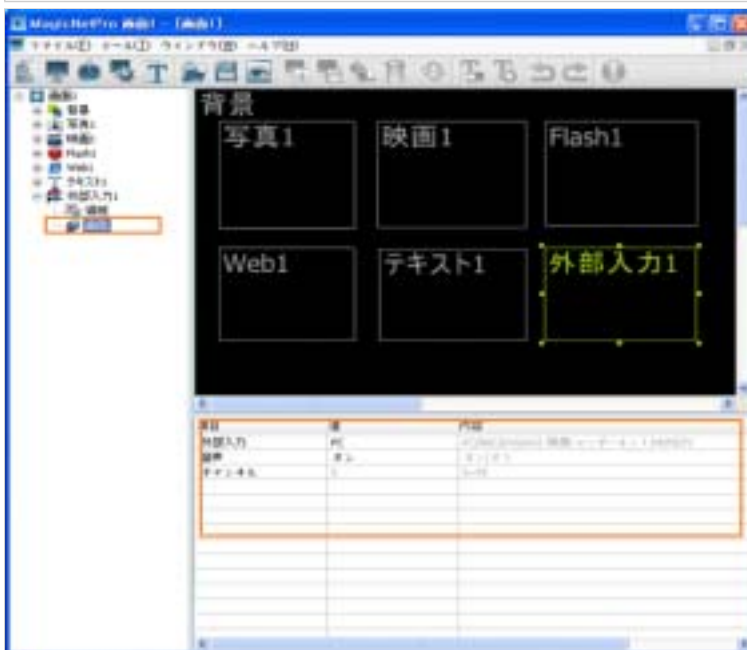
左、上、幅、高さ:領域の位置とサイズを変更します。

領域の位置は背景内になければならず、サイズは背景のサイズより大きくすることはできません。

開始時刻 / 停止時刻 / 継続時間:再生時間を秒単位で設定します。

背景の再生時間より長くすることはできません。

画面



ソースリスト:外部入力領域で再生する外部入力ファイルを選択します。

サウンド:外部入力領域で再生する外部入力の音声のオン/オフを切り換えます。

TV/DTV: TV/外部入力リストで TV を選択したときには、アナログ TV またはデジタル TV のいずれかを選択できます。デジタル TV を選択しているときは、チャンネル (channel) オプションを使用して主チャンネルと副チャンネルの両方を入力できます。(460Txn のみ)

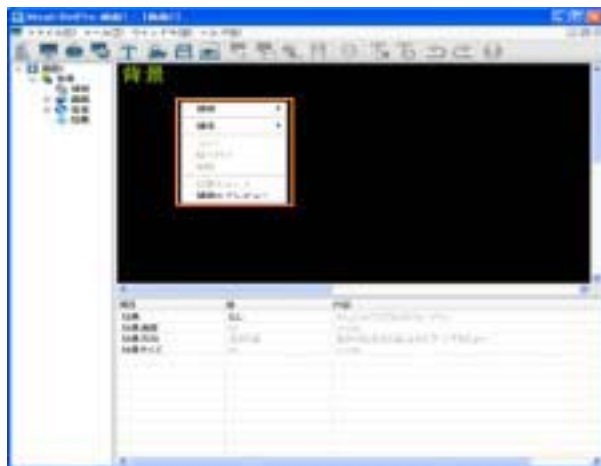
一般放送/ケーブル放送 (General Broadcasting/Cable Broadcasting): 一般放送またはケーブル放送を選択できます。(460Txn のみ)

チャンネル (Channel): 選択した TV のチャンネルを選択できます。(460Txn のみ)
(TV: 一般放送チャンネルの範囲 - 2~69、ケーブル放送チャンネルの範囲 - 1、14~135)
(DTV: 主チャンネル範囲 - 0~999、副チャンネル範囲 - 0~999)

■ ビューの編集

このビューは画面のデザインに使用され、マウスを使用して領域の作成、移動およびサイズの変更を行うことができます。コンテキストメニューで[領域のプレビュー]をクリックするか、領域をダブルクリックすると、現在の状態をプレビューすることができます。

コンテキストメニュー



- 領域 : 作成する領域のタイプを選択します。領域を[画面編集]ウィンドウにドラッグアンドドロップすると、編集することができます。

+ 複数の外部入力領域を同時に再生することはできません。したがって、外部入力領域の再生時刻が重なっている場合には、再生時間が終了した外部入力領域が後で再生されます。(写真、映画、Flash、Web、テキスト、または外部入力の各領域を追加できます)

- 順序 : 現在選択している領域の順序を変更します。

+ 外部入力領域は常に最も上の位置になければなりません。(前面へ、背面へ、前へ、後ろへ)

- コピー / 貼り付け / 削除 : 現在選択しているデータをコピー、貼り付けおよび削除します。
- 位置をロック : 現在選択している領域の位置をロックします。領域がロックされると、マウスを使用してその位置とサイズを変更できなくなります。
- 領域のプレビュー : 選択されている領域の最新の状態をプレビューします。

+ ソースおよび背景のオフィスファイルはプレビューできません。

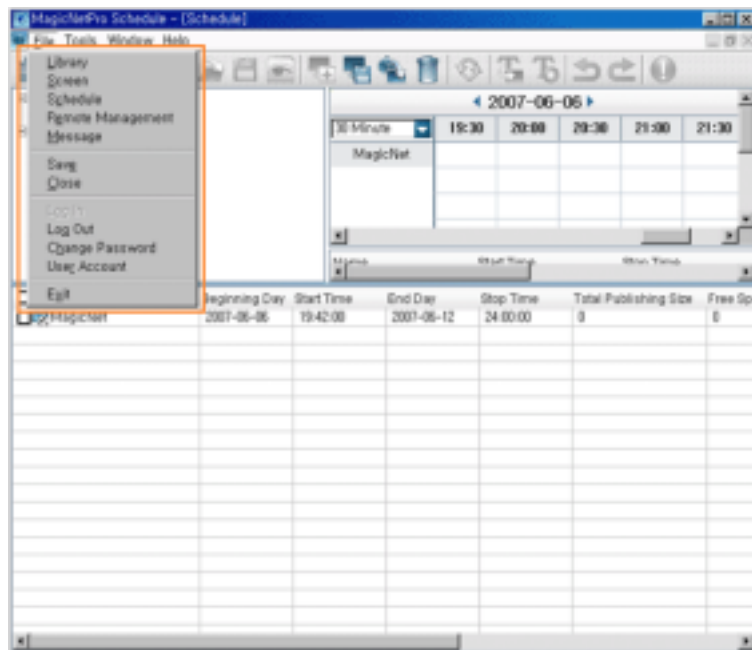
■ リストビュー

編集ビューおよびツリービューで選択した領域の各プロパティの詳細機能を表示します。リストビューに表示されるセルをダブルクリックするか、作成されたボタンをクリックして、詳細機能の設定を変更することができます。変更は直ちに適用され、プレビューしている領域に表示されます。



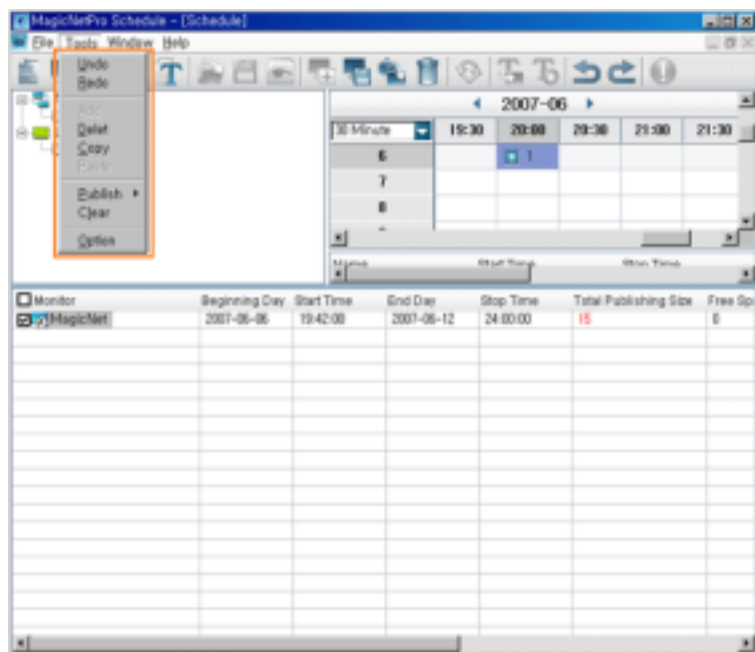
スケジュール

■ [ファイル]メニュー



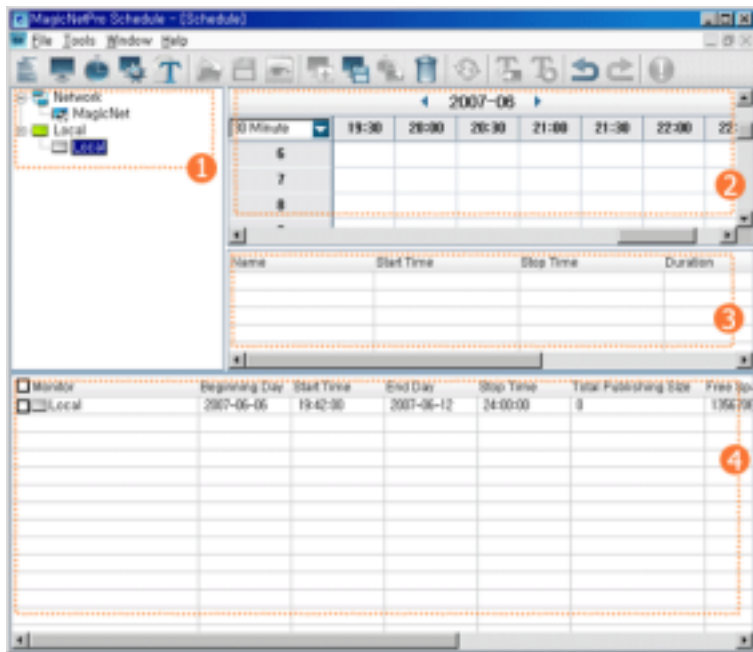
- ☐ ライブラリ / 画面 / スケジュール / リモート管理 / メッセージ:
 - ビューの作成、または各メニュー項目について作成したビューの選択を行い、画面スケジュールの実行とモニターの基本的な制御をサーバーから行えるようにします。
- ☐ 保存
 - データベースのEPGビューに現在設定されているスケジュール情報をすべて保存します。保存された情報は、サーバーが再起動したときに適用されます。
- ☐ 閉じる
 - 現在作業しているスケジュールビューを閉じます。保存されていない変更がある場合には、新しいウィンドウが表示され保存を行うことができます。
- ☐ ログイン
 - サーバーの機能を利用するには、サーバーにログインする必要があります。サーバーにログインして、サーバーのプログラムを実行することができます。MagicNet Proをインストールしたときに入力したパスワードが、デフォルトで管理者アカウントのパスワードになります。
- ☐ ログアウト
 - サーバーにログインしている場合は、ログアウトすることができます。サーバーからログアウトした場合には、作成したすべてのビューが閉じられ、保存していない変更がある場合には新しいウィンドウが表示されて保存を行うことができます。
- ☐ パスワードの変更
 - 現在ログインしているアカウントのパスワードを変更します。
- ☐ ユーザーアカウント
 - サーバーにログインできるユーザーアカウントの作成、削除および変更を行います。管理者とユーザーアカウントの2種類のアカウントを作成できます。
 - 管理者: すべてのサーバー機能を利用する権限があります。
 - ユーザー: サーバーオプションの変更とユーザーアカウント機能を除くすべてのサーバー機能を利用する権限があります。
- ☐ 終了
 - プログラムを終了します。保存されていない変更がある場合には、新しいウィンドウが表示され保存を行うことができます。

[ツール]メニュー



- ☐  元に戻す / やり直し
 - 直前に実行したコマンドをキャンセル、またはキャンセルされたコマンドを再度実行します。元に戻すコマンドの最大数は、[オプション]メニューで変更することができます。
- ☐  追加
 - EPGウィンドウをクリックしてモニターと時刻を選択して、スケジュールしたい画面を追加します。
- ☐  削除
 - EPGウィンドウで現在選択されている画面を削除します。
- ☐  コピー / 貼り付け
 - EPGウィンドウをクリックしてモニターと時刻を選択して、現在選択している画面のコピーと貼り付けを行います。
- ☐  発行(ネットワーク)
 - 現在設定されているスケジュールを、発行ビューでチェックされているネットワークモニターにネットワークを経由して発行します。
- ☐  発行(ローカル)
 - 現在設定されているスケジュールを、発行ビューでチェックされているローカルモニターに発行します。スケジュールは、モニター名に従って命名されローカルに発行されたディレクトリとして使用されるフォルダ内に作成されます。モニター名で作成されたフォルダにあるすべてのファイルおよびサブフォルダをUSBメモリデバイスのルートにコピーして、そのUSBメモリをコンピュータのUSBポートに接続すると、ネットワークに接続しなくてもスケジュールが自動的に実行されます。
 -  モニターのローカルスケジュールオプションを変更すると、スケジュールを実行する方法を設定および変更することができます。詳細については、モニターセットアップのヘルプを参照してください。
 -  [オプション]の[スケジュール]タブでローカルの発行ディレクトリを表示および変更することができます。デフォルトのフォルダは、サーバーの実行可能ファイルがあるフォルダになります。
- ☐  クリア
 - 発行ビューでチェックされたモニターについて進行中の発行を停止し、ネットワークで接続されたモニターが実行しているスケジュールを停止します。
- ☐  オプション
 - サーバーの設定を変更します。詳しくは、「オプション」タブを参照してください。

スケジュール



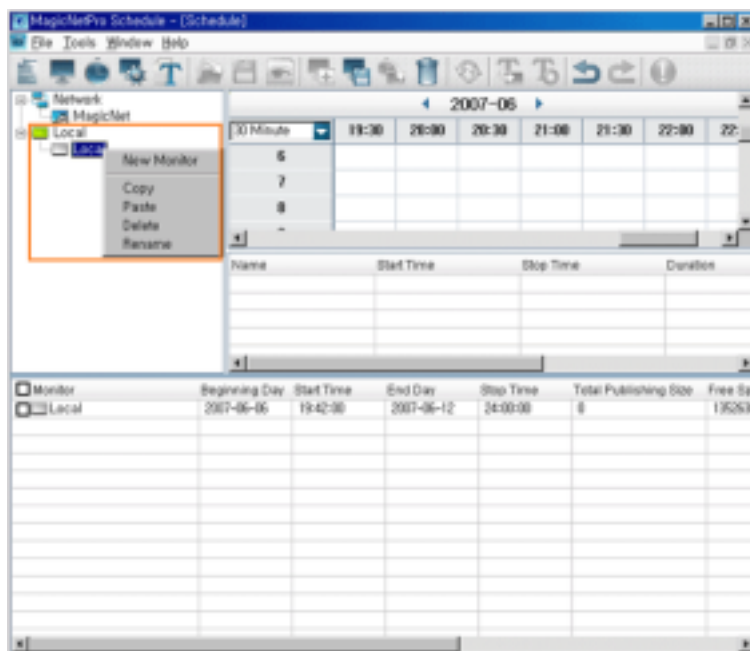
- ① ツリービュー
- ② EPGビュー
- ③ リストビュー
- ④ 発行ビュー

ツリービュー

現在サーバーに接続しているモニターの接続状態をモニターアイコンで表示します。ネットワークグループを作成して、モニターを効率的に管理することもできます。ネットワークで接続されたモニターを、グループにドラッグアンドドロップして移動することができます。

- ☐
☐
☐
 - : サーバーはプレーヤーモードで接続されています。
 - : サーバーはスケジュールモードで接続されています。
 - : サーバーは未知のモードで接続されています。
 - : サーバーがモニターに接続されていないか、モニターがローカルモニターです。

ネットワーク



- これは、ネットワークに接続されずに使用されるモニターのスケジュールの作成に使用される仮想モニターです。ローカルモニターのスケジュールを作成して、ローカル発行を実行することができます。
- 新規モニター:新しい仮想ローカルモニターを作成します。
- コピー / 貼り付け:選択したモニター上に設定されているスケジュールをコピーして、別のモニターに貼り付けます。
- 名前の変更:選択したモニターの名前を変更します。
 すでに他のモニターに使われている名前は使用できません。
- 削除:選択したモニターを削除します。

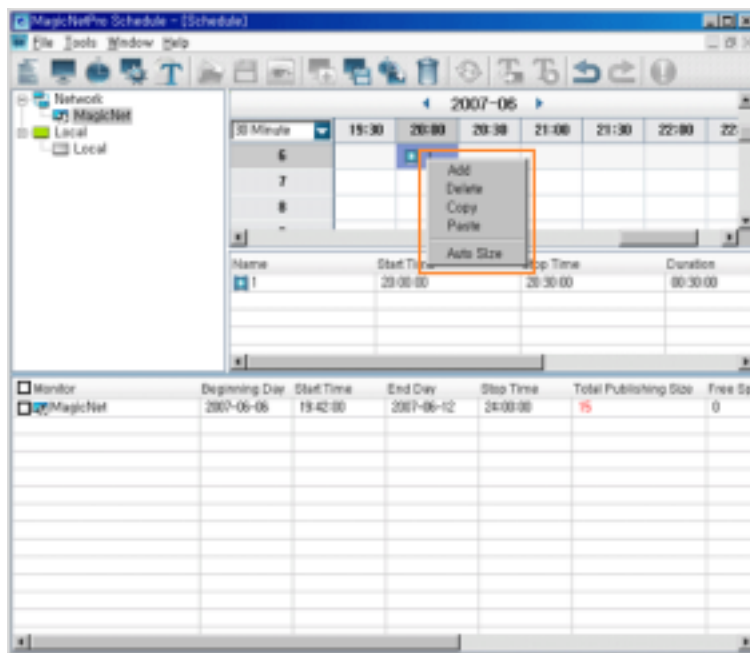
EPGビュー

モニターとスケジュールする時刻を選択してスケジュールを編集し、画面を登録することができます。登録済みの画面をドラッグアンドドロップして移動したり、ダブルクリックして登録されている時刻を変更することができます。



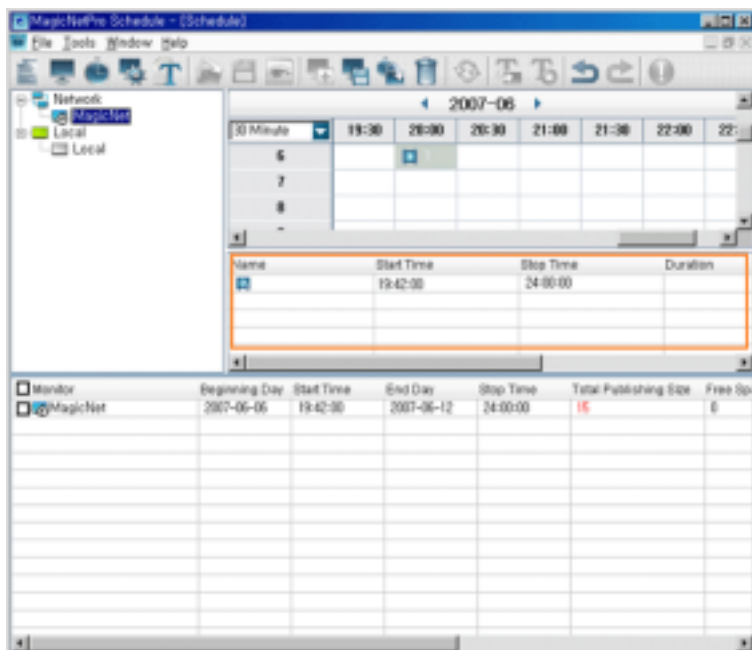
マウスを使用して、時間軸の最小単位きざみで画面の時刻を変更できます。詳細な時刻はリストビューで変更できます。ツリービューでモニターグループを選択している場合は、すべてのモニターに対して設定された画面が表示されます。画面は1日単位で表示することができます。ツリービューでモニターを選択した場合は、その画面が表示されます。日付は月単位で変更することができます。

EPG



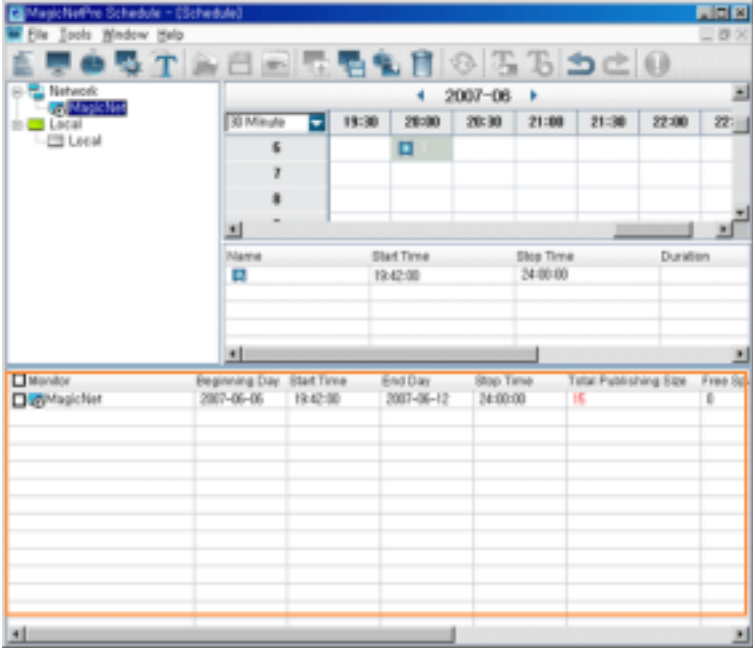
- ☐ ☐ ☐ 追加:EPGウィンドウをクリックしてモニターと時刻を選択して、スケジュールしたい画面を追加します。
- ☐ ☐ ☐ 削除:EPGウィンドウで現在選択されている画面を削除します。
- ☐ ☐ ☐ コピー / 貼り付け:EPGウィンドウをクリックしてモニターと時刻を選択して、現在選択している画面のコピーと貼り付けを行います。
- ☐ ☐ ☐ 自動サイズ:現在選択されている画面を、自動的に編集するとき背景設定の時刻に従って変更します。
- ☐ ☐ ☐ [時刻]コンボボックス現在表示されている時間軸の単位を変更します。(1/5/10/30/60/120分)

リストビュー



- ☐ ☐ ☐ 画面をダブルクリックするか、作成したボタンをクリックして、選択した画面の詳細項目を設定します。
- ☐ ☐ ☐ 名前:選択した画面の名前を変更します。画面名だけが変更され、時刻情報は保持されます。
- ☐ ☐ ☐ 開始時刻 / 停止時刻 / 継続時間:選択した画面の時刻情報を分単位で設定します。
- ☐ ☐ ☐ 定期的:選択した画面を繰り返す頻度を設定します。(なし / 毎日 / 毎週 / 毎月)
- ☐ ☐ ☐ 終了:選択したスケジュールの繰り返しを終了する日付を設定します。

● 発行ビュー

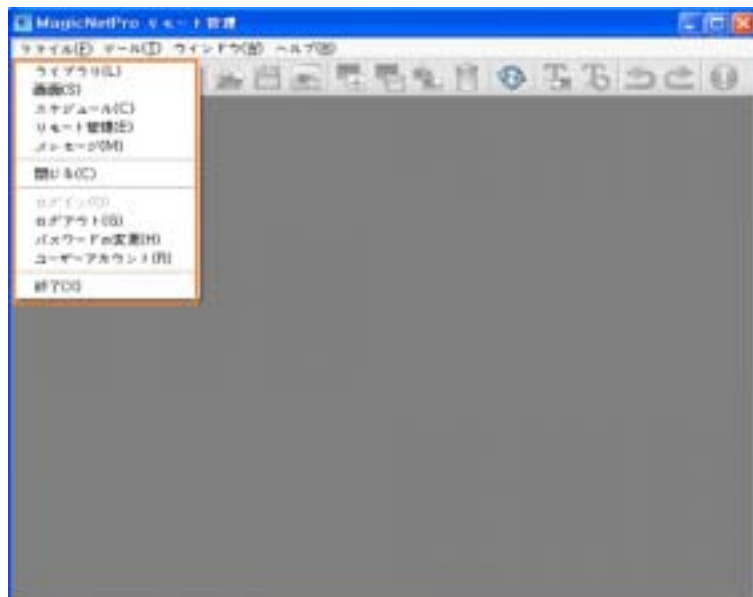


- ☐ EPGビューとリストビューで設定したスケジュールをチェックしたモニターに発行します。
- ☐ 開始日 / 開始時刻 / 終了日 / 終了時刻:スケジュールをモニターに発行する時刻についての情報を設定します。指定された期間内にある画面のみ発行できます。
- ☐ 総発行サイズ:指定された発行期間内の全画面サイズの合計を示します。これは、すべての画面において再生モードが「ダウンロード」に設定されたファイルの合計サイズになります。ただし、ローカルモニターの場合には、再生モードが「ストリーム」に設定されたファイルのサイズも含まれます。
- ☐ 空き容量:発行時にモニターがダウンロードできるファイルのサイズを示します。総発行サイズが空き容量より大きい場合には、発行を行うことはできません。ただし、サーバーオプションの[スケジュール]タブで[最大発行サイズ]オプションを変更した場合は、利用できる空き容量にかかわらずスケジュールを発行することができます。
- ☐ ステータス:スライダーに発行の進行状況をパーセンテージで表示します。これは、モニターにダウンロードされたファイルのサイズの画面(ファイル)の合計サイズに対する比率です。
- ☐ 結果:発行の結果を表示します。スケジュールをダブルクリックするかこのボタンをクリックして、詳細な発行情報を表示します。



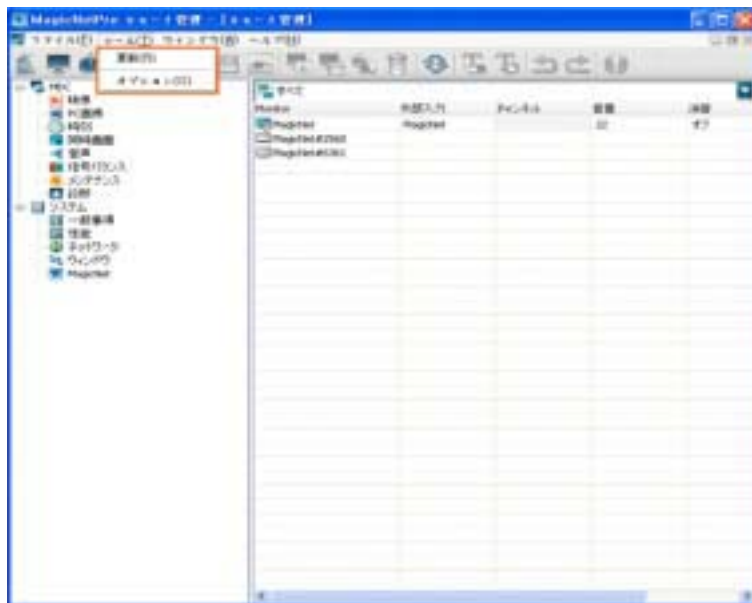
リモート管理

[ファイル]メニュー



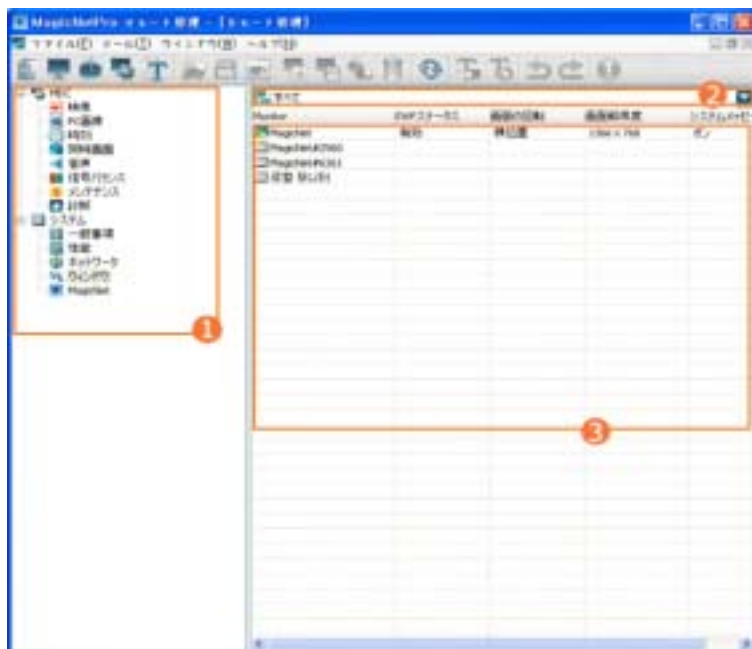
- ☐ ☐ **ライブラリ / 画面 / スケジュール / リモート管理 / メッセージ**
 - ビューの作成、または各メニュー項目について作成したビューの選択を行い、画面スケジュールの実行とモニターの基本的な制御をサーバーから行うことができます。
- ☐ ☐ **閉じる**
 - 現在作業している画面ビューを閉じます。保存されていない変更がある場合には、新しいウィンドウが表示され保存を行うことができます。
- ☐ ☐ **ログイン**
 - サーバーの機能を利用するには、サーバーにログオンする必要があります。サーバーにログオンして、サーバーのプログラムを実行することができます。MagicNet Proをインストールしたときに入力したパスワードが、デフォルトで管理者アカウントのパスワードになります。
- ☐ ☐ **ログアウト**
 - サーバーにログオンしている場合は、ログアウトすることができます。サーバーからログアウトした場合には、作成したすべてのビューが閉じられ、保存していない変更がある場合には新しいウィンドウが表示されて保存を行うことができます。
- ☐ ☐ **パスワードの変更**
 - 現在ログインしているアカウントのパスワードを変更します。
- ☐ ☐ **ユーザーアカウント**
 - サーバーにログオンできるユーザーアカウントの作成、削除および変更を行います。管理者とユーザーアカウントの2種類のアカウントを作成できます。
 - Administrator：すべてのサーバー機能を利用する権限があります。
 - User：サーバーオプションの変更とユーザーアカウント機能を除くすべての機能を利用する権限があります。
- ☐ ☐ **終了**
 - プログラムを終了します。保存されていない変更がある場合には、新しいウィンドウが表示され保存を行うことができます。

[ツール]メニュー



- ☐ ☐ **更新**
- ☐ ☐ ● 現在選択しているリモートコントロール項目の各クライアントの値を更新
- ☐ ☐ **オプション**
- ☐ ☐ ● サーバーの設定を変更します。詳しくは、「オプション」セクションを参照してください。

● リモート管理

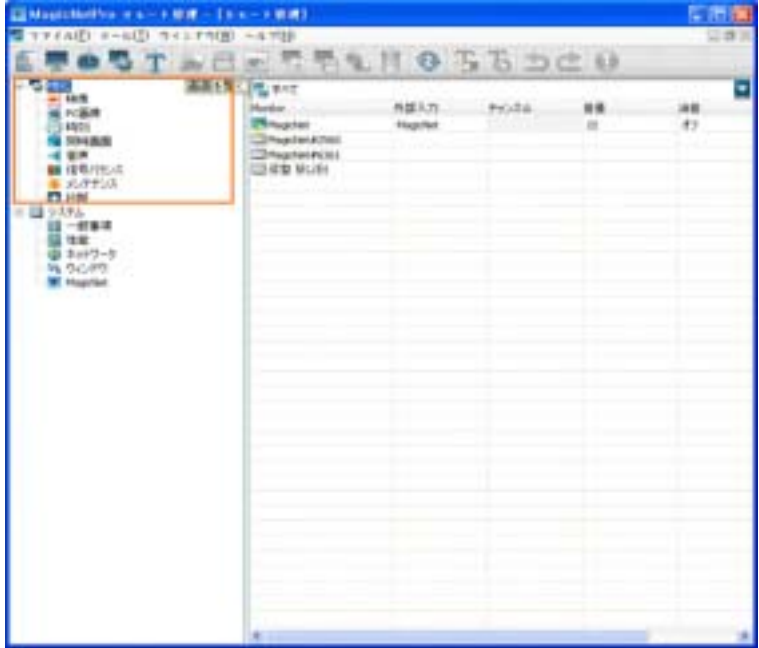


- ①** ツリービュー
- ②** リストビュー
- ③** コンボビュー

● ツリービュー

クライアントのさまざまな制御項目をツリービューで表示します。項目を選択した場合は、選択した項目の現在の状態が表示され、リストビューで制御することができます。

MDC



ツリービューにあるそれぞれのクライアントモニターのOSDメニューから、リモート管理が必要な項目を表示します。項目を選択した場合は、選択した項目の現在の状態が表示され、リストビューで制御することができます。

項目の詳細

MDC:クライアント制御の基本項目である外部入力、チャンネル、音量、およびミュートの現在の状態を表示します。リストビューでこれらの制御を行うことができます。

- チャンネルの変更(460TXn のみ)
- TV タイプの選択: TV タイプは、MDC の入力信号で デジタル TV またはアナログ TV のいずれかを選択すると決定されます。MDC 入力信号画面でデジタル TV を選択してチャンネルを変更すると、赤色の部分がチャンネル選択画面に表示され、副チャンネルのチャンネルも変更できるようになります。(460TXn のみ)
- チャンネル タイプの選択: 一般放送またはケーブル放送を選択できます。(460TXn のみ)
- チャンネルの選択: 選択した TV のチャンネルを選択できます。(460TXn のみ)
(TV: 一般放送チャンネルの範囲 - 2~69、ケーブル放送チャンネルの範囲 - 1、14~135)
(DTV: 主チャンネル - 0~999、副チャンネル - 0~999)

ビデオ映像:ビデオモードの現在の状態(AV、S-映像、コンポーネント、DVI(HDCP)、HDMI)を表示します。リストビューでこの制御を行うことができます。

PC画像:PCモードの現在の状態(PC、BNC、DVI、MagicNet)を表示します。リストビューでこの制御を行うことができます。

時刻:現在の時刻の状態を表示します。リストビューでこれらの制御を行うことができます。

-現在の時刻



- 1) 時:時間を入力します。
- 2) 分:分を入力します。
- 3) AM/PM:午前または午後を入力します。

-オンタイマー



- 1) 時:時間を入力します。
- 2) 分:分を入力します。
- 3) AM/PM:午前または午後を入力します。
- 4) ステータス:オンにする時刻を使用するか選択します。
- 5) 外部入力:外部入力を選択します。
- 6) 音量:音量を選択します。

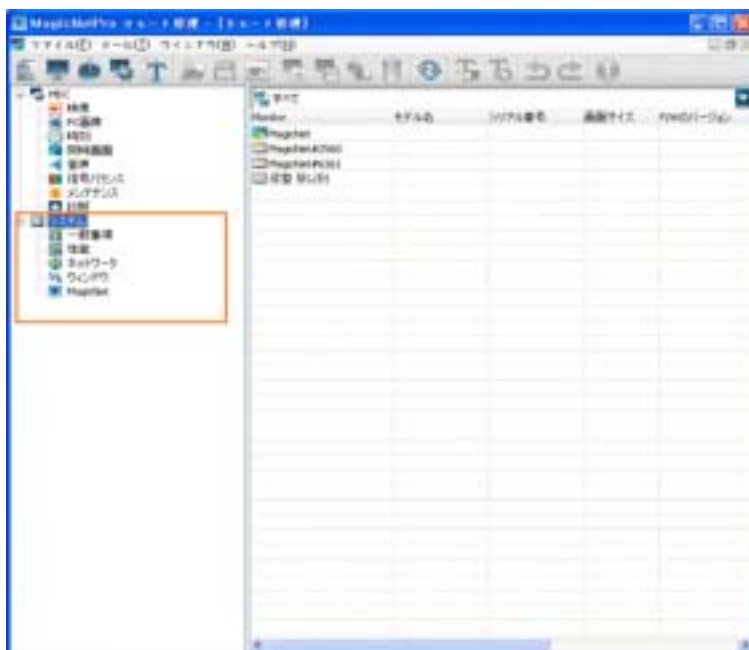
-Off Timer



- 1) 時:時間を入力します。
- 2) 分:分を入力します。
- 3) AM/PM:午前または午後を入力します。
- 4) ステータス:オンにする時刻を使用するか選択します。

☐	☐	☐	PIP:PIP情報を表示します。リストビューでこの制御を行うことができます。
☐	☐	☐	サウンド:現在のサウンドの状態を表示します。リストビューでこの制御を行うことができます。
☐	☐	☐	信号バランス:現在の信号バランスの状態を表示します。リストビューでこの制御を行うことができます。
☐	☐	☐	メンテナンス:ランプ制御、画面保護、画像分割、フォーマット、および安全ロックの状態を表示します。リストビューでこれらの制御を行うことができます。
☐	☐	☐	診断:各クライアントが正常かどうかを表示します。リストビューを使用して、各クライアントの内部の最高温度を制御できます。

■ システム



☐	☐	☐	ツリービュー内のクライアントの管理に必要な項目を、MDCとは別に表示します。項目を選択した場合は、選択した項目の現在の状態が表示され、リストビューで制御を行うことができます。
☐	☐	☐	
☐	☐	☐	項目の詳細
☐	☐	☐	

			システム:リストビューにあるクライアントの製品情報を表示します。
			全般:コンピュータ名やユーザー名など、クライアントの一般的な情報をリストビューに表示します。
			性能:CPUやネットワークの使用状況など、クライアントの現在の性能情報をリストビューに表示します。
			ネットワーク:リストビューにネットワーク情報を表示します。IPアドレスを設定することができます。
			ウィンドウ:EWFやRotationなど、オペレーティングシステムに関連する情報を表示します。リストビューでこれらの制御を行うことができます。
			MagicNet:MagicNetクライアントのステータスを表示します。リストビューでこの制御を行うことができます。

リストビュー

ツリービューで選択した各項目の詳細機能を表示します。コンテキストメニューの使用と各詳細機能をクリックすることにより、これらの制御を行うことができます。さらに、[ツール]メニューおよびツールバーの[更新]を使用して、現在の状態を更新することができます。

MDC

			ツリービューにあるそれぞれのクライアントモニターのOSDメニューから、リモート管理が必要な項目を表示します。項目を選択した場合は、選択した項目の現在の状態が表示され、リストビューで制御することができます。
			
			項目の詳細
			MDC:外部入力、チャンネル、音量およびミュートの現在の状態を表示します。クリックしてリストビューの設定を変更することで、各項目を制御することができます。
			● 入力ソースがTVの場合にのみ、チャンネルを表示して設定を制御できます。(TVをサポートしているモニターのみに該当します)
			ビデオ映像:モード、コントラスト、明るさ、シャープネス、色あい、色の濃さ、色調、色温度、サイズ、デジタルNR、およびフィルムモードの現在の状態を表示します。クリックしてリストビューの設定を変更することで、各項目を制御することができます。
			● これはビデオモード(AV、S-映像、コンポーネント、DVI(HDCP)、HDMI)でのみ使用できます。 ● コントラスト、明るさ、シャープネス、色あい、色の濃さの項目は、カスタムモードでのみ使用できます。 ● 色温度の項目は、色調の項目がオフになっているときにのみ適用されます。 ● [サイズ]項目の[自動ワイド]オプションは、TVモードでのみ使用できます。(TVをサポートしているモニターのみに該当します)
			PC画像 :MagicBright、コントラスト、明るさ、色の濃さ、赤、緑、青、色温度およびサイズの現在の状態を表示します。クリックしてリストビューの設定を変更することで、自動調整を含めて各項目を制御することができます。
			● この項目は、PCモード(PC、BNC、DVI、MagicNet)でのみ使用できます。 ● コントラストおよび明るさは、MagicBrightがカスタムモードの場合にのみ適用されます。 ● 赤、緑および青は、色の濃さがカスタムに設定されている場合にのみ適用されます。 ● 色温度は、色調の項目がオフになっているときにのみ適用されます。 ● 自動調整を行うには、表示されているボタンをクリックします。
			時刻:現在の時刻を設定し、オンタイマーおよびオフタイマーの状態を表示します。クリックしてリストビューの設定を変更することで、各項目を制御することができます。
			PIP:PIPの外部入力とサイズを表示します。クリックしてリストビューの設定を変更することで、PIPの位置および主副切換などの各項目を制御することができます。
			● 位置および主副切換は書き込みのみとなります。既存の設定を読み出すことはできません。必要なときに直接設定する必要があります。 ● 各項目は、サイズがオフ以外に設定されている場合にのみ有効になります。 ● サイズをオフ以外に設定すると、PIPを有効にすることができます。
			サウンド:サウンドモード、低音、高音、バランス、SRS、TSXTおよび音声選択の現在の状態を表示します。クリックしてリストビューの設定を変更することで、各項目を制御することができます。
			● 低音、高音およびバランスは、サウンドモードがカスタムに設定されている場合にのみ適用されます。
			信号バランス:信号バランスのオン/オフ、R位相、G位相、B位相、増幅およびシャープネスの情報を表示します。クリックしてリストビューの設定を変更することで、各項目を制御することができます。
			● R位相、G位相、B位相、ゲインおよびシャープネスは、信号バランスがオンに設定されている場合のみ適用されます。
			メンテナンス :ランプ制御、スクリーンセイバー、画面マトリクス表示、画面設定、および安全ロックの状態を表示します。クリックしてリストビューの設定を変更することで、各項目を制御することができます。
			 ● ライト調整
			1) 自動

- 時:ランプ調整に適用する時間を入力します。(最大値と最小値)
- 分:ランプ調整に適用する分を入力します。(最大値と最小値)
- AM/PM:ランプ調整に適用する午前または午後の別を選択します。(最大値と最小値)
- 値 :ランプ調整に適用する値を選択します。(最大値と最小値)

2) マニュアル - スライダを動かして、ランプに適用する値を選択します。



- 画面保護
 - 1) インターバル:スクリーンセイバーが起動するまでの時間を入力します。
 - 2) 秒:スクリーンセイバーを実行する時間を入力します。
 - 3) タイプ:スクリーンセイバーのタイプを入力します。

● 画像分割



- 1) 画像分割:ビデオウォールを有効にするかどうかを選択します。
- 2) 水平方向:水平方向に画面をいくつの部分に分割するかを設定します。
- 3) 垂直方向に並べる:垂直方向に画面をいくつの部分に分割するかを設定します。
- 4) : モニターが表示する領域を選択します。



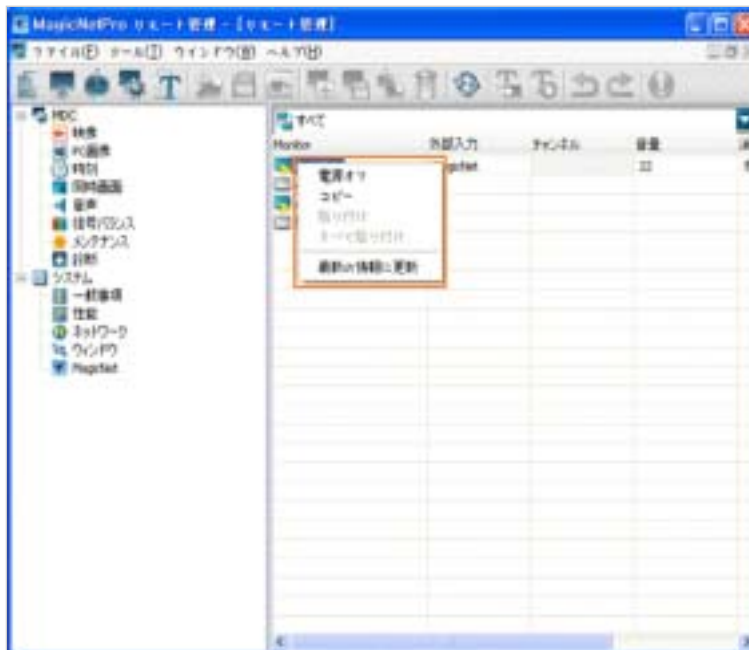
- 画面設定は、画面マトリックス表示機能が有効になっているときにのみ動作します。

- 画像分割フォーマットは、画像分割がオフになっていない場合にのみ適用されます。

診断:ランプ、クライアントの内部温度、明るさセンサーおよびファンが正常かどうかを表示し、現在および最高温度を表示します。クリックして設定を変更すると、最高温度を制御できます。

- 最高温度が現在の温度より低い場合には、エラーが表示されます。

コンテキストメニュー



電源のオン/オフ:この項目は、モニター名が選択されている場合にのみ有効になり、クライアント(モニター)のオン/オフを切り換えるのに使用されます。

コピー:選択した項目の設定をコピーします。

- モニター名を選択して[コピー]をクリックすると、リストに表示されるすべての項目がコピーされます。
- 項目を選択して[コピー]をクリックすると、その項目のみがコピーされます。
- 設定が表示されていないか項目に設定がない場合には、項目はコピーできません。
- 書き込み専用の項目はコピーできません。

			貼り付け:コピーされた設定をモニターに貼り付けます。
			● コピーされた項目が現在選択している項目と同じ場合にのみ利用できます。 ● クライアントがオンになっている場合にのみ利用できます。
			すべて貼り付け:コピーした設定を現在のリストに表示されているすべてのモニターに貼り付けます。
			● コピーされた項目が現在選択している項目と同じ場合にのみ動作します。 ● クライアントの電源がオンになっているときにのみ動作します。
			更新:選択したモニターの項目を更新します。

■ システム

			ツリービューでクライアントのシステムプロパティを管理するのに必要な項目を表示します。MDCのように各項目を選択して値を設定する代わりに、クライアントをダブルクリックするか、コンテキストメニューの[編集]を使用して、各項目の設定を行う必要があります。
			項目の詳細
			システム:モデル名、シリアル番号、画面サイズ、ファームウェアのバージョン、MagicNetのバージョン、OSイメージバージョンの情報を表示します。
			全般 :コンピュータの仕様および名前、ワークグループ、ユーザーおよびプロダクトキーの情報を表示します。
			性能:CPU、ネットワーク、メモリおよびディスクの使用状況を表示します。
			ネットワーク:Network Adapter、MAC Address、IPアドレスタイプ、IP Address、Subnet Mask、Default Gateway、Preferred DNS Server、Alternate DNS Serverについての情報を表示します。モニター名をダブルクリックするか、コンテキストメニューから[編集]を使用して、設定を変更することができます。
			 ネットワーク設定 - ネットワークアダプタ: Generic Realtek 8139C10-based Ethernet C - MACアドレス: 00-00-56-00-00-00 ☒ IPアドレスを自動的に取得 ☐ 以下のIPアドレスを使用 - 以下IPアドレスを使用 - IPアドレス: [] - サブネットマスク: [] - デフォルトゲートウェイ: [] - 優先されているDNS: [] - 代替DNS: [] [OK] [キャンセル] - ネットワークアダプタ:選択したクライアントのネットワーク アダプタを表示します。 - MACアドレス:選択したクライアントのMACアドレスを表示します。 - ☒ IPアドレスを自動的に取得: IPアドレスタイプを選択します。 - ☐ 以下のIPアドレスを使用 - IPアドレス:IPアドレスを入力します。 - サブネットマスク:サブネットマスクを入力します。 - デフォルトゲートウェイ:デフォルトゲートウェイのアドレスを入力します。 - Preferred DNS server:preferred DNS serverのアドレスを入力します。 - Alternate DNS server:alternate DNS serverのアドレスを入力します。 - ネットワークアダプタおよびMACアドレスの項目は変更できません。
			● ネットワークアダプタとMACアドレスの設定は変更できません。

ウィンドウ:EWF、画面の回転、画面の解像度、およびシステムメッセージの情報を表示します。モニター名をダブルクリックするか、コンテキストメニューから[編集]を使用して、設定を変更することができます。



- 1) 現在のステータス:選択したクライアントの現在のEWFステータスを表示します。
- 2) EWFコマンド:選択したクライアントの現在のEWFステータスを変更します。
- 3) 画面の回転:選択したクライアントの画面方向を選択します。
- 4) 画面解像度:選択したクライアントの解像度を表示します。
- 5) システムメッセージ:選択したクライアントについてのシステムメッセージを表示するかどうかを選択します。
- 6) 現在のステータスおよび画面解像度の項目は変更できません。

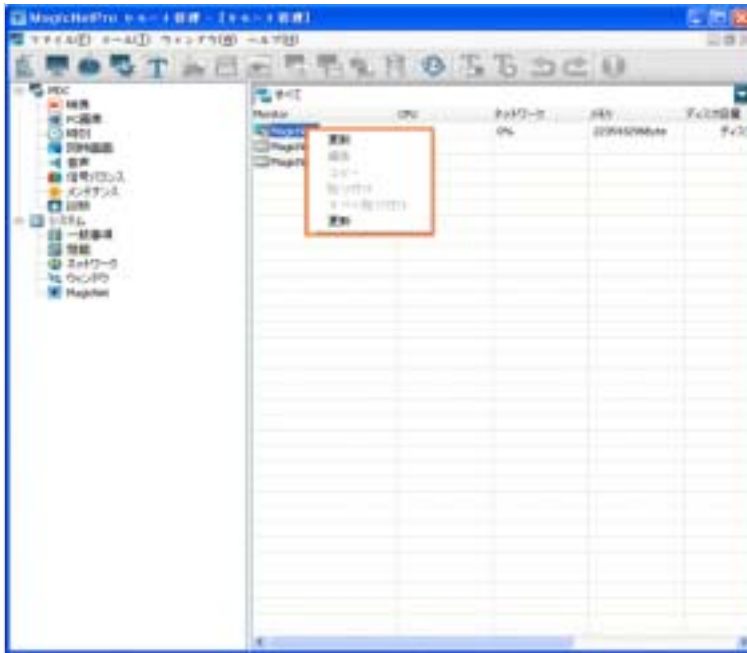
● 画面解像度の設定は変更できません。

MagicNet: スタートアップ、自動更新、パスワードロックの使用、コンテンツサーバーの情報を表示します。モニター名をダブルクリックするか、コンテキストメニューから[編集]を使用して、設定を変更することができます。



- 1) スタートアップ:クライアントが起動したときに実行されるプログラムを選択します。
- 2) 自動アップデート:自動アップデートを実行する方法を選択します。
- 3) パスワードロックを使用:パスワードロックを使用するかどうかを選択します。
- 4) コンテンツサーバー:コンテンツサーバーを使用するかどうかを選択します。
- 5) 選択されているコンテンツサーバー:コンテンツサーバーを使用する際に、優先するコンテンツサーバーのIPアドレスを入力します。
- 6) 代替コンテンツサーバー:優先コンテンツサーバーが動作していないときに使用する代替コンテンツサーバーのIPアドレスを入力します。

コンテキストメニュー



アップデート:この項目は、モニター名が選択されている場合にのみ有効となります。この項目は、クライアントのバージョンをサーバー上のアップデートバージョンと比較して、必要に応じてクライアントをアップデートするものです。

編集:モニター設定を変更できるように、ウィンドウを表示します。

- システム、全般および性能の項目については、設定は読み取り専用で無効となっています。

コピー:選択した項目の設定をコピーします。

- モニター名を選択して[コピー]をクリックすると、リストに表示されるすべての項目がコピーされます。
- 項目を選択して[コピー]をクリックすると、その項目のみがコピーされます。
- 設定が表示されていないか項目に設定がない場合には、項目はコピーできません。
- システム、全般、性能およびネットワークの項目はコピーできません。
- Windowsの画面解像度項目はコピーできません。

貼り付け:コピーされた設定をモニターに貼り付けます。

- コピーされた項目が現在選択している項目と同じ場合にのみ利用できます。
- クライアントがオンになっている場合にのみ利用できます。

すべて貼り付け :コピーした設定をリストに表示されているすべてのモニターに貼り付けます。

- コピーされた項目が現在選択している項目と同じ場合にのみ利用できます。
- 電源がオンになっているクライアントにのみ適用されます。

更新:選択したモニターの項目を更新します。

モニターステータス

- :サーバーはプレーヤーモードで接続されています。
- :サーバーはスケジュールモードで接続されています。
- :サーバーは未知のモードで接続されています。
- :サーバーがモニターに接続されていないか、モニターがローカルモニターです。

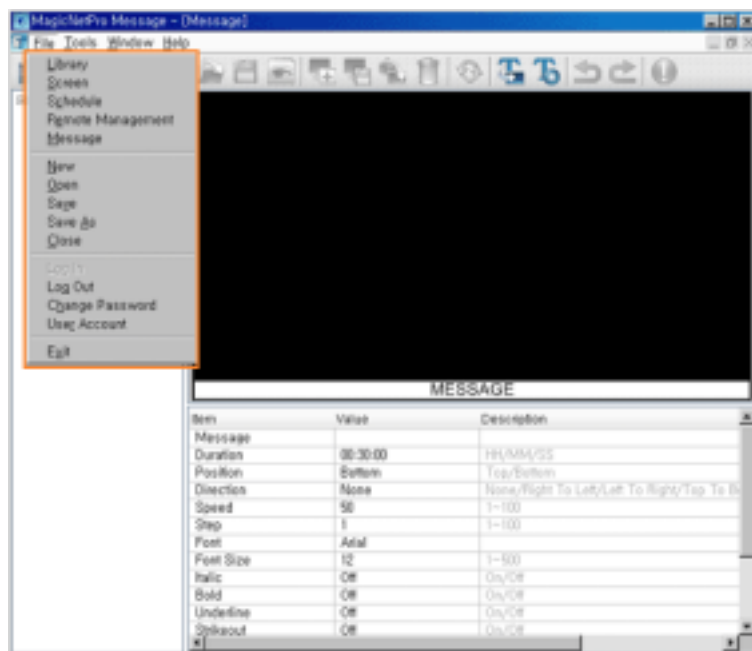
コンボビュー

- ☐ ローカルモニターグループ以外のすべてのモニターグループを表示し、グループを選択できるようにします。
- ☐ グループを選択している場合には、グループ内のクライアントのリストがリストビューに表示されます。



メッセージ

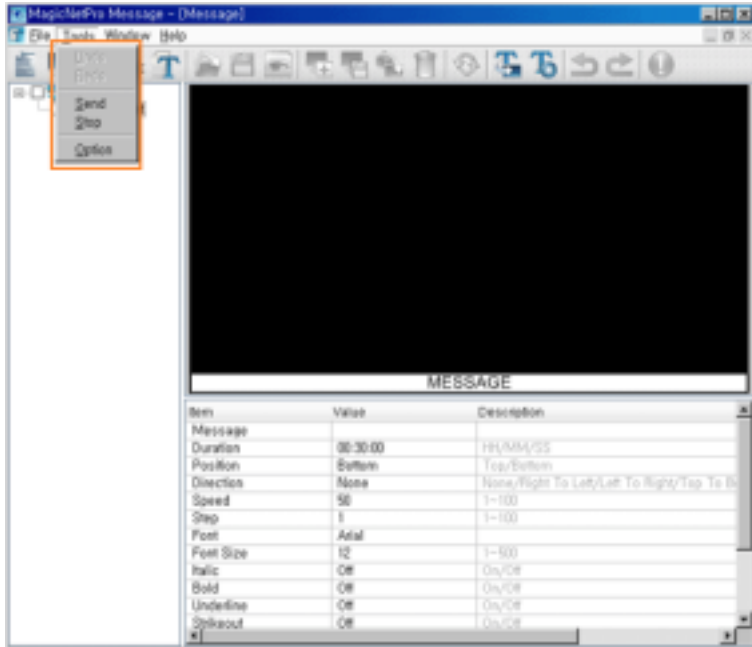
[ファイル]メニュー



- ☐ ライブラリ / 画面 / スケジュール / リモート管理 / メッセージ:
 - ビューの作成、または各メニュー項目について作成したビューの選択を行い、画面スケジュールの実行とモニターの基本的な制御をサーバーから行えるようにします。
- ☐ 新規
 - 現在作業しているメッセージビューを初期化します。保存されていない変更がある場合には、新しいウィンドウが表示され保存を行うことができます。
- ☐ 開く
 - メッセージファイルを開きます。保存されていない変更がある場合には、新しいウィンドウが表示され保存を行うことができます。
- ☐ 保存 / 名前を付けて保存:
 - 現在のメッセージファイルへの変更を保存したり、新しいメッセージファイルとして保存します。
- ☐ 閉じる
 - 現在作業しているメッセージビューを閉じます。保存されていない変更がある場合には、新しいウィンドウが表示され保存を行うことができます。
- ☐ ログイン
 - サーバーの機能を利用するには、サーバーにログインする必要があります。サーバーにログインして、サーバーのプログラムを実行することができます。MagicNet Proをインストールしたときに入力したパスワードが、デフォルトで管理者アカウントのパスワードになります。
- ☐ ログアウト
 - サーバーにログインしている場合は、ログアウトすることができます。サーバーからログアウトした場合には、作成したすべてのビューが閉じられ、保存していない変更がある場合には新しいウィンドウが表示されて保存を行うことができます。
- ☐ パスワードの変更
 - 現在ログインしているアカウントのパスワードを変更します。
- ☐ ユーザーアカウント
 - サーバーにログインできるユーザーアカウントの作成、削除および変更を行います。管理者とユーザーアカウントの2種類のアカウントを作成できます。
 - 管理者:すべてのサーバー機能を利用する権限があります。
 - ユーザー:サーバーオプションの変更とユーザーアカウント機能を除くすべてのサーバー機能を利用する権限があります。
- ☐ 終了
 - プログラムを終了します。保存されていない変更がある場合には、新しいウィンドウが表示され保存を行うこと

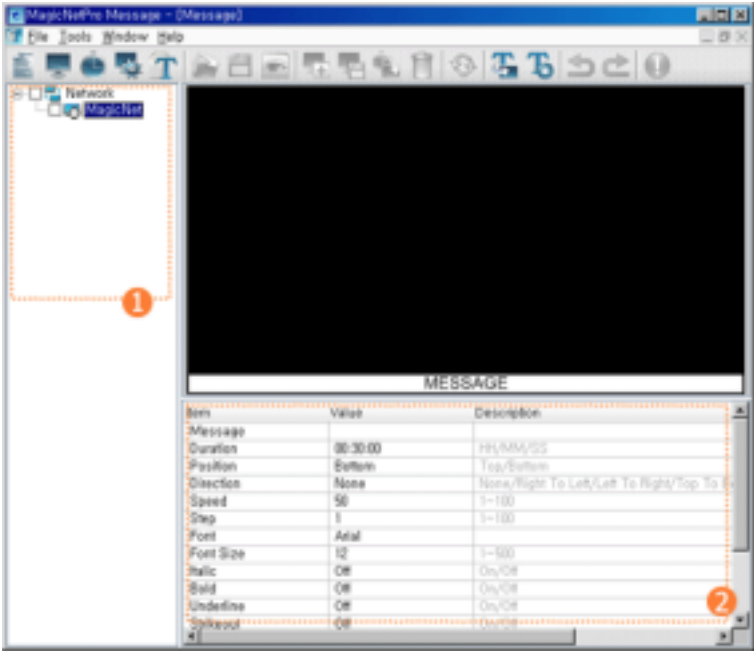
☐ ☐ ができます。

●●●●●●●●●● [ツール]メニュー



- ☐ ☐ 元に戻す / やり直し
- 直前に実行したコマンドをキャンセル、またはキャンセルされたコマンドを再度実行します。元に戻すコマンドの最大数は、[オプション]メニューで変更することができます。
- ☐ ☐ 送信 / 停止
- ツリービューで編集されたメッセージデータをチェックし、選択したモニターに送信(または停止)します。
- ☐ ☐ オプション
- サーバーの設定を変更します。詳細については[オプション]タブを参照してください。

●●●●●●●●●● メッセージ



- ① ツリービュー
- ② リストビュー

● ツリービュー

各モニターおよびグループの横にあるチェックボックスをチェックすると、メッセージを送る先のモニターを選択できます。

● リストビュー

メッセージをダブルクリックするか作成されたボタンをクリックして、モニターに送るメッセージについての詳細機能を変更します。

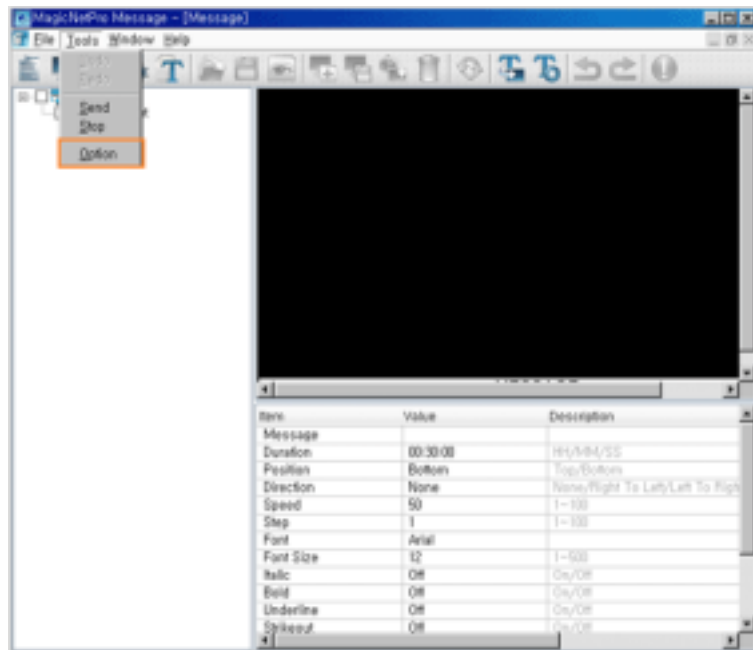
- ☐ ☐ ☐ メッセージ:モニターに表示するメッセージを設定します。
☐ ☐ ☐ 設定したモニターは、プレビューウィンドウには適用されません。
- ☐ ☐ ☐ 継続時間:モニターにメッセージが表示される時間を分単位で選択します。
- ☐ ☐ ☐ 位置 :モニターにメッセージが表示される位置を選択します。(上 / 下)
- ☐ ☐ ☐ 方向:モニター上をメッセージが流れる方向を設定します。(なし / 右から左 / 左から右 / 上から下 / 下から上)
- ☐ ☐ ☐ 速度:モニター上をメッセージが流れる速度を設定します。
- ☐ ☐ ☐ ステップ:モニター上をメッセージが流れる間隔を設定します。
- ☐ ☐ ☐ フォント、フォントサイズ、斜体、太字、下線、取消線、フォント色:モニターにメッセージを表示する際のフォント設定を行います。
☐ ☐ ☐ フォントタイプは、サーバーが動作しているコンピュータ上のフォントを表示します。フォントを表示するには、同じフォントがモニター上にインストールされている必要があります。
- ☐ ☐ ☐ 水平に配置:モニター上に表示されるメッセージのテキストを配置します。
- ☐ ☐ ☐ 背景色 :モニターにメッセージを表示する際の背景色を選択します。
- ☐ ☐ ☐ 透過度 :モニター上にメッセージを表示する際に使用する透過度を選択します。(オン/オフ)



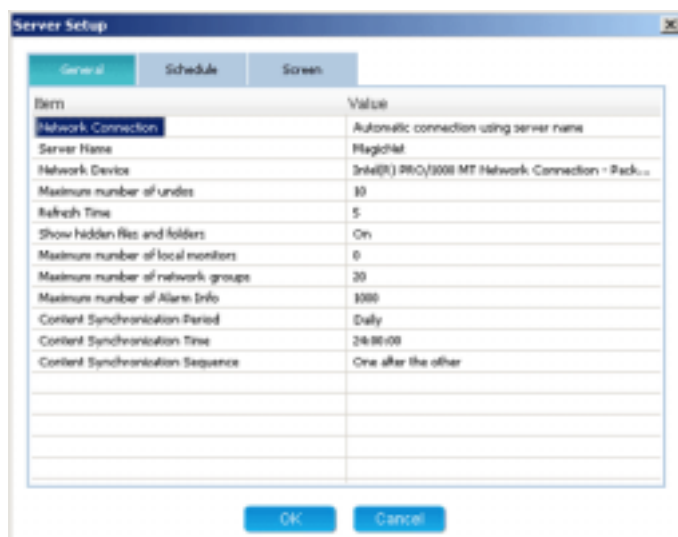
MagicNetとは?	MagicNetの使用	ライブラリ	画面	スケジュール
リモート管理	メッセージ	オプション	クライアント	トラブルシューティング

オプション

オプション



一般事項



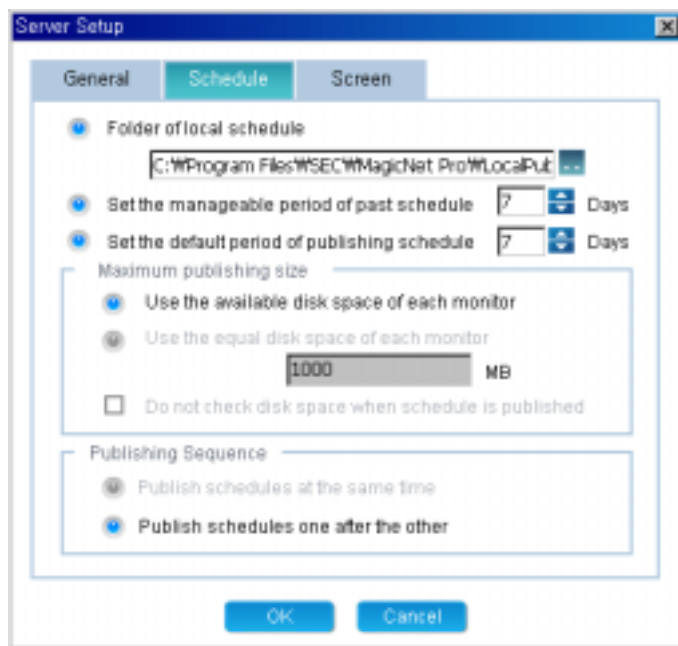
ネットワーク接続 : サーバーとモニターの接続方法を選択します。サーバーとモニターは、同じ接続方法を使用している場合にのみ接続できます。

- 自動接続: モニターは同じネットワークのサーバーに自動的に接続します。
- 直接接続: モニターは指定されたIPアドレスのサーバーに直接接続します。

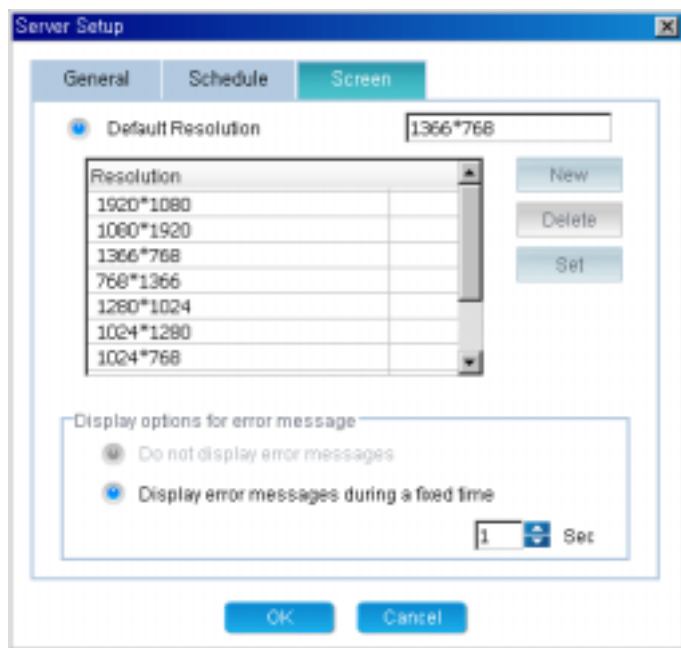
サーバーとモニターが別のプライベートネットワーク上にある場合には、相互に接続することはできません。ただし、サーバーがパブリックIPアドレスを持つ場合には、プライベートIPアドレスを持つモニターは直接接続方法を使用して接続することができます。

	サーバー名 :サーバー名を変更します。 サーバーとモニターは、サーバー名が同じ場合にのみ相互に接続することができます。
	ネットワークデバイス :サーバーで使用するLANカードを選択します。 使用できるLANカードがPC上に複数ある場合には、サーバーを最初に起動したときに使用するLANカードを選択するウィンドウが開きます。
	やり直しの最大回数:前の操作をキャンセルできる最大回数を選択します。
	更新間隔:サーバーがモニターのデータを受信してリモート管理を更新する頻度を選択します。0に設定すると、サーバーはモニターデータの更新を自動的に行わず、ツールバーまたはメニューで[更新]をクリックしてモニターデータの更新を行う必要があります。
	非表示のファイルおよびフォルダを表示:サーバーコンピュータ上の非表示属性のファイルをライブラリに表示します。
	ローカルモニターの最大数:スケジュールをローカルに発行するのに作成できる仮想ローカルモニターの最大数を設定します。
	ネットワークグループの最大数:ネットワークで接続されたモニターを管理するのに作成できるネットワークグループの最大数を設定します。
	Maximum number of Alarm Infos:クライアントのユーザーにエラーを通知する警告メッセージの保存可能数を指定します。指定された数を超えるエラーが発生した場合には、古いメッセージは削除されます。
	Content Synchronization Period:コンテンツサーバーの同期間隔を設定します。
	Content Synchronization Time:コンテンツサーバーを同期する時刻を設定します。ただし、同期はクライアントで設定された時刻に行われます。
☐	Content Synchronization Sequence:コンテンツを同期する順序を設定します。

スケジュール



	ローカルスケジュールのフォルダ :仮想ローカルモニターを使用してローカルスケジュールを作成するディレクトリを設定します。デフォルトのフォルダは、サーバーがインストールされているフォルダになります。
	過去のスケジュールを管理できる期間を設定:画面の登録、保存およびインポートができるスケジュールの期間を設定します。0に設定すると、現在の時刻より前の画面の登録、保存またはインポートはできなくなります。
	スケジュール発行のデフォルト間隔を設定:スケジュールのデフォルトの発行間隔を設定します。
	最大発行サイズ:スケジュールを発行するためのモニター上の空き容量に関するオプションを設定します。 ● 各モニターの使用可能なディスク容量を使用:サイズをモニターの最大空きディスク容量に設定します。 ● 各モニターについて同じディスク容量を使用:サイズを編集ボックスに入力した値に設定します。 ● スケジュールが発行されるときにディスク容量をチェックしない:発行するスケジュールの合計サイズがモニターの空きディスク容量より大きくなっても、発行を継続します。
	発行順序 :複数のモニターについて発行を行うときの順序を指定します。 ● 同時にスケジュールを発行:複数のモニターに対して同時にスケジュールを発行します。 ● スケジュールを1つずつ発行:複数のモニターに対して1つずつスケジュールを発行します。



デフォルトの解像度:新しく作成される画面のデフォルトの解像度を追加、削除および設定します。

- 新規:画面で使用できる新しい解像度を追加します。画面の背景解像度のリストに追加されます。
- 削除:作成した解像度を削除します。画面の背景解像度のリストから削除されます。
- セット:選択した解像度をデフォルトの解像度として設定します。

エラーメッセージの表示オプション:画面をプレビューしたときに発生する可能性のあるエラーについてのオプションを設定します。

- エラーメッセージを表示しない:エラーが発生したとき、エラーメッセージを表示しないで次のプレビュー動作を継続します。
- 指定した時刻にエラーメッセージを表示:エラーが発生したとき、指定した時間エラーメッセージを表示し、その時間が経過したら自動的に非表示にします。



クライアント機能

プログラムはコンテンツサーバーが動作している別のPC上で実行されます。



- Version:コンテンツサーバーのバージョン。
- MAC ID:コンテンツサーバーがインストールされているPC上のネットワーク機器 (ネットワーク機器)のMACアドレス。MagicNet Serverを使用するときには、コンテンツサーバーとして登録されていることを確認します。
- 名前:MagicNet Serverで設定されているコンテンツサーバーの名前。
- 接続
- サーバーIP:接続先となるMagicNet ServeのIPアドレスを入力します。[Connect]ボタンをクリックします。クライアントは、指定されたServer IPアドレスのMagicNet Serverへの接続を試行します。MagicNet Serverが接続を承認すれば、クライアントは正常にサーバーに接続できます。
- ステータス:MagicNet Serverの接続ステータスを表示します。
- ネットワーク:ネットワークの使用について表示します。

MagicNetクライアントの設定



- バージョン情報** バージョンを表示します。
- EWF** ドライブ設定を表示または変更します。
- パスワード** パスワードの管理を行います。
- セットアップ**

5	回転	選択したオプションで画面を回転します。
6	プログラム	プログラムを実行または終了します。
7	終了	mnMainを終了します。mnMainを終了すると、MagicNet Xおよびスケジュールプログラムも終了します。

EWF:ドライブ設定を表示および変更します。

1 EWFステータス

- 現在のステータス:現在のEWFの状態を示します。
- 起動コマンド:次回起動時に適用されるEWFステータスを表示します。

2 EWFコマンド

- 無効にして再起動:EWFを無効にして再起動します。EWFステータスは、次回起動時に無効になります。
- 有効にして再起動:EWFを有効にして再起動します。EWFステータスは、次回起動時に有効になります。
- 実行:有効化についての変更を保存します。

パスワード:既存のMagicNet Xのパスワードを管理します。

セットアップ画面に入る前にパスワードを確認します。[パスワードロックを使用]チェックボックスをチェックすると、MagicNet Xのセットアップメニューに入るときに再度パスワードを確認する必要があります。

1 旧パスワード

- 既存のパスワードを入力します。

2 新パスワード

- 新しいパスワードを入力します。

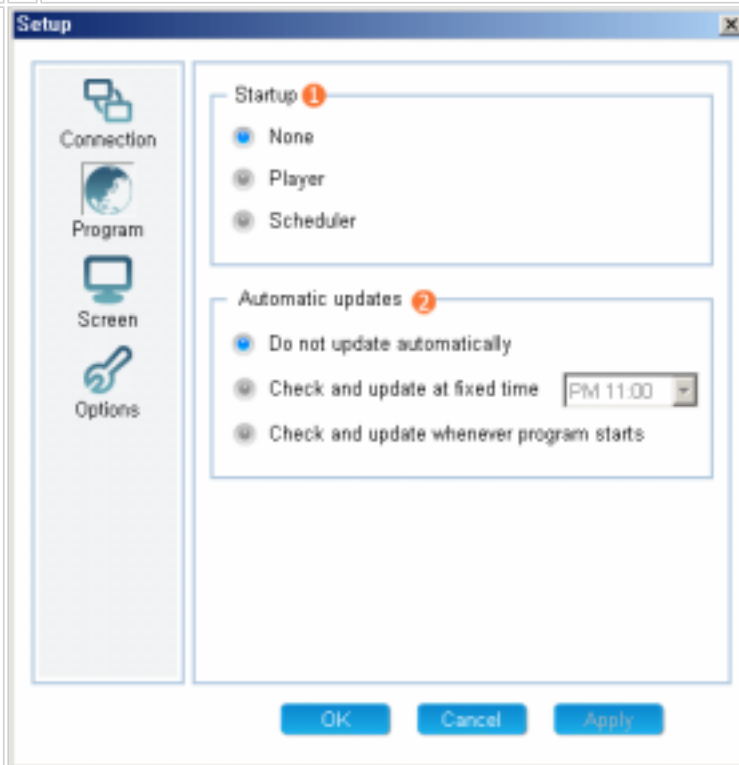
1 変更	● パスワードを変更します。 2 パスワードロックを使用 ● セットアップ画面に入る前にパスワードを確認します。
3 セットアップ	
4 [接続]タブ	
	Setup Connection Program Screen Options Schedule server 1 Automatic connection using server name Reconnect another server when disconnected Direct connection using IP address IP address: 10 . 88 . 38 . 121 Content server 2 Connect content servers Preferred: 11 . 88 . 38 . 118 Alternate: 0 . 0 . 0 . 0 Name 3 Server: MagicNetSV Client: MagicNet#1 OK Cancel Apply
1 スケジュールサーバー	● サーバー接続設定 ○ クライアントは自動的にサーバーに接続します。 ○ 接続が切断されたときには、クライアントは別のサーバーに自動的に接続します。 ○ クライアントはサーバーに手動で接続します。(サーバーのIPアドレスを入力します) 2 コンテンツサーバー ● 2台までのコンテンツサーバーを設定できます。 ● (サーバーのIPアドレスを入力します) 3 名前 ● 名前の設定 ○ 接続先のサーバーのID ○ クライアントID
1 スケジュールサーバー	
● サーバー名を使用して自動的に接続 ：スケジュールサーバーおよびクライアントが同じサブネットワーク上にある場合には、クライアントはサーバーの名前を使用してサーバーに接続します。 ● 切断されたら別のサーバーに再接続 ：接続が切断された場合には、クライアントは同じサブネットワーク上の別のサーバーに自動的に接続します。 ● IPアドレスを使用して直接接続 ：クライアントは入力されたIPアドレスのスケジュールサーバーに接続します。 ：クライアントは、同じネットワーク上にない場合でもスケジュールサーバーに接続できます。ただし、サーバーがプライベートネットワーク上でプライベートIPアドレスを持つ場合には、クライアントは接続できません。したがって、スケジュールサーバーはネットワーク上にパブリックIPアドレスを持つ状態でインストールする必要があります。	
2 コンテンツサーバー	
● コンテンツサーバーの接続 ：このオプションは、別のスケジュールサーバーおよびコンテンツサーバーを使用する場合に選択します。 ：このオプションを選択すると、すべてのコンテンツファイルが指定されたコンテンツサーバーからダウンロードまたはストリーミングされ、スケジュールサーバーはスケジュール設定とリモートコントロール機能のみ	

- 優先IP
:プライマリコンテンツサーバーとして動作するコンピュータのIPアドレスを入力します。
- 代替IP
:プライマリコンテンツサーバーに接続できないときに動作するコンピュータのIPアドレスを入力します。

3	名前
---	----

- サーバー
：クライアントが接続するスケジュールサーバーの名前を入力します。
- クライアント
：スケジュールサーバーに接続するモニターの名前を設定します。

 [プログラム]タブ



 スタートアップ

- クライアントが起動したときに実行されるプログラムを選択します。

☐ 自動アップデート

- 自動アップデートを実行する方法を選択します。

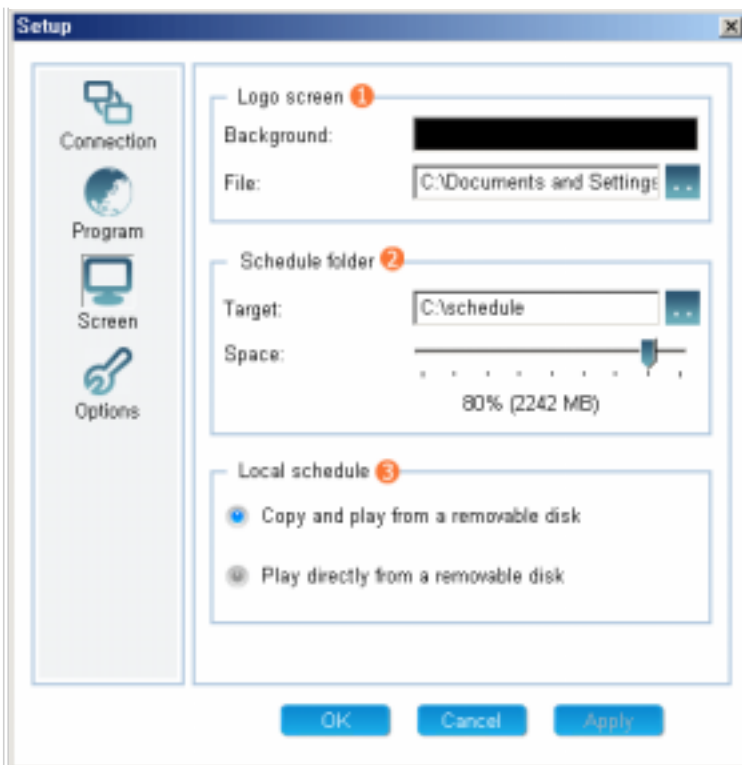
1	スタートアップ
---	---------

- クライアントが起動したときに実行されるプログラムを設定します。
- 2つのプログラム的一方を選択するか、両方とも選択しないことができます。
- プレーヤー:リモートコントロールを使用でき、サーバー上にあるコンテンツを受信して再生できるメディアプレーヤープログラムを実行します。(MagicNet X)
- 情報を表示するプログラムを実行します。このプログラムは、サーバー上に作成した画面を指定した時刻に表示し、リモートからコントロールすることができます。

2	自動アップデート
---	----------

- クライアントプログラムを自動的に更新する方法を設定します。
- 自動的にアップデートしない: アップデートは自動的に行われません。
- 指定した時刻にチェックしてアップデート: アップデートバージョンを毎日指定した時刻にチェックして、必要に応じてクライアントをアップデートします。
- プログラムの起動時にチェックしてアップデート: プログラムが起動するたびにアップデートバージョンをチェックして、必要に応じてクライアントをアップデートします。

☒ 「画面」タブ



- | | |
|---|--|
| 1 | ロゴ画面: Signage Schedulerプログラムのメイン画面。
<ul style="list-style-type: none"> ● 背景: 背景色を選択します。 ● ファイル: ロゴ画面を設定します。(Flash、写真、映画ファイルを設定できます) |
| 2 | スケジュールフォルダ: スケジュールファイルの場所を設定します。
<ul style="list-style-type: none"> ● ターゲット: 画面デザインファイルおよびコンテンツファイルの場所を設定します。 ● スペース: ダウンロードするファイルのサイズ制限を設定します。 |
| 3 | ローカルスケジュール: ローカルスケジュールオプションを設定します。
<ul style="list-style-type: none"> ● リムーバブルディスクからコピーして再生: スケジュールファイルをUSBデバイスからFDMにコピーしてから実行します。 ● リムーバブルディスクから直接再生: USBデバイスから直接スケジュールファイルを実行します。 |

1 ロゴ画面

- スケジューラの初期画面またはスケジュールの間に表示される画面を設定します。
 - 背景: 全体画面の背景を設定します。
 - ファイル: 背景に表示されるロゴ画面を設定します。(Flash、写真、映画ファイルを設定できます)

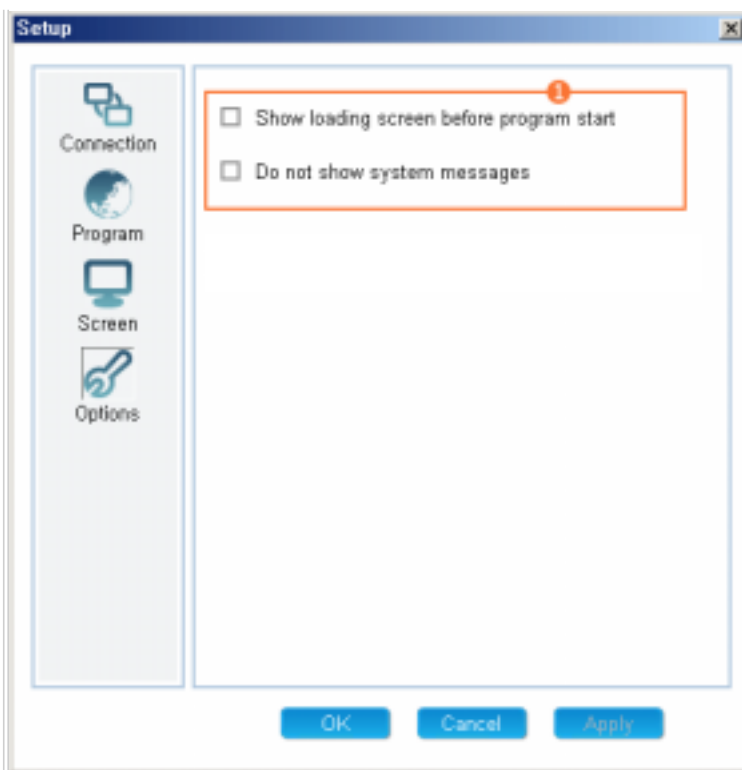
2 スケジュールフォルダ

- スケジュールを設定するコンテンツをダウンロードして管理し、ディスクのサイズ管理を行うディレクトリを設定します。
 - ターゲット: ターゲットディレクトリを設定します。
(C:ドライブはシステムが使用するため、D:ドライブ上またはリモートディスク上のディレクトリを設定します)
 - スペース: スケジュールに使用されるディスクサイズの制限を設定します。利用できる空き容量の10～90%を設定することができます。

3 ローカルスケジュール

- ネットワークではなくUSBデバイスを使用してスケジュールを実行するときに必要なオプションを設定します。
 - リムーバブルディスクからコピーして再生
: USBデバイス上にあるスケジュールをスケジュールフォルダにコピーして、コピーされたスケジュールを再生します。コピーが終わったらUSBデバイスを取り外すことができます。
 - リムーバブルディスクから直接再生
: USBデバイス上に存在するスケジュールを直接再生します。USBデバイスを取り外すと、スケジュールは終了します。

■ [オプション]タブ



- 1 その他のオプション
- プログラム開始前にロード画面を表示:コンピュータが起動してからメインプログラムが開始されるまで、ロード画面を表示します。
 - システムメッセージを表示しない:Windowsが生成したシステムメッセージを表示しません。



トラブルシューティング



モニターにサーバーが接続されていないとき



- サーバーおよびモニターのネットワーク環境が正常かどうかチェックします。
(ネットワークケーブルの接続、IPアドレスの設定など)
- サーバーが動作するPCに複数のネットワークカードがある場合には、正しいネットワークカードが選択されているかチェックします。
([サーバーオプション]ウィンドウの[ネットワークデバイス]項目を使用します)
- サーバーおよびモニターが使用しているサーバー名が等しいかチェックします。
- サーバーおよびモニターが使用している接続方法が等しいかチェックします。
(サーバー名を使用して自動的に接続/IPアドレスを使用して直接接続)
- 接続方法が「サーバー名を使用して自動的に接続」に設定されているときは、サーバーおよびモニターが同じサブネット上にあることを確認してください。
- 接続メソッドが「IPアドレスを使用して直接接続」に設定されているときは、サーバーのIPアドレスがモニターで正しく設定されていることを確認してください。サーバーとモニターが別のネットワーク上にある場合には、サーバーのIPアドレスはパブリックIPアドレスでなければなりません。
- Windowsのファイアウォールによって、モニターがサーバーにアクセスできないようになっていないか確認します。



モニター名の横のアイコンが黄色に表示され、「正常に接続」を意味する青色ではない場合



この状態は、ネットワーク接続は正常ですが、サーバーとモニターとの接続が正常でない場合を示します。これは、モニターが異なるサーバーに接続しているか、ネットワークの状態が異常となっています。モニターの接続とネットワークの状態を確認します。



発行が正常に行えない場合



- 発行先のモニター横のチェックボックスが選択されているかどうか確認してください。
- 発行先のモニターがサーバーに接続されているかどうか確認してください。
- 発行先のモニターの動作モードがスケジュールに設定されているか確認してください。
- モニターに十分なディスク空き容量があるかどうか確認してください。
- 発行時間内に画面があるかどうか確認してください。



発行ステータスで100%が表示されないのに発行が終了する場合



- 発行ステータスに表示されるパーセンテージは、モニターが実際にダウンロードしたコンテンツのサイズが、画面上にダウンロードするように設定されているすべてのコンテンツの合計サイズに占める比率です。100%が表示されない場合は、モニターがコンテンツファイルのダウンロードに失敗したことを意味します。結果を表示するには、モニターの[結果]セルをダブルクリックするか、クリックしたときに表示されるボタンを使用します。モニターがダウンロードに失敗したファイルが実際にサーバーまたはコンテンツサーバー上に存在しているか、またそのファイルを正しいものであるか確認してください。
- サーバーの立ち上げ時に同時に実行されるStreamServer.exeが正常に実行されているかどうかを確認します。(トレイアイコンを見るか、タスクマネージャの[プロセス]タブでイメージ名を確認して、StreamServer.exeが実行されているかどうかチェックします)実行されていない場合には、サーバーを再度実行するか、サーバーの実行可能ファイルがあるフォルダでStreamServer.exeを実行します。



スケジュールが正常に実行されない場合



- スケジュールが正常に発行されているか確認してください。
- サーバーおよびモニターのシステム時刻が等しいかチェックします。



パスワード / ログイン



MagicNet Proをインストールしたときに入力したパスワードが、デフォルトで管理者アカウントのパスワードになります。



パスワードを忘れた場合には、プログラムを削除して再インストールします。



モニターのアップデート機能が動作しない場合



モニターのバージョンを確認します。最新のバージョンであれば、アップデートは実行されません。



映画ファイルがライブラリに登録されない場合



サーバーがモニターに登録しようとしている映画ファイルに適したコーデックがインストールされているか確認してください。同じタイプのコーデックが複数インストールされているか、不完全なコーデックがPCにインストールされている場合には、問題の原因となる場合があります。



画面上で編集した領域がプレビューできないか、プレビュー機能が動作しない場合



- プレビューしたいファイルが破損していないか、また実際に存在しているか確認します。
- オフィスファイルまたは外部入力にはプレビューできません。



プログラムの削除

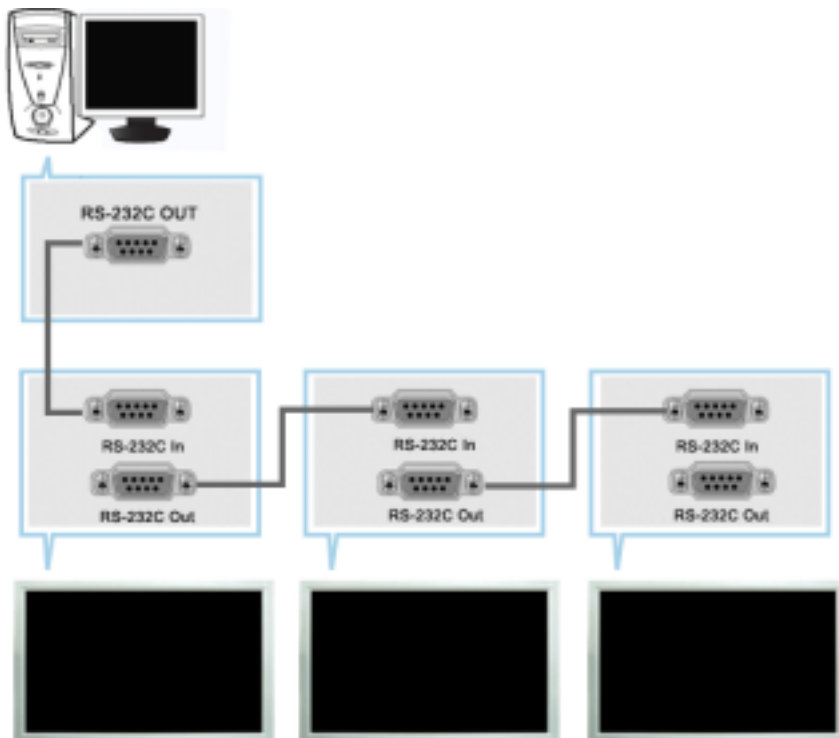
MagicNet Proは、Windowsの[プログラムの追加と削除]
またはプログラムのインストール時に作成されたメニューを使用して削除できます。

MagicNet Pro
の削除は以下の手順で行います。

1. [スタート]をクリックして、[設定]、続いて[コントロールパネル]をクリックします。
2. Windows XPでは、[スタート]に続いて[コントロールパネル]をクリックします。
3. コントロールパネルの[プログラムの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。
4. [MagicNet Pro]をクリックします。必要に応じて[プログラムの追加と削除]ウィンドウをスクロールダウンします。
5. [変更/削除]をクリックします。
6. [はい]をクリックして[MagicNet Pro]を削除します。
7. プログラムが正常に削除されたことを示すメッセージが表示されるまで待ちます。

Multiple Display Control *MDC System*

準備

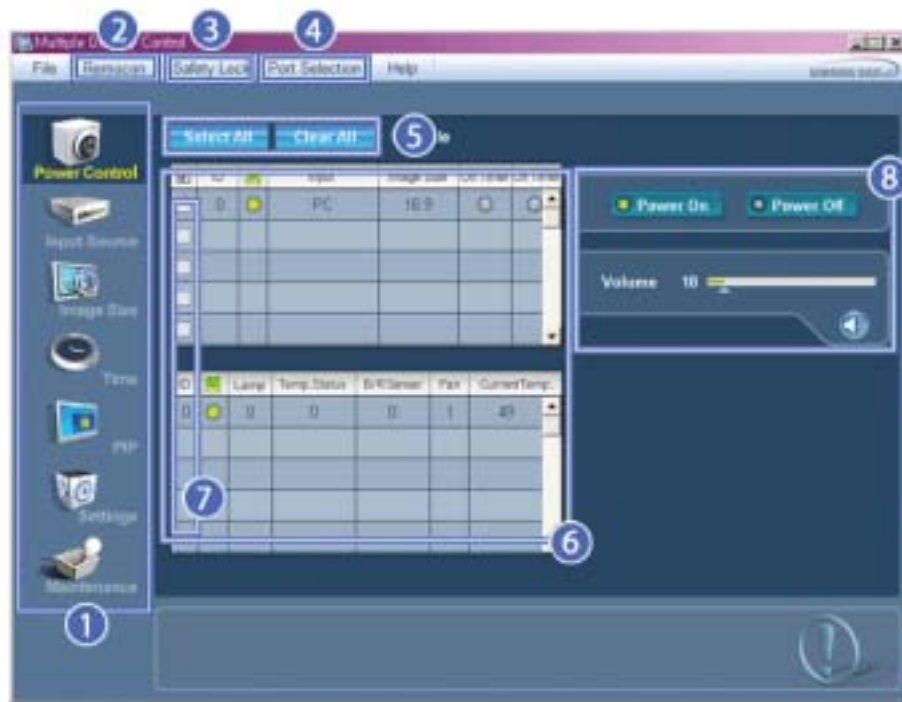


マルチディスプレイコントロール(MDC)は、様々な表示をPC上で容易にしかも一度に作動させることができるアプリケーションです。シリアル通信の規格 RS-232Cは、PCとディスプレイ間の通信のために使用されます。そのために、シリアルケーブルが、PC上のシリアルポートとディスプレイにあるシリアルポート間を接続する必要があります。

メイン画面

スタート > プログラム > マルチディスプレイコントロールの順にクリックし、プログラムをスタートさせます。

セットを選択して、スライダ内で選択されたセットのボリュームを見ます。

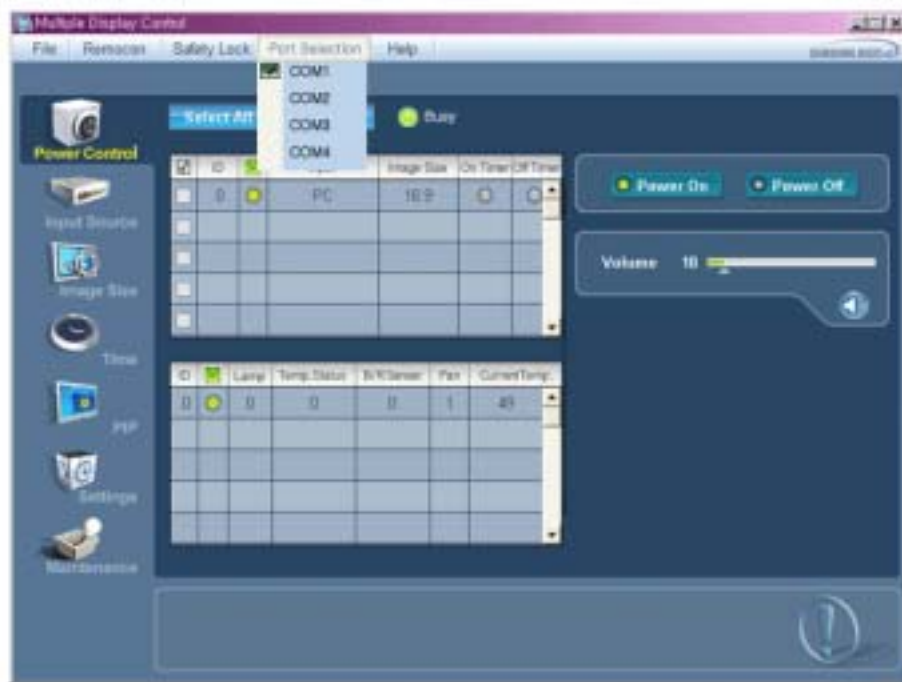


- | | |
|------------------|-------------|
| ① メインアイコン | ⑤ セレクトボタン |
| ② Remocon | ⑥ Info Grid |
| ③ Safety Lock | ⑦ ディスプレイ選択 |
| ④ Port Selection | ⑧ コントロールツール |

1. メインアイコンを使用して、それぞれの画面に切り換えます。
2. 表示装置の機能を受信するリモートコントロール信号を有効または無効にすることができます。
3. ロック機能の設定。
4. PCのシリアルポート設定を変更できます。既定値はCOM1です。
5. すべて選択またはクリアをクリックして、すべての表示を選択するかクリアします。
6. グリッドを使用して、選択された表示にある簡単な情報を見ます。
7. 表示の選択からディスプレイを一つ選択します。
8. コントロールツールを使用して、表示を調整します。

<注意> リモートコントロールの有効/無効機能は、電源がOnであるかOffであるかを操作します。これは、MDCに接続された表示にあるすべてに適用されます。但し、ステータスに関係なく、MDCがシャットダウンしている時は、すべての表示機能を受信するリモートコントロール信号が、MDCが閉じている時に有効となるように初期化されています。

ポートの設定

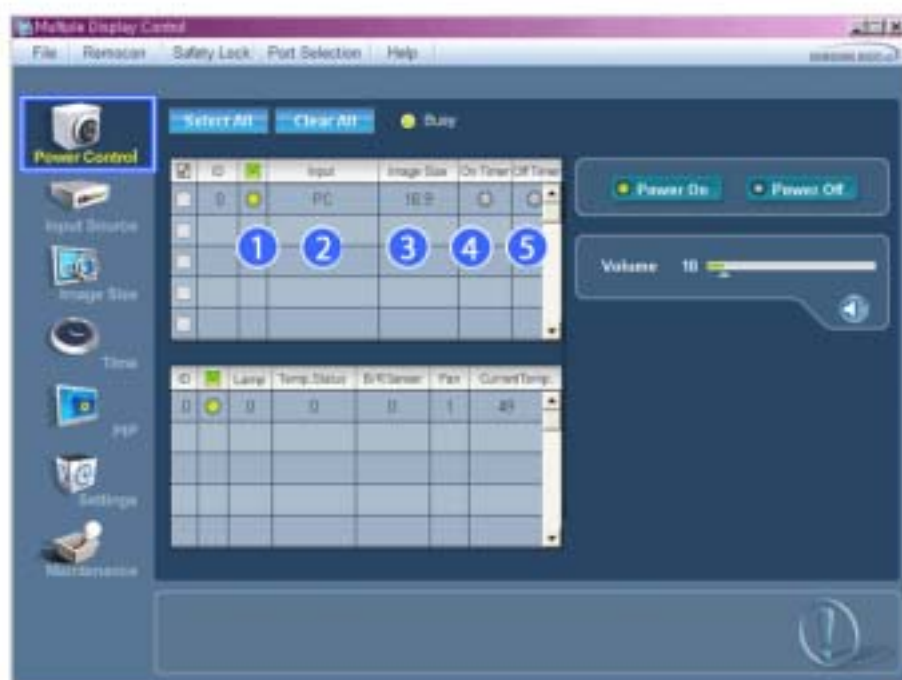


1. マルチプルディスプレイコントロールはデフォルトでCOM1に設定されています。
2. COM1以外のポートが使用されている場合、ポート選択メニューでCOM1からCOM4が設定可能です。
3. シリアルケーブルを使用してモニターに接続されている正確なポート名が選択されていない場合、通信できません。
4. 選択したポートがプログラムに保存され、次のプログラムでも使用されます。



電源の調節

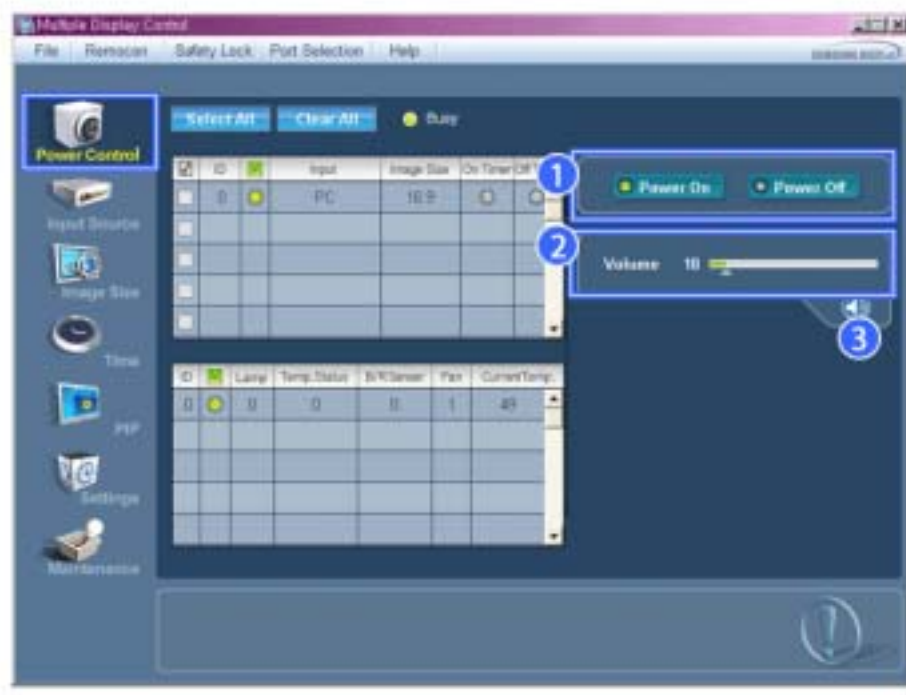
1. メインアイコンの電源の調節をクリックすると、電源の調節画面が表示されます。



★ Info Gridが、電源の調節に必要な基本情報を表示します。

- 1) 電源のステータス
- 2) 入力ソース
- 3) イメージのサイズ
- 4) オンタイマステータス
- 5) オフタイマステータス

2. すべてのボタンを選択するまたはチェックボックスを使用して、調節用の表示を選択します。



★ 電源調節により、選択された表示のある機能を調節することができます。

1) Power (電源) On/Off

- 選択された表示の電源をOn/Offに切り替えます。

2) ボリュームの調節 (サウンドモデルのみ)

- 選択された表示のボリュームレベルを調節します。選択された表示のボリュームレベルをセットから受信して、スライダに表示します。(選択をキャンセルする、または、すべて選択を選択すると、その値は、デフォルト値 10) に戻ります。)

3) Mute (ミュート) のOn/Off (サウンドモデルのみ)

- 選択された表示のミュートをOn/Offに切り替えます。選択されたセットが、すでにMUTEに設定されているならば、あるとき一つのセットを選択する場合に、MUTEディスプレイに印をつける必要があります。(選択を取り消す、または、すべて選択を選択すると、その値は、デフォルト値に戻ります。)

★ 電源の調節は、すべての表示に適応されます。

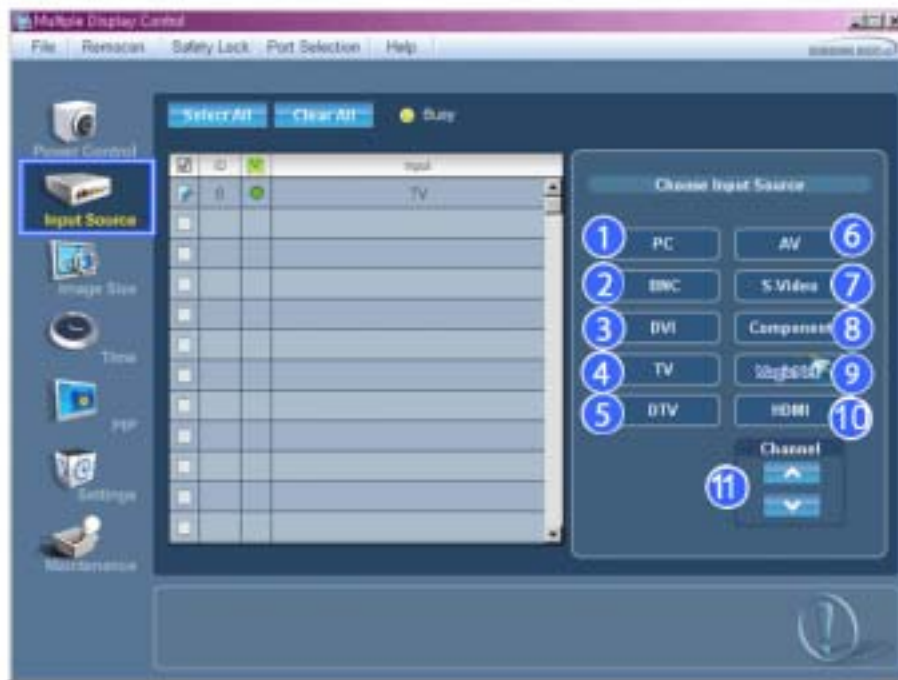
★ Volume機能とMute機能は、電源ステータスがONの表示にだけ有効となります。



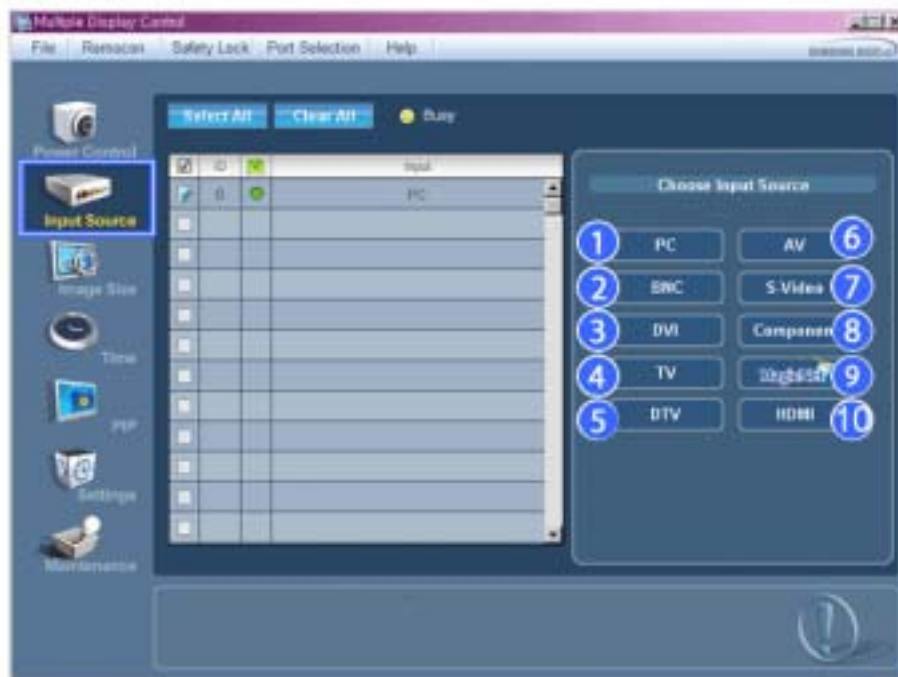
入力ソースの調節

1. メインアイコンの入力ソースをクリックすると、入力ソース調節画面が表示されます。
すべて選択をクリックするまたはチェックボックスを使用して、調節用の表示を選択します。

• TV モード



• PC モード



★ Info Gridが、入力ソースの調節に必要な基本情報を表示します。

- 1) PC
- 選択された表示の入力ソースをPCに切り替えます。
- 2) BNC
- 選択された表示の入力ソースをBNCに切り替えます。
- 3) DVI
- 選択された表示の入力ソースをDVIに切り替えます。
- 4) TV

- 選択された表示の入力ソースをTVに切り替えます。
 - 5) DTV
 - 選択された表示の入力ソースをDTVに切り替えます。
 - 6) AV
 - 選択された表示の入力ソースをAVに切り替えます。
 - 7) S-Video
 - 選択された表示の入力ソースをS-Videoに切り替えます。
 - 8) コンポーネント
 - 選択された表示の入力ソースをコンポーネントに切り替えます。
 - 9) MagicNet
 - MagicNet の入力ソースは、MagicNet モデルでのみ有効です。
 - 10) HDMI
 - 選択された表示の入力ソースをHDMIに切り替えます。
 - 11) Channel
 - Input Source（入力信号）がTVのとき、チャンネルの矢印が表示されます。
- ★ TV信号はTV機能のある製品でのみ選択でき、チャンネルの制御は入力信号がTVのときにのみ行えます。
- ★ 入力ソースの調節は、電源ステータスがONの表示にだけ有効となります。



イメージサイズの調節

PC, BNC, DVI

1. メインアイコンのイメージサイズをクリックすると、イメージサイズ調節画面が表示されます。



★ Info Gridが、イメージサイズの調節に必要な基本情報を表示します。

- 1)  Power(電源)
 - 現在の表示の電源ステータスを調節します。
- 2) Image Size(イメージのサイズ)
 - 使用している表示の現在のイメージサイズを示します。
- 3) Input Source(入力ソース)
 - 使用している表示の現在の入力ソースを示します。
- 4) Info Gridは、入力ソースがPC、BNC、DVIの表示だけを示します。
- 5) イメージサイズをクリックすると、PC、BNC、DVIタブが最初に表示されます。

- イメージサイズ調節ボタンは、PC、BNC、DVIに有効なイメージサイズを調節します。

6) AV、S-Videoとコンポーネントタブをクリックして、それぞれの入力ソースのイメージサイズを調節します。

★ イメージサイズの調節は、電源ステータスがONの表示にだけ有効となります。

★ MagicNet の入力ソースは、MagicNet モデルでのみ有効です。

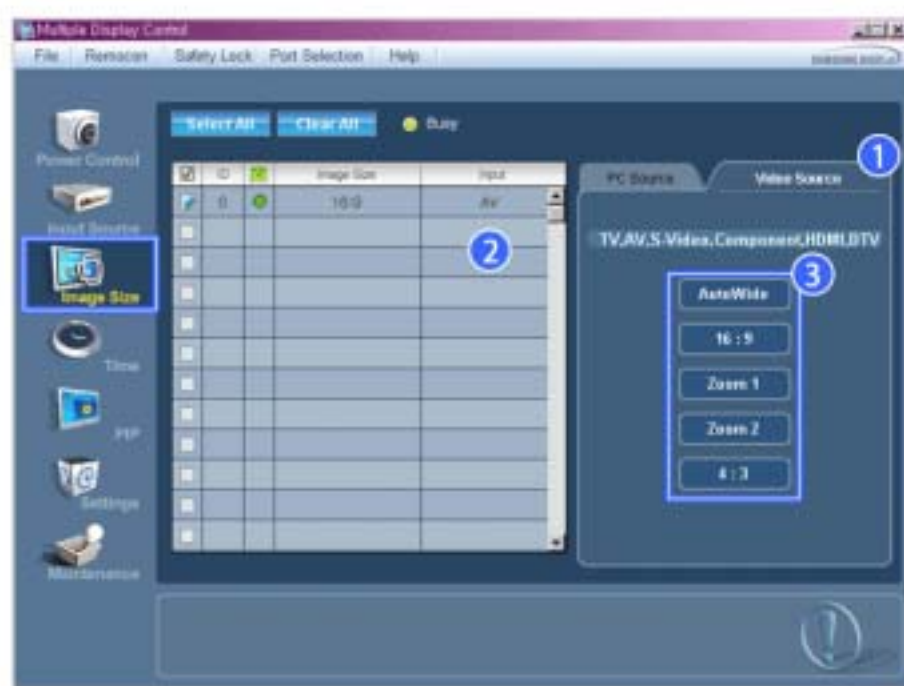
★ TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。



イメージサイズの調節

TV, AV, S-Video, コンポーネント, HDMI, DTV

1. メインアイコンのイメージサイズをクリックすると、イメージサイズ調節画面が表示されます。



★ Info Gridが、時間の調節に必要な基本情報を表示します。

1) TV, AV、S-Video、コンポーネント、HDMI、DTVとコンポーネントタブをクリックして、それぞれのイメージサイズを調節します。

すべて選択をクリックするまたはチェックボックスを使用して、調節用の表示を選択します。

2) Info Gridは、入力ソースがTV、AV、S-Video、コンポーネント、HDMI、DTVを入力ソースとして持っている表示だけを示します。

3) 選択された表示のイメージサイズをランダムに切り替えます。

<注意> Auto Wide（オートワイド）、Zoom1（ズーム1）およびZoom2（ズーム2）は、コンポーネントとDVI（HDCP）の入力信号タイプが720pまたは1080iのときにのみ選択できます。

★ MagicNet の入力ソースは、MagicNet モデルでのみ有効です。

★ TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。

★ イメージサイズの調節は、電源ステータスがONの表示にだけ有効となります。



時間の調節

1. メインアイコンの時間をクリックすると、時間の調節画面が表示されます。



★ Info Gridが、イメージサイズの調節に必要な基本情報を表示します。

- 1) 現在の時間
 - 選択された表示のために現在の時間を設定します。(PC Time)
 - 現在の時間を変更するには、最初にPCの時間を変更します。
- 2) オンタイムセットアップ
 - 時間、分、オンタイムのAM/PM、ステータス、ソース、選択された表示のボリュームを設定します。
- 3) オフタイムセットアップ
 - 時間、分、AM/PM、選択された表示のオフタイマーのステータスを設定します。
- 4) オンタイマー設定の表示。
- 5) オフタイマー設定の表示。

★ **MagicNet** の入力ソースは、**MagicNet** モデルでのみ有効です。

★ **TV** の入力ソースは、**TV** モデルでのみ有効です。

★ タイムコントロールは、電源ステータスが**ON**の表示にだけ有効となります。

★ **On Time Setup** (オン時間設定)、**TV Source** (TV信号) 機能は**TV**モデルのみで使用できます。

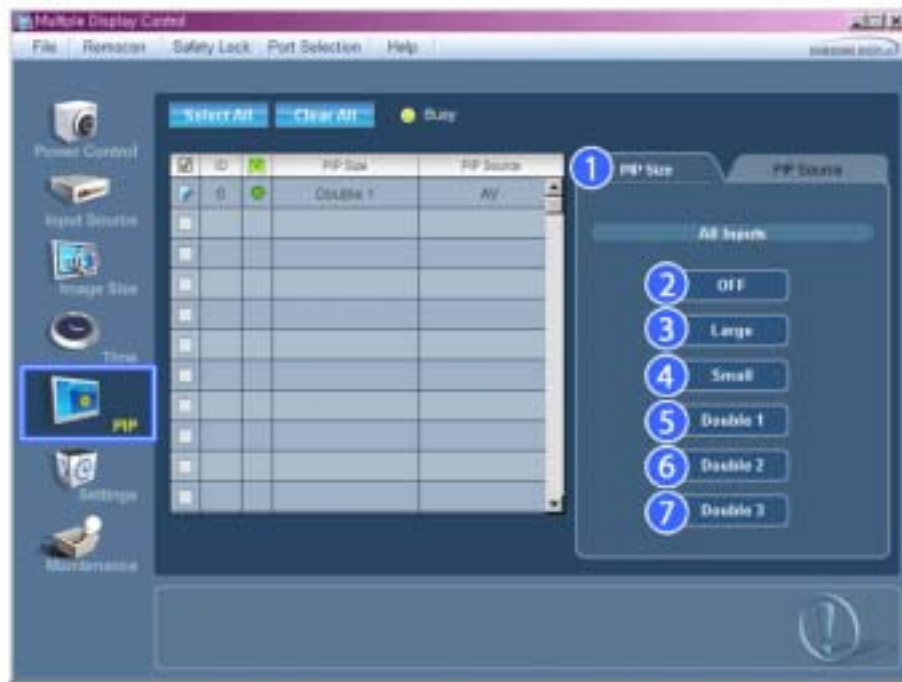
★ **On Time Setup** (オン時間設定)、**MagicNet Source** (MagicNet信号) 機能は**MagicNet**モデルのみで使用できます。



PIP

PIP サイズ

1. メインアイコンのPIPをクリックすると、PIPの調節画面が表示されます。
すべて選択をクリックするまたはチェックボックスを使用して、調節用の表示を選択します。



★ Info Gridが、PIPサイズの調節に必要な基本情報を表示します。

1) PIP Size(PIP サイズ)

- 使用している表示の現在のPIPサイズを示します。

2) OFF

- 選択された表示のPIPをOffにします。

3) Large

- 選択された表示のPIPをOnにして、サイズをLargeに変更します。

4) Small

- 選択された表示のPIPをOnにして、サイズをSmallに変更します。

5) Double1

- 選択された表示のPIPをOnにして、サイズを Double 1変更します。

6) Double2

- 選択された表示のPIPをOnにして、サイズを Double 2変更します。

7) Double3 (Picture By Picture)

- 選択された表示のPIPをOnにして、サイズを Double 3変更します。

★ 選択された表示の電源をOn/Offに切り替えます。

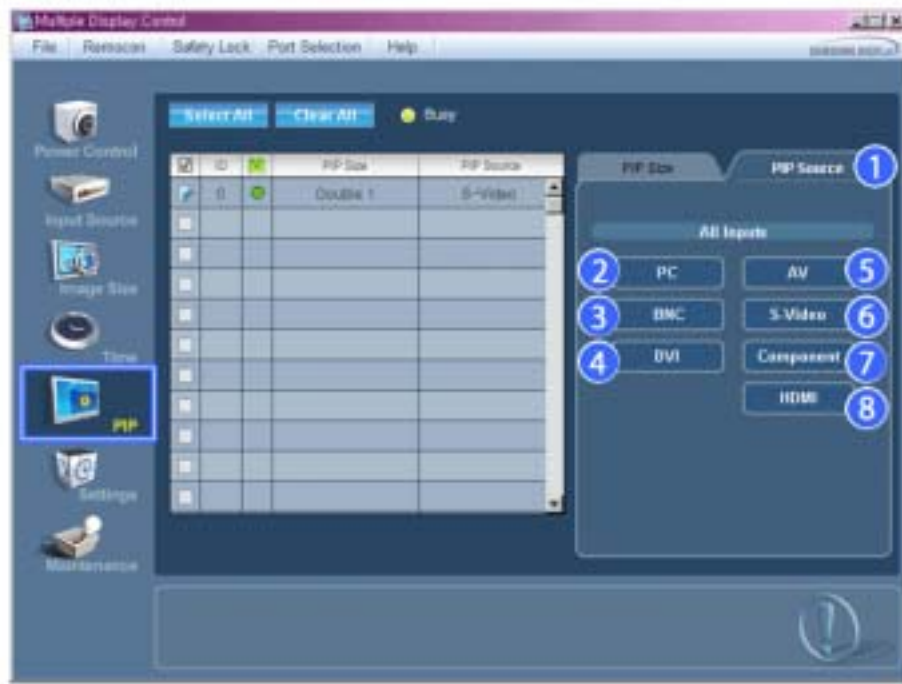
★ MagicNet の入力ソースは、MagicNet モデルでのみ有効です。

★ TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。



PIP ソース

1. メインアイコンのPIPをクリックすると、PIPの調節画面が表示されます。



★ Info Gridが、PIPソースの調節に必要な基本情報を表示します。

1) PIP Source

- PIP サイズは、モニターの電源をOnにして調節することができます。

2) PC

- 選択された表示のPIPソースをPCに切り替えます。

3) BNC

- 選択された表示のPIPソースをBNCに切り替えます。

4) DVI

- 選択された表示のPIPソースをDVIに切り替えます。

5) AV

- 選択された表示のPIPソースをAVに切り替えます。

6) S-Video

- 選択された表示のPIPソースをS-Videoに切り替えます。

7) コンポーネント

- 選択された表示のPIPソースをコンポーネントに切り替えます。

8) HDMI

- 選択された表示のPIPソースをHDMIに切り替えます。

<注意> 主画面の外部入力信号タイプによって、同時画面外部入力が選択できないことがあります。

★ 同時画面コントロール機能は、電源ステータスおよび同時画面機能がオンのディスプレイで利用可能です。

★ MagicNet の入力ソースは、MagicNet モデルでのみ有効です。



設定の調整

ピクチャー

1. メインアイコンの時間をクリックすると、設定の調整画面が表示されます。



★ Info Gridが、時間の調整に必要な基本情報を表示します。選択された表示のボリュームレベルをセットから受信して、スライダに表示します。

すべて選択が選択されると、デフォルト値 (50) が返されます。

この画面で値を変更すると、モードを自動的に"ユーザー設定"に変更します。

1) Picture(ピクチャー)

- AV, S-Video, コンポーネント, HDMI, DVIにのみ有効となります。

2) Contrast(コントラスト)

- 選択された表示のコントラストを調整します。

3) Brightness(明るさ)

- 選択された表示の明るさを調整します。

4) Sharpness(鮮明さ)

- 選択された表示の鮮明さを調整します。

5) Color(色)

- 選択された表示の色を調整します。

6) Tint(濃淡)

- 選択された表示の濃淡を調整します。

7) Color Tone(色温度)

- 選択したディスプレイの色温度を調整します。

8) Color Temp

- 選択されたディスプレイのColor Tempを調整します。

★ 色温度 がオフに設定されている場合にのみ有効になります。

9) Brightness Sensor

- 選択されたディスプレイのBrightness Sensorを調整します。

10) Dynamic Contrast

- 選択されたディスプレイのDynamic Contrastを調整します。

★ この機能は電源ステータスがオンのディスプレイのみ使用可能です。また、何も選択されていない場合、工場出荷時のデフォルト値が表示されます。

★ MagicNet の入力ソースは、MagicNet モデルでのみ有効です。

★ TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。



設定の調整

ピクチャーPC

1. メインアイコンの時間をクリックすると、時間の調整画面が表示されます。



★ Info Gridが、時間の調整に必要な基本情報を表示します。選択された表示のボリュームレベルをセットから受信して、スライダに表示します。

すべて選択が選択されると、デフォルト値 (50) が返されます。

この画面で値を変更すると、モードを自動的に“ユーザー設定”に変更します。

1) ピクチャーPC

- PC, BNC, DVIにのみ有効となります。

2) Contrast(コントラスト)

- 選択された表示のコントラストを調整します。

3) Brightness(明るさ)

- 選択された表示の明るさを調整します。

4) Red

- 選択された表示の色の温度を調節します。(Red)

5) Green

- 選択された表示の色の温度を調節します。(Green)

6) Blue

- 選択された表示の色の温度を調節します。(Blue)

7) Color Tone

- 選択されたディスプレイのColor Toneを調整します。

8) Color Temp

- 選択されたディスプレイのColor Tempを調整します。

★ 色温度 がオフに設定されている場合にのみ有効になります。

9) Brightness Sensor

- 選択されたディスプレイのBrightness Sensorを調整します。

★ この機能は電源ステータスがオンのディスプレイのみ使用可能です。また、何も選択されていない場合、工場出荷時のデフォルト値が表示されます。

★ MagicNet の入力ソースは、MagicNet モデルでのみ有効です。

★ TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。



設定の調整

オーディオ (Audio)

1. メインアイコンの時間をクリックすると、時間の調整画面が表示されます。



★ Info Gridが、設定の調整に必要な基本情報を表示します。各機能は選択されると、選択された機能の設定値がスライダに表示されます。すべて選択が選択されると、デフォルト値 (50) が返されます。
この画面で値を変更すると、モードを自動的に“ユーザー設定”に変更します。

- 1) Audio(オーディオ)
 - すべての入力ソースのために、オーディオ設定をコントロールします。
- 2) Bass(低音)
 - 選択された表示の低音を調整します。
- 3) Treble(高音)
 - 選択された表示の高音を調整します。
- 4) Balance(バランス)
 - 選択された表示のバランスを調整します。
- 5) SRS TS XT
 - 選択された表示のSRS TS XTサウンドのOn/Off。
- 6) 音の選択
 - PIP がオンの場合、メインまたはサブのどちらかを選択することができます。

★ この機能は電源ステータスがオンのディスプレイのみ使用可能です。また、何も選択されていない場合、工場出荷時のデフォルト値が表示されます。

★ MagicNet の入力ソースは、MagicNet モデルでのみ有効です。

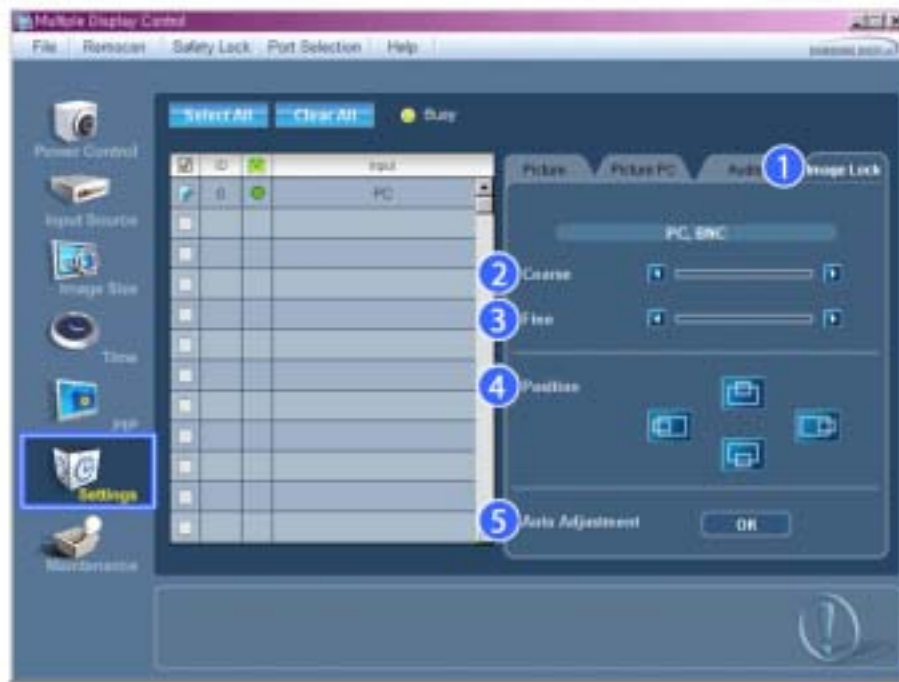
★ TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。



設定の調整

イメージロック

1. メインアイコンの時間をクリックすると、時間の調整画面が表示されます。



✳ Info Gridが、時間の調整に必要な基本情報を表示します。

- 1) イメージロック
 - PC, BNCにのみ有効。
- 2) Coarse(粗調整)
 - 選択された表示の粗調整を調整します。
- 3) Fine(微調整)
 - 選択された表示の微調整を調整します。
- 4) Position(場所)
 - 選択された表示の場所を調整します。
- 5) Auto Adjustment(Auto (オート)調整)
 - 入ってくるPC信号に対して自動調整する。

✳ 設定の調整は、電源ステータスがONの表示にだけ有効となります。

✳ MagicNetの入力ソースは、MagicNetモデルでのみ有効です。

✳ TVの入力ソースは、TVモデルでのみ有効です。



メンテナンス

ランプコントロール

1. メインアイコン欄の“メンテナンス”アイコンをクリックしてメンテナンス画面を表示します。



★ 数種の基本データ項目を示す“インフォグリッド”が表示されます。

1) Maintenance(メンテナンス)

- すべての外部入力に対してメンテナンスコントロール機能を許可します。

2) Auto Lamp Control(自動ランプコントロール)

- 選択したディスプレイのバックライトを一定時間自動的に調整します。
- 手動ランプコントロール機能を利用して調整した場合、自動ランプコントロール機能は自動的にオフになります。

3) Manual Lamp Control(手動ランプコントロール)

- 選択したディスプレイのバックライトを、時間に関わらず調整できるようにします。手動ランプコントロール機能を利用して調整した場合、自動ランプコントロール機能は自動的にオフになります。

★ メンテナンスコントロール機能は、電源ステータスがオンのディスプレイで利用可能です。

★ MagicNet の入力ソースは、MagicNet モデルでのみ有効です。

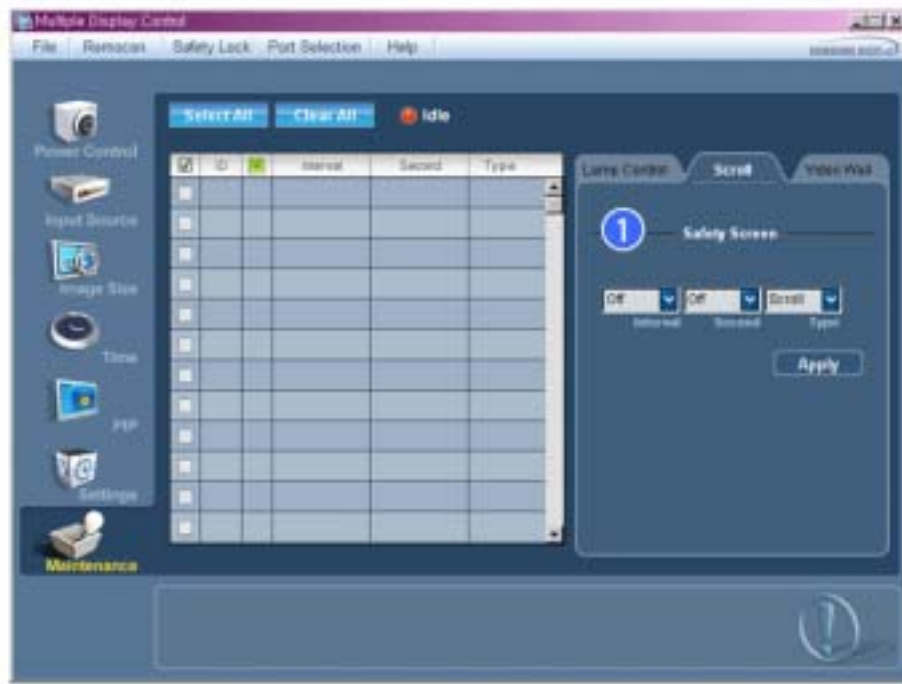
★ TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。



メンテナンス

Scroll

1. メインアイコン欄の“メンテナンス”アイコンをクリックしてメンテナンス画面を表示します。



1) Screen Scroll

- 選択したディスプレイが長時間ポーズモードだった場合に発生することがある残像を除去します。“Interval”を時間単位、“Second”を秒単位で選択してリピートタイマーを設定できます。

Screen Type (画面タイプ) ごとにScroll (スクロール)、Pixel (ピクセル)、Bar (バー) およびEraser (消去) が設定できます。

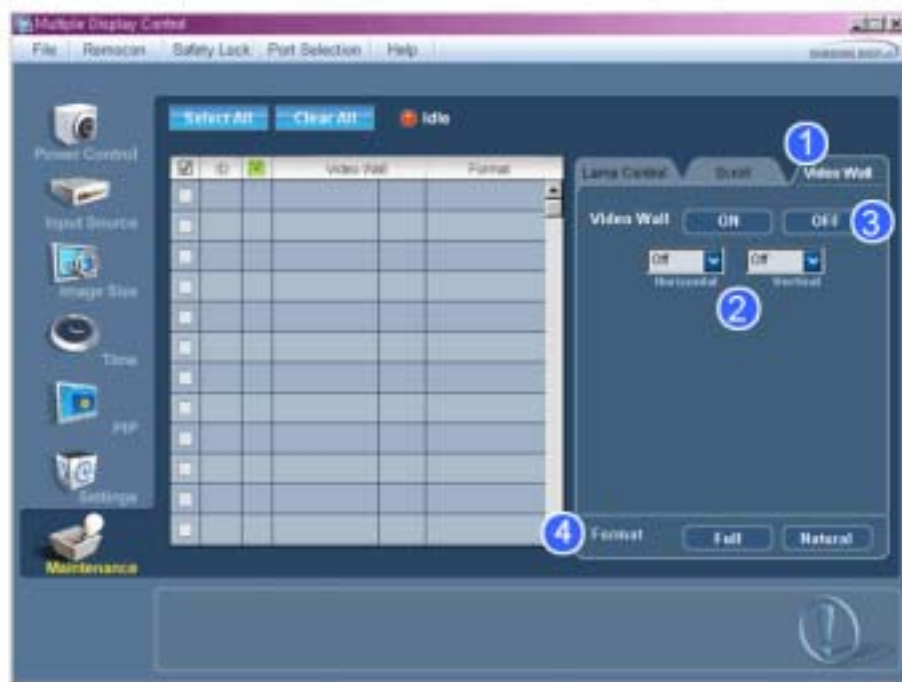
- ★ メンテナンスコントロール機能は、電源ステータスがオンのディスプレイで利用可能です。
- ★ MagicNet の入力ソースは、MagicNet モデルでのみ有効です。
- ★ TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。
- ★ それぞれ秒単位で、スクロールタイプでは1、2、3、4、5、ピクセル、バー、消去タイプについては10、20、30、40、50を設定できます。



メンテナンス

Video Wall

1. メインアイコン欄の“メンテナンス”アイコンをクリックしてメンテナンス画面を表示します。



1) Video Wall

- ビデオウォールは、各スクリーンが画面全体の一部になるように表示したり、同じ画像を各スクリーンに繰り返し表示できるように接続されたビデオスクリーンのセットです。

2) Screen Divider

- スクリーンは分割できます。
- 多数のスクリーンを異なるレイアウトや分割方法にすることができます。
 - [Screen divider]からモードを選択します。
 - [Display Selection]からディスプレイを選択します。
 - 選択したモードの数字をオスと、配置が設定されます。
 - Samsung が提供する MDC プログラムは、5x5 までの LCD ディスプレイをサポートします。

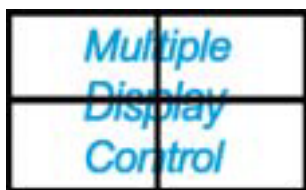
3) On / Off

- 選択したディスプレイのビデオウォール機能のオン/オフを切り替えます。

4) Format

- 分割したスクリーンを表示するフォーマットを選択できます。

● Full



● Natural



★ メンテナンスコントロール機能は、電源ステータスがオンのディスプレイで利用可能です。

★ MagicNet の入力ソースは、MagicNet モデルでのみ有効です。

★ TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。

トラブルシューティング

1. コントロールしたい表示が、Power Control Info Gridに示されません。

- RS232Cの接続を確認してください。(Com1 ポートに正しく接続されているか確認します。)
- 他の表示の何れかが同じIDを持っているかどうか見るために表示を確認します。1つ以上の表示が同じIDを持つ

ている場合、データの衝突によりプログラムが、正しくそれらの表示を**検出**しません。

Display Set ID が0 から **25**の間にある**数字**かどうか確認します。(ディスプレイメニューを使用しながら調整します。)

<注意> Display Set ID は、0 から**25**の間にある**数字**でなければなりません。数字がその範囲以外にある場合は、MDC システムが表示をコントロールできません。

2. コントロールしたい表示が、他のControl Info Gridsに示されません。

- 電源コードがしっかりと接続されているか確認してください。(Power Control Info Gridの中でこれを確認します。)

- 表示の入力ソースを変更できるか確認してください。

3. ダイアログボックスが、繰り返し表示されます。

- 調節したい表示が、**選択**されているかどうか確認します。 

4. On Timer と Off Timerの両方が送られても異なる時間が表示されている。

- 現在の時間を調整して、表示時計を同期化します。

5. リモート機能をオフにして、RS-232Cケーブルの接続を切り、不定期にプログラムを終了すると、リモートは、正しく機能しないことがあります。プログラムを再起動し、通常の機能を元に戻すために、リモート機能を再び**実行**します。

<注意> このプログラムは、通信回路の問題、または電子機器からの障害が生じた場合、うまく機能しない場合があります。



マルチディスプレイモードにおける設定画面を表示する

✱ 接続している画面が一つ以上ある場合、設定値は、以下のように表示されます。

1. 選択なし:工場出荷時の値を表示する。
2. 選択された一つの表示: 選択された表示のために設定値を持ってきて表示する。
3. 選択された一つの画面 (ID1) と追加された他の画面 (ID3):ID 1の設定値を表示していたプログラムが、ID3の値を持ってきて表示します。
4. すべて選択を使用する選択済のすべてのセット: 工場出荷時の値に戻ります。



安全面での予防措置

はじめに

接続

ソフトウェアの使用

モニターの調整

入力

映像

[PC / BNC / DVI モード]

映像

[AV / S映像 / コンポーネント / HDMI モード]

音声

設定

マルチコントロール

直接機能

MagicNet

トラブルシューティング

仕様

情報

付録

SyncMaster

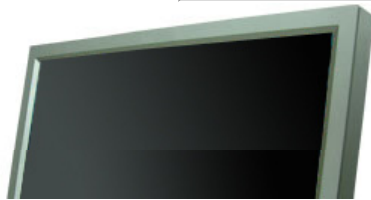
www.samsung.com

製品の色と外観はモデルによって異なり、製品の仕様は性能の向上のために予告無く変更される場合があります。

モニターの調整

モデル

SyncMaster 570DXn ▼



入力

利用可能なモード

P PC / BNC / DVI

A AV

S S映像

C コンポーネント

H HDMI

M MagicNet

外部入力 **PASCHM**



[MENU] → [ENTER] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER]

外部入力 モニターに接続されたPC、BNC、その他外部入力の選択に使用。
お好みの画面の選択に使用します。

- 1) PC
- 2) BNC
- 3) DVI
- 4) AV
- 5) S映像
- 6) コンポーネント
- 7) HDMI
- 8) MagicNet

☒ 注意

- モニターが外部ソースに切り替わると、同時画面はオフになります。
- PCおよびDVIの場合は、ケーブルが切り離されると無効になります。

同時画面 **PASCH**

VTRやDVDなどの外部A/V機器がモニターに接続されている場合、同時画面機能によってPC映像信号上にスーパーインポーズされた小さなウィンドウから、それら機器の映像を視聴できます。

☒ 注意

- BNCおよびコンポーネントが同じ端末を使用しているため、画面上に2つ以上のPIPを重ねて表示することはできません。
- **4:3の表示の時にはPIPをご使用になれません。**

1) 同時画面



[MENU] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER]

同時画面をオン・オフします。

- オフ
- オン

2) 外部入力



[MENU] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER]

同時画面の外部入力を選択します。

- PC : AV / S映像 / コンポーネント / HDMI モード
- BNC : AV / S映像 / HDMI モード

- DVI : AV / S映像 / コンポーネント モード
- AV / S映像 : PC / BNC / DVI モード
- コンポーネント : PC / DVI モード
- HDMI : PC / BNC モード

3) 主副切換



[MENU] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER]

同時画面の画像と主画面の画像を入れ替えます。

同時画面の画像がメイン画面に表示され、メイン画面の画像が同時画面に表示されます。

4) サイズ



[MENU] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER]

同時画面ウィンドウのサイズを変更します。

5) ポジション



[MENU] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER]

同時画面ウィンドウの位置を変更します。

6) 透明



[MENU] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER]

同時画面ウィンドウの透明度を調整します。

- 高
- 中
- 低
- 不透明

☒ 注意

- ・ サイズで  を選択した場合は、ポジションは有効になりません。

利用可能なモード : 同時画面

外部入力名編集 **PASCH**



[MENU] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER]

入力ジャックに接続されている入力機器に名称を付け、外部入力の選択をより簡単にします。

- 1) PC
- 2) BNC
- 3) DVI
- 4) AV
- 5) S映像
- 6) コンポーネント
- 7) HDMI

映像 [PC / BNC / DVIモード]

利用可能なモード

-  PC / BNC / DVI
-  AV
-  S映像
-  コンポーネント
-  HDMI
-  MagicNet

MagicBright™ **PM**



[MENU] → [△ / ▽] → [ENTER] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER]

MagicBright™ は、表示している画像の内容に合わせて最適な表示環境を提供するための新しい機能です。現在、4つのモード: エンターテイメント, インターネット, テキスト および ユーザー調整 が利用できます。各モードは、あらかじめ設定された輝度値を持っています。[MagicBright™]ボタンを押すだけで、4つの設定から1つを選択することができます。

- 1) エンターテイメント
DVD、オンラインゲームなどの動画の再生に最適な明るさ。
- 2) インターネット
文字と画像が混在した画像を扱う時に最適な明るさ。
- 3) テキスト

文書作成など、文字に関わる作業に最適な明るさ。

4) ユーザー調整

お好みの明るさとコントラストに調整できます。

ユーザー調整 **PM**



[MENU] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [ENTER] → [△ / ▽] / [◀ / ▶] → [ENTER]

オンスクリーンメニューからお好みのコントラストと明るさに変更できます。

1) コントラスト

コントラストを調整します。

2) 明るさ

明るさを調整します。

☒ 注意

- ・ ユーザー調整機能を使用して映像を調整する場合、MagicBrightがユーザー調整モードになります。

色温度 **PM**



[MENU] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER]

色の階調を変更できます。

1) オフ

2) 青色系

3) 標準

4) 赤色系

5) ユーザー調整

(PC/BNCモードでのみ使用可)

☒ 注意

- ・ 色温度を青色系、標準、赤色系、またはユーザー調整に設定した場合、色温機能は無効になります。
- ・ 色温度をオフに設定している場合、カラー調整機能が無効になります。

カラー調整 **PM**



[MENU] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [ENTER] → [◀ / ▶] → [ENTER]

赤、緑、青の色を個別に調整します。

(PC/BNCモードでのみ使用可)

1) 赤

2) 緑

3) 青

☒ 注意

- ・ 色調機能を使用して映像を調整する場合、色温度がユーザー調整モードになります。

色温 **PM**



[MENU] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [◀ / ▶] → [ENTER]

色温 はモニターの「暖かさ」の意味です。

(色温度 がオフに設定されている場合にのみ有効になります。)

明るさセンサー **PM**



[MENU] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [◀ / ▶] → [ENTER]

輝度センサーは、自動的に周囲の光を検知して、最適な輝度になるように調整を行います。

1) オフ

2) オン

画面調整

微調整時にはイメージロックが働き、ノイズを除去して画像のちらつきやゆらぎを抑えることで最適な画質を実現します。満足のいく画質が得られない場合はまず微調整を行い、粗調整を行った後に再び微調整を行ってください。

(PC/BNCモードでのみ使用可)

1) 粗調整



[MENU] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [ENTER] → [＜ / ＞] → [ENTER]

縦縞などのノイズを除去します。粗調整では、画面イメージ領域が移動する場合があります。[Horizontal Control]メニューを使用して、中央に位置合わせできます。

2) 微調整



[MENU] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [＜ / ＞] → [ENTER]

横縞などのノイズを除去します。微調整後もノイズが残る場合は、周波数(クロックスピード)調整後に再度調整します。

3) ポジション



[MENU] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [＜ / ＞] / [△ / ▽] → [ENTER]

画面位置を水平および垂直に調整します。

自動調整



[MENU] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER]

微調整、粗調整、ポジションの値が自動的に調整されます。

コントロールパネルで解像度を変更した場合、自動調整機能が実行されます。

(PC/BNCモードでのみ使用可)

信号バランス

信号ケーブルが長いため弱くなっている RGB 信号を補強します。

(PC/BNCモードでのみ使用可)

1) 信号バランス



[MENU] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER]

信号ケーブルが長いため弱くなっている RGB 信号を補強します。

2) 信号制御



[MENU] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [＜ / ＞] → [ENTER]

R位相、G位相、B位相、増幅およびシャープネスを手動で調整することができます。

サイズ



[MENU] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER]

サイズを切り替えられます。

1) 16:9

2) 4:3

PIP 映像



[MENU] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [＜ / ＞] → [ENTER]

同時画面設定を調整できます

1) コントラスト

同時画面ウィンドウのコントラストを調整します。

2) 明るさ

同時画面ウィンドウの明るさを調整します。

- 3) **シャープネス**
同時画面ウィンドウの明暗差の調整に使用します
- 4) **色の濃さ**
同時画面ウィンドウの色の濃さを調整します。
- 5) **色あい**
同時画面ウィンドウの色あいを調整します。
- AV, S-映像からの映像を、PC, BNCおよびDVI(PC)モードの同時画面で表示することができます。ビデオ信号がNTSCの場合にのみ動作。**

利用可能なモード：同時画面

映像 [AV / S映像 / コンポーネント/ HDMI モード]

利用可能なモード

-  PC / BNC / DVI
-  AV
-  S映像
-  コンポーネント
-  HDMI
-  MagicNet

モード



[MENU] → [^ / v] → [ENTER] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER]

モニターには工場出荷時にプリセットされた4つの自動映像設定(“ダイナミック”、“標準”、“映画”、“ユーザー調整”)があります。

ダイナミック、標準、映画、ユーザー調整のうち一つを有効にできます。

- 1) **ダイナミック**
- 2) **標準**
- 3) **映画**
- 4) **ユーザー調整**

ユーザー調整



[MENU] → [^ / v] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER] → [< / >] → [ENTER]

オンスクリーンメニューからお好みのコントラストと明るさに変更できます。

- 1) **コントラスト**
コントラストを調整します。
 - 2) **明るさ**
明るさを調整します。
 - 3) **シャープネス**
画像のシャープネスを調整します。
 - 4) **色の濃さ**
画像の色の濃さを調整します。
 - 5) **色あい**
ナチュラルトーンを標示に追加します。
- AVおよびS映像モードでのみ動作します。ビデオ信号がNTSCの場合にのみ動作。**

色温度



[MENU] → [^ / v] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER]

色の階調を変更できます。コンポーネントの個別色もユーザー調整可能です。

- 2) **オフ**
- 2) **青色系2**
- 3) **青色系1**
- 4) **標準**
- 5) **赤色系1**
- 6) **赤色系2**

☒ 注意

- ・ 色温度を青色系、標準、赤色系、またはユーザー調整に設定した場合、色温機能は無効になります。

色温 **ASCH**



[MENU] → [^ / v] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER] → [< / >] → [ENTER]

色温 はモニターの「暖かさ」の意味です。

色温度 がオフに設定されている場合にのみ有効になります。)

サイズ **ASCH**



[MENU] → [^ / v] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER]

サイズを切り替えられます。

- 1) 16:9
- 2) ズーム 1
- 3) ズーム 2
- 4) 4:3

[ズーム 1、ズーム 2は、コンポーネントおよびHDMIの1080i(または720p超)では使用できません。]

明るさセンサー **ASCH**



[MENU] → [^ / v] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER] → [< / >] → [ENTER]

輝度センサーは、自動的に周囲の光を検知して、最適な輝度になるように調整を行います。

- 1) オフ
- 2) オン

ダイナミックコントラスト **ASCH**



[MENU] → [^ / v] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER]

ダイナミックコントラストは、入力される映像信号を自動的に検出し、最適なコントラストとなるように調整を行います。

- 1) オフ
- 2) オン

デジタルNR (デジタルノイズリダクション) **ASCH**



[MENU] → [^ / v] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER]

ノイズ除去機能をオフ / オン できます。

デジタルノイズ除去機能は、よりクリアで生き生きとした画像を実現します。

- 1) オフ
- 2) オン

フィルムモード **ASC**



[MENU] → [^ / v] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER]

フィルムモードをオフ / オン できます。

フィルムモード機能では、映画館レベルの視聴クオリティを提供します。

(HDMIモードでは使用不可)

- 1) オフ
- 2) オン

PIP 映像 **ASCH**



[MENU] → [^ / v] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER] → [< / >] → [ENTER]

同時画面設定を調整できます

- 1) **コントラスト**
同時画面ウィンドウのコントラストを調整します。
- 2) **明るさ**
同時画面ウィンドウの明るさを調整します。

利用可能なモード：同時画面

音声

利用可能なモード

-  PC / BNC / DVI
-  AV
-  S映像
-  コンポーネント
-  HDMI
-  MagicNet

モード



[MENU] → [^ / ∨] → [ENTER] → [ENTER] → [^ / ∨] → [ENTER]

モニターはハイファイステレオアンプを内蔵しています。

- 1) **標準**
工場出荷時の設定に戻すには標準を選択します。
- 2) **音楽**
ミュージックビデオやコンサートを視聴する場合は、音楽を選択します。
- 3) **映画**
映画を視聴する場合は、映画を選択します。
- 4) **ニュース**
大部分が会話で構成される番組(ニュースなど)を視聴する場合は、ニュースを選択します。
- 5) **ユーザー調整**
お好みで設定を調整したい場合は、ユーザー調整を選択します。

ユーザー調整



[MENU] → [^ / ∨] → [ENTER] → [^ / ∨] → [ENTER] → [^ / ∨] → [ENTER] → [< / >] → [ENTER]

音声設定はお好みに合わせて調整できます。

- 1) **低音**
低音を強調します。
- 2) **高音**
高音を強調します。
- 3) **バランス**
左右のスピーカーの音声バランス調整ができます。

[ヘッドフォン接続時、左右スピーカーの音声バランスを「0」に調整した場合でも、無音にはなりません。ご了承ください。]

☒ 注意

- ・ ユーザー調整を使用して音声を調整する場合には、モードがユーザー調整 になります。

自動音量



[MENU] → [^ / ∨] → [ENTER] → [^ / ∨] → [ENTER] → [^ / ∨] → [ENTER]

放送局との音量の差を低減します。

- 1) オフ
- 2) オン

SRS TS XT



[MENU] → [^ / ∨] → [ENTER] → [^ / ∨] → [ENTER] → [^ / ∨] → [ENTER]

SRS TS XTは、2台のスピーカーで5.1チャンネルのコンテンツを再生するときの問題を解決する特許取得済みのSRS技

術です。TruSurroundは、テレビの内蔵スピーカーなどのスピーカー2台で構成される再生システムで、素晴らしい仮想サラウンド音声環境を実現します。
すべてのマルチチャンネルフォーマットと完全な互換性があります。

- 1) オフ
- 2) オン

音声選択 **PASCH**



[MENU] → [^ / ∨] → [ENTER] → [^ / ∨] → [ENTER] → [^ / ∨] → [ENTER]

同時画面がオンの場合、主画面か副画面を選択できます。

- 1) 主画面
- 2) 副画面

[利用可能なモード: 同時画面]

設定

利用可能なモード

- P** PC / BNC / DVI
- A** AV
- S** S映像
- C** コンポーネント
- H** HDMI
- M** MagicNet

言語 **PASCHM**



[MENU] → [^ / ∨] → [ENTER] → [ENTER] → [^ / ∨] → [ENTER]

11の言語のいずれかを選択できます。

☒ 注意

- 言語の選択は、OSDの言語にのみ反映されます。
コンピュータ上で実行されるソフトウェアには影響しません。
- English, Deutsch, Español, Français, Italiano, Svenska, 日本語, 中国語, Русский, 한국어, Português

時刻 **PASCHM**

時刻設定、スリープ タイマー、オンタイマー、オフタイマーの 4 つのうち、いずれかのタイマー設定を選択します。

1) 時刻設定



[MENU] → [^ / ∨] → [ENTER] → [^ / ∨] → [ENTER] → [ENTER] → [< / >] → [ENTER]

現在の時刻を設定します。

2) スリープ タイマー



[MENU] → [^ / ∨] → [ENTER] → [^ / ∨] → [ENTER] → [^ / ∨] → [ENTER] → [< / >] → [^ / ∨] → [ENTER] → [< / >] → [^ / ∨] → [ENTER]

指定した分数が過ぎるとモニターが自動的にオフになるよう設定します。

(オフ, 30, 60, 90, 120, 150, 180)

3) オンタイマー



[MENU] → [^ / ∨] → [ENTER] → [^ / ∨] → [ENTER] → [^ / ∨] → [ENTER] → [< / >] → [^ / ∨] → [ENTER]

あらかじめ設定した時刻にモニターが自動的にオンになるよう設定します。

モニターが自動的にオンになる際のモード、音量レベルを調整します。

4) オフタイマー



[MENU] → [^ / ∨] → [ENTER] → [^ / ∨] → [ENTER] → [^ / ∨] → [ENTER] → [< / >] → [^ / ∨] → [ENTER]

あらかじめ設定した時刻に、指定した音量レベルおよびモードでモニターが自動的にオフになるよう設定します。

☒ 注意

- 時刻設定を行わずにオンタイマー、オフタイマーでオンを選択すると、「先に時刻を設定してください」と表示されます。

メニューの背景透明度 **PASCHM**



[MENU] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER]

OSD背景の透明度を変更します。

- 1) 高
- 2) 中
- 3) 低
- 4) 不透明

安全ロックPIN **PASCHM**



[MENU] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [0~9] → [0~9] → [0~9]

パスワードを変更できます。

省電力 **PASCHM**



[MENU] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [MENU]

この機能は、省エネのためにユニットの電力消費の調整を行います。

- 1) オン
- 2) オフ

☒ 注意

- ・ スタンバイ時の消費電力を減らすには、省電力をオンに設定します。ただし、省電力がオンになっているときには、MDGのリモートPower On 機能およびMagicNetのWOL (Wake On LAN)機能は使用できません。

HDMI 黒しレベル **H**



[MENU] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [MENU]

DVDまたはセットトップボックスがHDMIを経由してテレビに接続されている場合、接続している外部デバイスによっては、ブラックレベルの上昇、コントラストの低下、変色などの画質の低下の原因となることがあります。この場合には、HDMI black levelを設定してテレビの画質を調整してください。

- 1) 標準
- 2) 低

画像分割 **PASCH**

ビデオウォールは、各スクリーンが画面全体の一部になるように表示したり、同じ画像を各スクリーンに繰り返し表示できるように接続されたビデオスクリーンのセットです。

ビデオウォールがオンになっているときは、ビデオウォール画面設定を調整することができます。

- 1) 画像分割



[MENU] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER]

選択したディスプレイのビデオウォール機能のオン/オフを切り替えます。

- オフ
- オン

- 2) フォーマット



[MENU] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER]

分割したスクリーンを表示するフォーマットを選択できます。

- フルモード
余白なしに全画面表示を行います。
- ナチュラルモード
元の縦横比を保ったまま、自然な画像を表示します。

- 3) 水平



[MENU] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER]

水平方向に画面をいくつかの部分に分割するかを設定します。

- 画像分割は、1、2、3、4、および5 の5段階で調整を行います。

4) 垂直



[MENU] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER]

垂直方向に画面をいくつの部分に分割するかを設定します。

- 画像分割は、1、2、3、4、および5 の5段階で調整を行います。

5) 画面分割



[MENU] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER]

スクリーンは分割できます。

多数のスクリーンを異なるレイアウトや分割方法にすることができます。

- [画面分割]からモードを選択します。
- [表示選択]からディスプレイを選択します。
- 選択したモードの数字をオスと、配置が設定されます。

☒ 注意

- 画面分割の実行中は、同時画面、自動調整、画面調整およびサイズ機能は使用できません。
同時画面の実行中に画面分割を起動すると、同時画面オフになります。
画像分割は、MagicNetモードでは動作しません。

画面保護 **PASCHM**

ライト調整 機能は、静止画が画面上に長時間表示されたときに発生することのある残像を防止するのに使用します。

- ライト調整 機能は、一定の時間感覚で画面をスクロールします。
- この機能は、電源がオフになっているときには使用できません。

1) 画面保護



[MENU] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER]

ライト調整 機能をオンまたはオフにします。

- オフ
- オン

2) 間隔



[MENU] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER]

ライト調整 操作を実行する間隔を指定します。(1~10時間)

時間は、電源がオンになっている時間を元に計算されます。

既定値では、時間は5秒に設定されています。

- 1~10時間

3) 秒



[MENU] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER]

ライト調整 操作を実行する間隔を指定します。(1~5秒)

既定値では、時間は5秒に設定されています。

- タイプ-スクロール: 1~5 秒
- タイプ-ピクセル, パー, 消去: 10~50 秒

4) タイプ



[MENU] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER]

安全画面タイプを変更できます。

- スクロール
- ピクセル
- パー
- 消去

解像度の選択 **P**



[MENU] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER] → [△ / ▽] → [ENTER]

コンピュータのグラフィックカードの解像度を1024 x 768 @ 60Hz、1280 x 768 @ 60Hz、1360 x 768 @ 60Hzまたは1366 x 768 @ 60Hzに設定したときに画面が正常に表示されない場合は、この機能 (Resolution Select) を使用して指定した解像度で画面を表示することができます。

(PC/BNCモードでのみ使用可)

- 1) オフ
- 2) 1024 X 768
- 3) 1280 X 768
- 4) 1360 x 768
- 5) 1366 X 768

☒ 注意

- メニューの選択は、画面解像度が1024 x 768 @ 60Hz、1280 x 768 @ 60Hz、1360 x 768 @ 60Hzまたは1366 x 768 @ 60Hzに設定されているときにのみ可能です。

ライト調整



[MENU] → [^ / v] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER] → [ENTER] → [< / >] → [ENTER]

エネルギー消費を抑えるため、インバーターランプの調整に使用します。

☒ 注意

- この機能は、AV、S-Video、ComponentおよびDVI-VideoモードでダイナミックコントラストがOnになっているときには動作しません。

電源がオンになる時間



[MENU] → [^ / v] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER]

画面の電源がオンになる時間を調整します。

***注意: 過電圧を避けるために、電源がオンになる時間を長く設定します。**

ファン



[MENU] → [^ / v] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER]

ファンを調整します。

- 標準
- ピボット

☒ 注意

- モニターを回転するときは、ファンはピボットを選択します。

リセット

ピクチャパラメータが、工場出荷時のデフォルト値に変更されます。
DVIソースの場合、リセット機能はPC/DVIを使用しているときにのみ利用できます。

1) 画像リセット



[MENU] → [^ / v] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER] → [ENTER] → [< / >] → [ENTER]

(PC/BNCモードでのみ使用可)

2) カラー リセット



[MENU] → [^ / v] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER] → [^ / v] → [ENTER] → [< / >] → [ENTER]

☒ 注意

- リセット機能は、画像分割がオンのときには使用できません。

マルチコントロール

利用可能なモード

 PC / BNC / DVI

 AV

 S映像

 コンポーネント

 HDMI

 MagicNet

マルチコントロール

SET に個別の ID を割り当てます。

1) ID 設定



[MENU] → [∧ / ∨] → [ENTER] → [∧ / ∨] → [ENTER] → [ENTER] → [0~9]

SET に固有の ID を割り当てます。

2) ID 入力



[MENU] → [∧ / ∨] → [ENTER] → [∧ / ∨] → [ENTER] → [ENTER] → [0~9]

SET ごとに送信機の機能を選択します。送信機設定に対応する ID を持つ SET のみが有効になります。

直接機能

利用可能なモード

P PC / BNC / DVI

A AV

S S映像

C コンポーネント

H HDMI

M MagicNet

MAGICNET **PASCM**



MagicNet OSD 画面に移動します。

MDC **PASCHM**



マルチ コントロール OSD 画面に移動します。

LOCK **PASCHM**

ロックの設定を行うことができます。

1) ロック使用



ロックされます。

2) ロック解除



ロックが解除されます。

☒ 注意

- ロック機能を設定しているときには、リモコンと本体のpowerおよびLOCKボタンのみが使用できます。

モニターにプリセットされているパスワードは「0000」です。

☒ 注意

- ファンクションキーlockのパスワードのリセット。
MUTE → 1 → 8 → 6 → Onを押します。パスワードが「0000」にリセットされます。
パスワードをリセットするには、リモコンが必要です。

MagicNet

利用可能なモード

P PC / BNC / DVI

A AV

S S映像

C コンポーネント

H HDMI

M MagicNet

☒ 注意

- このモニターセット用のオペレーティングシステムは、英語のみをサポートしているため、その他の言語は正常に表示されません。
- MagicNet の場合は、リモコンを使用してこの操作を実行できます。ただし、独立した USB キーボードの使用をお勧めします。
- デバイスモードでの起動中に周辺機器を取り外すと、エラーが発生することがあります。電源がオフになっているときか、プレーヤーが正常に動作しているときにのみ周辺機器の取り外しを行うようにしてください。
- ネットワークに使用されている LAN ケーブル (例:ビデオ表示) を外さないでください。外した場合には、プログラム (MagicNet) が停止することがあります。ケーブルを外したら、システムを再起動してください。
- USB機器に使用されている LAN ケーブル (例:ビデオ表示) を外さないでください。外した場合には、プログラム (MagicNet) が停止することがあります。
- MagicNetのSOURCE (ソース) ボタンを押して、他の入力信号に切り替えます。
- モニターにプリセットされているパスワードは「000000」です。
- サーバープログラムのPower-Onオプションは、モニターの電源が完全にオフになっている場合にのみ機能します。モニターのシステムエラーの原因となる場合がありますので、モニターの終了中にPower-Onオプションを使用しないようにしてください。
- MagicNet の OSD 画面は、ネットワークとデバイスで同じです。
- MagicNet Server プログラムで MagicNet を使用している場合は、ネットワークモードで使用できます。
- モニタに直接接続されたデバイスで MagicNet を使用しているときは、デバイスモードで使用できます。

☒ 注意

- MagicNet画面に直接移動するには、ALT + F12を押します。
- WindowsでMagicNetを設定するには、キーボードとマウスが必要になります。
- WindowsでMagicNetを設定する方法については、MagicNet Serverのヘルプを参照してください。

Photo

JPEG,BMPファイルフォーマットがサポートされています。

1) Auto



画像をウィンドウに自動的に適合します。

Original

オリジナルファイルのプロパティをそのまま表示します

2) Slide Show



ライブラリに登録された画像ファイルを1つずつ表示します。

3) Interval



スライドショー画像ファイル間の切替え速度をコントロールします。

(5 Sec, 10 Sec, 20 Sec, 30 Sec, 60 Sec)

4) Rotation



画像ファイルを右方向に90°回転させて表示します。

5) Zoom



拡大画像を表示します。

6) Close



画像ファイル表示ウィンドウを閉じて終了します。

Music



MP3ファイルフォーマットがサポートされています。

Movie

MPEG1, WMVファイルフォーマットがサポートされています

1) Play



動画ファイルを再生します。

2) Full Size



動画ファイルを全画面で再生します。

OFFICE / HTML



PPT(Power Point), DOC(MS Word), XLS(MS Excel), PDF, HTML, HTM ファイルフォーマットがサポートされています

* 適切な閲覧(フリーウェア)プログラムをインストールして、MS Office(Word、Excel、Power Point)またはPDF文書を表示します。

Internet



インターネットに接続します。

Setup

MagicNetモードの各種機能を設定できます。

Setupモードにアクセスするには、パスワードを入力する必要があります。

1) Schedule View



スケジュールを表示します。

2) TCP/IP



TCP/IP 設定を変更できます。

3) Connection



ネットワーク設定を変更できます。

4) Password



パスワードを変更できます。

- パスワードは、6～12個の数字になります。
(パスワードは、6～12個の数字で入力します)
- 誤ったパスワードを3回入力すると、セットアップ設定がリセットされ、サーバーからの警告メッセージが表示されます。
- パスワードを忘れた場合には、リモコンからInfo、8、2および4を入力して、パスワードを初期化します。これによって、Setupモードのそれまでの設定はリセットされます。

5) File



Local : ローカルまたはリムーバブルディスクの両方で、ファイルの削除またはコピーを行うことができます。

6) Play Option



繰り返し再生および画面設定を設定することができます。

Repeat : 動画および音楽の再生時の繰り返しオプションを指定します。

- None -> 動画または曲を1回だけ再生するには、No Repeatを選択します。
- File Repeat - 動画または曲を繰り返し再生するには、Repeat Fileを選択します。
- List Repeat - リスト内の動画または曲を繰り返し再生するには、Repeat Listを選択します。

Rotation - 画像の方向を設定します。

- Landscape - 画面の解像度を1366x768ピクセルに設定します。
- Portrait - 画面の解像度を768x1366ピクセルに設定します。

☒ 注意

- 操作中は、AC電源をオフにしないことを強く推奨します。

☒ 注意

- ビット機能のあるモニターでは、透明テッカーはサポートされていません。
- ビット機能のあるモニターでは、720*480(SD)までの動画の画面解像度がサポートされています。



安全面での予防措置

はじめに

接続

ソフトウェアの使用

モニターの調整

トラブルシューティング

セルフテスト機能によるチェック

チェックリスト

Q & A

仕様

情報

付録

SyncMaster

www.samsung.com

製品の色と外観はモデルによって異なり、製品の仕様は性能の向上のために予告無く変更される場合があります。

トラブルシューティング

セルフテスト機能によるチェック

☑ 注意

- お問い合わせの前に、次の項目を確認してください。それでも問題が解決しない場合は、CSセンターまでご連絡ください。

♪ セルフテスト機能によるチェック

セルフテスト機能でモニターが正しく動作しているかどうかチェックできます。

- 1) コンピュータとモニターの電源を切ります。
- 2) コンピュータ背面のビデオケーブルを抜きます。
- 3) モニターの電源を入れます。

モニターが正常に動作しているにもかかわらず映像信号が感知されない場合、黒い背景に下図(“信号ケーブルを確認してください”)が表示されます。セルフテストモードではLED電源インジケータが緑に点灯し、画像が画面内を動きます。

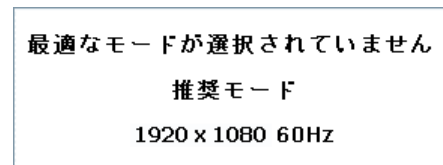


- 4) モニターの電源を切ってビデオケーブルを再接続します。それからコンピュータとモニターの電源を入れます。

上記の手順を試しても画面がブランクのままのときは、ビデオコントローラおよびコンピュータシステムをチェックしてください。モニターは正しく動作しています。

♪ 適切なモードを選択

1920 x 1080 を超える解像度でも、画面を表示することができます。ただし、「最適なモードが選択されていません 推奨モード」というメッセージが短時間表示されます。周波数が85Hzを超える場合には、このモニターでは85Hzを超える周波数はサポートしていないので、画面が黒くなります。



☑ 注意

- モニターでサポートされる解像度や周波数については、[プリセットタイミングモード](#)の説明を参照してください。

メンテナンスとお手入れ

- 1) モニターケースのメンテナンス電源コードを取り外してから、柔らかい布で清掃します。



- ベンジン、シンナー、その他可燃性のものや湿った布を使用しない。
- 画面の損傷を予防するため、専用クリーナーの使用を推奨します。

- 2) フラットパネルディスプレイのメンテナンス柔らかい布(綿ネルなど)でやさしく清掃します。



- アセトン、ベンジン、シンナーなどは絶対に使用しない。
(画面表面が傷ついたり変形することがあります。)
- 自損による修理費用はお客様負担となります。

※ 症状とその対処法

☒ 注意

- モニターは、PCから送られる映像信号を再生します。そのためPCやビデオカードに問題があると、モニターに何も映らない、色の劣化、ノイズ、ビデオモードの非サポートなどの現象が発生することがあります。このような場合はまず問題の切り分けを行い、それから**CSセンターまたは販売店までご連絡ください**。

- 1) 電源コードとケーブルが正しく接続されているか確認します。
- 2) コンピュータ起動時にビープ音が3回以上鳴るか確認します。
(ビープ音が3回以上鳴る場合は、コンピュータのメインボード製造元にお問い合わせください。)
- 3) ビデオカードを交換した場合、または自作PCの場合、アダプタ(ビデオ)ドライバとモニタードライバがインストールされているか確認します。
- 4) ビデオ画面のスクリーンレートを50Hz~85Hzに設定されているかチェックしてください。
(解像度が最大の時は60Hzを超えないようにします。)
- 5) アダプタ(ビデオ)ドライバのインストール中に問題が生じた場合は、セーフモードでコンピュータを起動して“コントロールパネル”“システム”“デバイスマネージャ”からディスプレイアダプタを削除します。それからコンピュータを再起動し、アダプター(ビデオ)ドライバを再インストールします。

チェックリスト

☒ 注意

- 次の表は、よくある問題とその解決法です。カスタマーサービスへのお問い合わせ前に、このセクションに解決法が記載されていないかご確認ください。それでも解決しない場合は、**CSセンターまでお電話いただくか、販売店までご連絡ください**。

※ インストールに関する問題 (PC)

☒ 注意

- モニターの設置に関する問題と、その解決法です。

問題	解決法
モニターの画面がちらつく。	● コンピュータとモニターの間の信号ケーブルがしっかりと接続されているか確認する。 (コンピュータに接続するを参照)

※ 画面に関する問題

☒ 注意

- ・ モニター画面に関する問題と、その解決法です。

問題	解決法
画面に何も映らず、電源インジケータがオフである。	● 電源コードがしっかりと接続され、LCDモニターがオンになっているか確認します。(モニターを接続するを参照)
“信号ケーブルを確認して下さい”のメッセージが表示される。	● 信号ケーブルがPCや映像外部入力にしっかりと接続されているか確認します。(モニターを接続するを参照) ● PCや映像外部入力がオンであるか確認します。
“適切なモードを選択されていません”のメッセージが表示される。	● ビデオアダプタの最大解像度と周波数を確認します。 ● プリセットタイミングモード のチャートデータの値と比較します。
映像が縦に揺れる。	● 信号ケーブルがしっかりと接続されているか確認します。再度確実に接続します。(コンピュータに接続するを参照)
画像が鮮明でない。映像がぼやけている。	● 微調整 の 粗調整 および 微調整 調整を実行します。 ● 全ての付属品(延長映像ケーブルなど)を取り外し、再度電源をオンにします。 ● 解像度と周波数を推奨範囲内に設定します。
映像が不安定に揺れる。	● コンピュータのビデオカードに設定された解像度と周波数が、モニターのサポート範囲内にあるか確認します。範囲外の場合、モニターメニューの現在の 情報および プリセットタイミングモード を参照して再設定します。
映像にゴーストが発生する。	
画像が明るすぎるか、暗すぎる。	● 明るさおよびコントラストを調整します。(明るさ , コントラスト を参照)
画面色にむらがある。	
カラー画像が暗い影で歪んでいる。	● OSDカラー調整メニューの ユーザー調整 を使用して色を調整します。
白色が弱い。	
電源インジケータが緑色に点滅する。	● モニターが設定の変更をOSDメモリに保存している途中です。
画面に何も映っていないが、電源インジケータが緑色に点灯しているか、0.5-1秒間隔で点滅している。	● モニターが電源管理システムを使用中です。 ● キーボードのキーを何か押します。
画面に何も表示されない、またはちらつく。	● MENUボタンを押して“TEST GOOD”メッセージが画面に表示された場合、モニターとコンピュータ間のケーブル接続を確認して、コネクタが正しく接続されているか確認します。

♪ [音声に関する問題](#)

☒ 注意

- ・ 音声信号に関する問題と、その解決法です。

問題	解決法
音がしない。	● モニターのオーディオポートとサウンドカードのオーディオ出力ポートの両方に、オーディオケーブルがしっかりと接続されているか確認します。(モニターを接続するを参照) ● 音量を確認します。
音量が小さすぎる。	● 音量を確認します。 ● 音量を最大に設定しても音が小さい場合は、コンピュータのサウンドカードやソフトウェアプログラムの音量を確認します。

音が高すぎる、低すぎる。

- **高音**と**低音**を適切なレベルに調整します。

♪ リモコンに関する問題

☑ 注意

- ・ リモコンに関する問題と、その解決法です。

問題	解決法
リモコンのボタンが反応しない。	● 電池の向き(+/-)を確認します。 ● 電池が消耗していないか確認します。 ● 電源がオンであるか確認します。 ● 電源コードしっかりと接続されているか確認します。 ● 付近に特殊な蛍光灯もしくはネオン灯がないか確認します。

♪ MagicNetに関する問題

☑ 注意

- ・ 起動用USBフラッシュディスクの作成

問題	解決法
起動用USBフラッシュディスクの作成	1. USB起動用ディスク作成ツールを使用して、一般的な512MB以上のUSB記憶メディアを起動可能ディスクにすることができます。(たとえばHP USB Disk Storage Format Toolなど) 2. OSのゴーストイメージをコピーと実行可能ファイルをUSBディスクにコピーします。 3. BIOSメニューに移動し、BIOSのロゴ画面でF2キーを押します。次に、USB Boot Firstオプションを選択して有効にし、BootメニューでEnterキーを押します。 4. USBディスクが接続されている状態で電源をオンにし、DOSモードで起動します。 5. C:\ghost.exeを実行し、メニューからLocal → Partition → From Imageを選択します。ゴーストイメージを選択してUSBディスクを更新し、目的のディスクを選択します。 6. ゴーストイメージの更新が終了すると、自動的に再起動されます。

Q & A

質問	回答
周波数はどのようにして変更しますか。	ビデオカードを再設定することで 周波数を変更できます。 方法はビデオカードドライバのバージョンによって異なることがあります。 (詳しくは、コンピュータまたはビデオカード の取扱説明書を参照してください。)
解像度はどのようにして変更しますか。	● Windows XP: コントロールパネル → 画面 → 設定で解像度を再設定します。 ● Windows ME/2000: コントロールパネル → 画面 → 設定で解像度を再設定します。 * 詳しくはビデオカードの製造元 にお問い合わせください。
Power Saving機能はどのように設定しますか。	● Windows XP: スクリーンセーバまたはコンピュータの BIOSで機能設定してください。 ● Windows ME/2000: スクリーンセーバまたはコンピュータの BIOSで機能設定してください。
本体や液晶パネルはどのようにして清掃しますか。	● 電源コードを抜き、クリーナーまたは 水を湿らせた柔らかい布で拭いてください。 ● クリーナーが残ったり、傷がつかないように注意してください。モニター

内部に水分が 入らないように注意してください。

ビデオの再生方法は？

ビデオは、MPEG1およびWMVコーデックのみをサポートしています。ビデオを再生するには、対応するコーデックをインストールします。互換性がないコーデックがあることに注意してください。

© 1995~2007 SAMSUNG. ALL Right Reserved

SAMSUNG

安全面での予防措置

はじめに

接続

ソフトウェアの使用

モニターの調整

トラブルシューティング

仕様

一般事項

省電力

プリセットタイミングモード

情報

付録

SyncMaster

www.samsung.com

製品の色と外観はモデルによって異なり、製品の仕様は性能の向上のために予告無く変更される場合があります。

仕様

一般事項

<http://www.samsung.com/jp>

モデル

SyncMaster 570DXn



一般事項

一般事項

モデル名 SyncMaster 570DXn

LCDパネル

サイズ 57 〃対角線

表示域サイズ 1251.36 mm (H) x 703.89 mm (V)

ピクセルピッチ 0.651 mm (H) x 0.651 mm (V)

同期化

水平 30 ~ 81 kHz

垂直 56 ~ 85 Hz

表示色

表示色 約16.7万色

解像度

表示画素数 1920 x 1080@ 60 Hz

最大解像度 1920 x 1080@ 60 Hz

入力信号、終了

RGB アナログ、DVI (Digital Visual Interface) 準拠デジタル RGB

0.7 V_{p-p} ± 5 % (終端)、TTLレベル (V_{high} ≥ 2.0 V 、 V_{low} ≤ 0.8 V)

最大ピクセルクロック

165 MHz (アナログ / デジタル)

電源

AC 100 - 240 V ~ (+/- 10 %)、50/60 Hz

信号ケーブル

15ピン (両端) D-subケーブル、取り外し可能

DVI-D to DVI-Dコネクタ、取り外し可能 (オプション)

寸法 (幅x奥行きx高さ) / 重量

1567.5 x 855 x 311 mm (スピーカー付き、スタンド使用時)

1347.5 x 800 x 130 mm (スピーカーなし)

1347.5 x 855 x 311 mm, 48.3 kg (スタンド使用時)

VESAマウンティングインターフェイス

400 mm x 800 mm

環境条件

動作 温度: 10°C ~ 40°C (50°F ~ 104°F)

湿度: 10 % ~ 80 %, 結露しないこと

保存 温度: -20°C ~ 45°C (-4°F ~ 113°F)

湿度: 5 % ~ 95 %, 結露しないこと

オーディオ特性

オーディオ入力1	RCA ジャック 赤(右側) 白(左側L)、0.5 Vrms (−9 dB)
オーディオ入力2	RCA ジャック赤(右側) 白(左側)、0.5 Vrms (−9 dB)
PC オーディオ入力	3.5O ステレオジャック、0.5 Vrms (−9 dB)
周波数	RF: 80 Hz ~ 15 kHz (at −3 dB)
レスポンス	A/V: 80 Hz ~ 20 kHz (at −3 dB)

プラグ&プレイ機能

このモニターは、プラグ&プレイ機能と互換性のあるシステムにインストールすることができます。モニターとコンピュータシステムの相互作用は、最高の操作条件とモニターの設定を提供してくれます。ユーザーが別の設定を選択したくなければ、ほとんどの場合、モニターのインストールは、自動的に行われます。

ピクセルについて

この製品には、100万分の1以上の精度を持つ先進の半導体技術で製造されたTFT液晶パネルが使用されています。しかしまれに、赤、緑、青、白のピクセルが明るく見えたり、黒いピクセルが発生することがあります。これは製品の不良ではありませんので安心してお使いください。
 ・この製品のTFT液晶総ピクセル数は6,220,800です。

☒ 注意

- ・ 外観や仕様は予告なく変更されることがあります。

☒ クラスB機器(住宅用情報通信機器)

- ・ この製品は、住宅地での使用に関する電磁環境適合性を満たしており、一般的な住宅地などを含むすべての地域で使用することができます。(クラスBの機器は、クラスAの機器より放出する電磁波による影響が少なくなっています)

♪ MagicNet – クライアント

	項目	仕様	備考
	LAN	1 Gbps	
	USB	キーボード/マウス、マスメージング機器対応	USB インターフェイスを持つポータブル保存デバイスを使用することができます。 2274x1704以下に設定してください。
	Photo	サポートするファイルフォーマット:BMP / JPEG	
	Music	サポートするファイルフォーマット:MP3	音声帯域幅:50 Hz ~ 15 kHz
	ムービー	● MPEG1, WMV ● 最大 1280 x 720 30 fps	
コンテンツ	File	MS Office(Word, Excel, Power Point), HTML, PDF	● フォーマットやバージョンの違いにより、サポートされないファイルがあります。 ● 適切な閲覧(フリーウェア)プログラムをインストールして、MS Office (Word, Excel, Power Point)またはPDF文書を表示します。
	インターネットブラウザ	MS Internet Explorer	Flash, Java アプレット、セキュリティサイトはサポートせず。
	言語	英語 (注: 英語表示、日本語フォント対応)	
	OS	Windows XPを組み込み	

♪ MagicNet – サーバーのシステム要件

	CPU	RAM	Ethernet	OS	Application
最小	P1.8 Ghz	256 M	100 M / 1 G	Windows XP	WMP 以降
推奨	P3.0 Ghz	512 M	100 M / 1 G	Windows XP	WMP 以降

省電力

このモニターは省電力のための内蔵型電源管理システムを備えています。このシステムはモニターが一定時間使用されない場合に、モニターを低出力モードに切り替えることによってエネルギーを節約します。電力節約のため、使用しないとき

きや長時間席を離れるときはモニターをオフにしてください。省電力システムは VESA DPM準拠のビデオカードが搭載されているコンピュータで機能します。この機能を設定するには、コンピュータにインストールされているユーティリティソフトを利用します。

状態	通常動作	パワーセービングモード	電源オフ
電源 インジケータ	緑色	緑色, 点滅	アンバー
消費電力	460 W 未満	1 W 未満 (オフモード)	1 W 未満 (パワーボタン)

プリセットタイミングモード

プリセットタイミングモード

コンピュータから送られた信号が次のプリセットタイミングモードと一致したとき、画面が自動調整されます。信号が異なる場合は、電源LEDがオンでもブランクスクリーンになることがあります。ビデオカードの取扱説明書を参照して、次のように画面を調整してください。

ディスプレイモード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセルクロック (MHz)	同期極性 (H/V)
IBM, 640 x 350	31.469	70.086	25.175	+/-
IBM, 640 x 480	31.469	59.940	25.175	-/-
IBM, 720 x 400	31.469	70.087	28.322	-/+
MAC, 640 x 480	35.000	66.667	30.240	-/-
MAC, 832 x 624	49.726	74.551	57.284	-/-
MAC, 1152 x 870	68.681	75.062	100.000	-/-
VESA, 640 x 480	37.861	72.809	31.500	-/-
VESA, 640 x 480	37.500	75.000	31.500	-/-
VESA, 800 x 600	35.156	56.250	36.000	+/+
VESA, 800 x 600	37.879	60.317	40.000	+/+
VESA, 800 x 600	48.077	72.188	50.000	+/+
VESA, 800 x 600	46.875	75.000	49.500	+/+
VESA, 1024 x 768	48.363	60.004	65.000	-/-
VESA, 1024 x 768	56.476	70.069	75.000	-/-
VESA, 1024 x 768	60.023	75.029	78.750	+/+
VESA, 1152 x 864	67.500	75.000	108.000	+/+
VESA, 1280 x 960	60.000	60.000	108.000	+/+
VESA, 1280 x 1024	63.981	60.020	108.000	+/+
VESA, 1280 x 1024	79.976	75.025	135.000	+/+
VESA,1360 x 768	47.712	60.015	85.500	+/+
VESA,1920 x 1080	66.587	59.934	138.500	+/+

水平周波数



ラインを右から左へ水平に走査する時間を水平サイクルといい、その逆数が水平周波数になります。単位: kHz

垂直周波数

蛍光灯のように、画面には1秒間に何度も同じ画像が表示されています。この繰り返しの回数が、垂直周波数もしくはリフレッシュレートと呼ばれるものです。単位: Hz

SAMSUNG

安全面での予防措置

はじめに

接続

ソフトウェアの使用

モニターの調整

トラブルシューティング

仕様

情報

より良い画質でご覧いただく
ために製品情報
(残像なし)

付録

SyncMaster

www.samsung.com

製品の色と外観はモデルによって異なり、製品の仕様は性能の向上のために予告無く変更される場合があります。

情報

より良い画質でご覧いただくために



モデル

SyncMaster 570DXn ▼

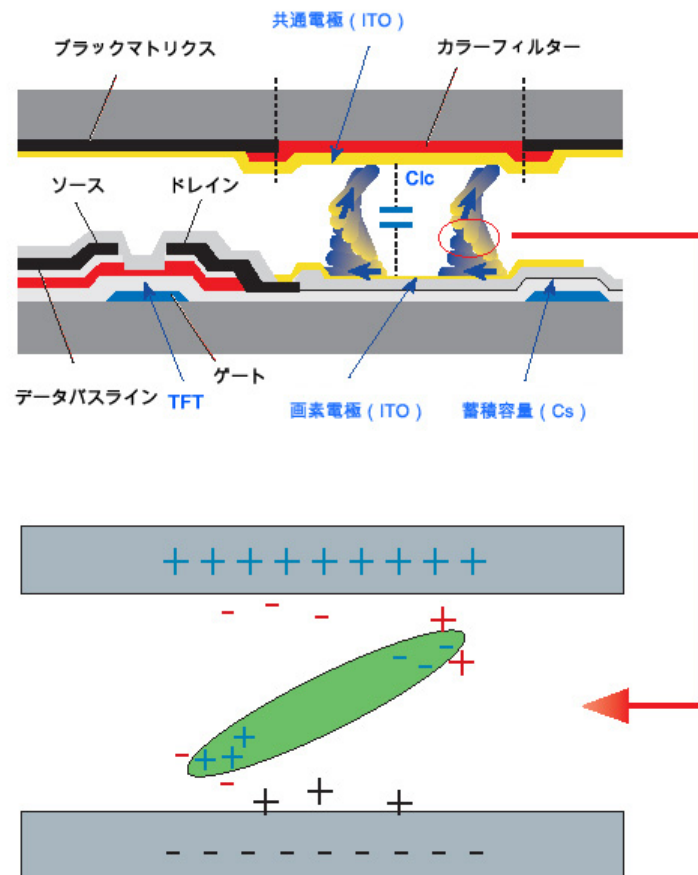
- より良い画質でご覧いただくためにコンピュータのControl Panelから解像度とリフレッシュレートを次のように調整してください。TFT液晶の設定が最適でない場合、画面にむらが出ることがあります。
 - 解像度 : 1920 x 1080
 - 垂直周波数 (リフレッシュレート) : 60 Hz
- この製品には、100万分の1以上の精度を持つ先進の半導体技術で製造されたTFT液晶パネルが使用されています。しかしまれに赤、緑、青、白のピクセルが明るく見えたり、黒いピクセルが発生することがあります。これは製品の不良ではありませんので安心してお使いください。
 - この製品のTFT液晶の総ピクセル数は6,220,800です。
- モニターを清掃するときは弊社指定のクリーナを少量使用し、乾いた柔らかい布で拭き取ります。液晶部分だけでなく、全体を丁寧に拭きます。力を入れすぎるとしみになることがあります。
- 画質に満足できないときは、ウィンドウ終了ボタンを押して表示される画面から「自動調整機能」を実行して、画質を改善することができます。自動調整後もノイズが発生するときは、MagicTune?ソフトウェアにて調整を実行します。
- 画像が長時間固定されると、残像やぶれが生じることがあります。長時間モニターから離れる場合は、節電モードに切り替えるかスクリーンセーバ(動画)を設定します。

製品情報(残像フリーについて)

➤ 残像とは?

残像は、LCDパネルを通常の条件下で使用したときには発生しません。

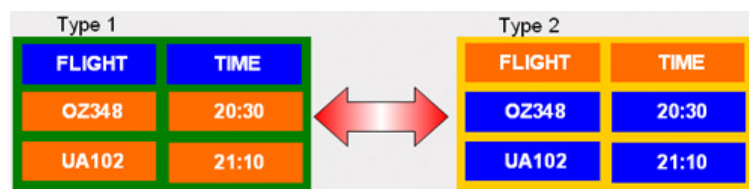
通常の条件とは、連続的に変化するビデオパターンとして定義されます。LCD パネルが固定されたパターンで長時間(12時間以上)使用されると、ピクセル内の液晶(LC)を動作させる電極の間で若干の電圧の差が生じる場合があります。電極間の電圧の差が時間とともに増大すると、液晶が曲げられてしまいます。このような現象が発生すると、パターンが変化したときに以前のイメージが見える場合があります。これを防止するために、蓄積した電圧差を解消する必要があります。



⬢ 電源オフ、スクリーンセーバー、または省電力モード

- 20時間使用することに電源を4時間オフにします。
- 12時間使用することに電源を2時間オフにします。
- PCの表示プロパティの電源管理機能で、モニターの電源をオフにするよう設定します。
- 可能な場合にはスクリーンセーバーを使用します - 単色または変化するイメージのスクリーンセーバーをお勧めします。

⬢ 定期的に色の組み合わせを変更する



☑ 注意

- 2つの異なる組み合わせの色を使用します。
2つの異なる色からなる組み合わせを30分間隔で切り替えます。
- 明るさが大きくとなる文字色と背景色を組み合わせで使用することは避けてください。
残像の発生する原因となりますので灰色は使用しないでください。
明るさが大きくとなる色(白と黒、灰色)を使用することは避けてください。

FLIGHT : TIME
OZ348 : 20:30

FLIGHT : TIME
OZ348 : 20:30

⬢ 定期的に文字色を変更する

- 明るさの差が少ない明るい色を使用します。
文字色と背景色を30分間隔で変更します。

FLIGHT : TIME	FLIGHT : TIME	FLIGHT : TIME	FLIGHT : TIME
OZ348 : 20:30	FLIGHT : TIME	OZ348 : 20:30	OZ348 : 20:30

- 30分ごとに、文字を動かして変更します。



- すべての領域に、ロゴとともに移動するイメージを定期的に表示します。
ロゴとともに移動するイメージを4時間使用することにより60秒表示します。
- モニターの残像を防止するのに最も効果がある方法は、電源をオフにするか、使用していないときにPCまたはシステムがスクリーンセーバーを作動させるように設定することです。保証も、操作ガイドに基づいて制限されています。

✚ 製品に画面スクロール機能を使用する

- 画面スクロール機能を使用する
 - 動作:黒色の水平線が上下に移動します。



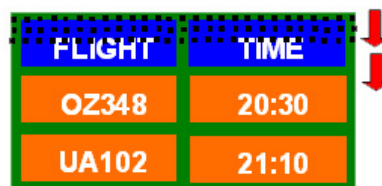
- 選択方法
 - . 操作ガイド:OSD Menu (OSDメニュー)→ Set Up (セットアップ)→ Safety Screen (安全画面)→ Screen Scroll (画面スクロール)
 - . 間隔:1～10時間 (推奨: 1時間)
 - . 時間: 1～5秒 (推奨: 5秒)

☑ 注意

- ・ (CDのユーザーガイドで「OSD機能」を参照してください。一部のモデルでは利用できません)

✚ 製品に画面ピクセル機能を使用する

- 画面ピクセル機能を使用する
 - 症状:黒色の点が上下に移動します。



- 選択方法
 - . 操作ガイド:OSD Menu (OSDメニュー)→ Set Up (セットアップ)→ Safety Screen (安全画面)→ Pixel (ピクセル)
 - . 間隔:1～10時間 (推奨: 1時間)
 - . 時間: 10～50秒 (推奨: 50秒)

- 画面バー機能を使用する
 - 動作:黒色の水平/垂直線が上下に移動します。



－ 選択方法

- . 操作ガイド:OSD Menu (OSDメニュー)→ Set Up (セットアップ)→ Safety Screen (安全画面)→ Bar (バー)
- . 間隔:1～10時間 (推奨: 1時間)
- . 時間: 10～50秒 (推奨: 50秒)

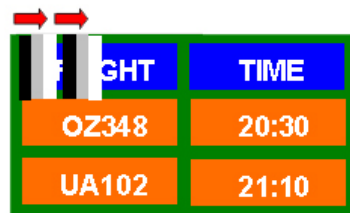
☒ 注意

- ・ (CDのユーザーガイドで「OSD機能」を参照してください。一部のモデルでは利用できません)

☒ 製品に画面消去機能を使用する

- 画面消去機能を使用する

－ 動作:2つの垂直なブロックが表示を消していきます。



－ 選択方法

- . 操作ガイド:OSD Menu (OSDメニュー)→ Set Up (セットアップ)→ Safety Screen (安全画面)→ Eraser (消去)
- . 間隔:1～10時間 (推奨: 1時間)
- . 時間: 10～50秒 (推奨: 50秒)

☒ 注意

- ・ (CDのユーザーガイドで「OSD機能」を参照してください。一部のモデルでは利用できません)



安全面での予防措置
はじめに
接続
ソフトウェアの使用
モニターの調整
トラブルシューティング
仕様
情報
付録
CSセンター
用語集
制限事項
VCCIについて
製品ユーザー登録について

SyncMaster

www.samsung.com



モデル

SyncMaster 570DXn ▼

製品の色と外観はモデルによって異なり、製品の仕様は性能の向上のために予告無く変更される場合があります。

付録

CSセンター

お客様相談ダイヤル
東雲サービスセンター

☎ 0120-327-527

受付時間	平日(土日祭日を除く)9:00~17:00 *
ホームページ	http://www.samsung.com/jp
〒 135-0062	東京都江東区東雲2-6-38
Fax	03-3527-5533

☒ 注意

- * 予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

用語集

同期信号

同期信号とは、モニターに色を表示するために必要とされる標準的な信号のことです。同期信号には垂直と水平があります。解像度と周波数に合った標準的な画像を表示するための信号です。

同期信号の種類

セパレート	個々の垂直同期信号をモニターに転送する方式です。
コンポジット	垂直同期信号を複合し、一つの信号としてモニターに転送する方式です。モニターは、複合された信号を再び個々のカラー信号に分離して表示します。

ドットピッチ

モニタの画像は、赤、緑および青のドットで構成されています。ドットが密なほど解像度は高くなります。同色ドット間の距離を「ドットピッチ」といいます。単位: mm

垂直周波数

画面は1秒間に何回も再描画されています。この繰り返しの回数が、垂直周波数またはリフレッシュレートと呼ばれるものです。単位: Hz

例:	同じ光が1秒間に60回繰り返すときには、60Hzとなります。
----	--------------------------------

水平周波数

ラインを右から左へ水平に走査する時間を水平サイクルといいます。その逆数が水平周波数になります。単位: kHz

インタレースとノンインタレース方式

ラインを上から下に順番に表示する方式をノンインタレース、奇数ラインから偶数ラインの順に表示する方式をインタレースといいます。ノンインタレース方式は画像が鮮明なため、ほとんどのモニターに採用されています。インタレー

ス方式はTVに採用されているものと同じです。

プラグ&プレイ

コンピュータとモニターが自動的に情報交換し、最高の画質を実現する機能です。このモニターはプラグ&プレイ機能の国際規格VESA DDCに準拠しています。

解像度

画面を構成する水平および垂直のドット数を「解像度」といいます。これはディスプレイの精度を表しています。高い解像度はより多くの情報が画面に表示されるため、複数作業の同時進行に適しています。

例：	解像度が1920 x 1080の場合、画面は1920 個の水平ドット（水平解像度）と1080個の垂直ライン（垂直解像度）で構成されています。
----	--

Multiple Display Control (MDC)

マルチディスプレイコントロール(MDC)は、様々な表示をPC上で容易にしかも一度に作動させることができるアプリケーションです。シリアル通信の規格 RS-232Cは、PCとディスプレイ間の通信のために使用されます。

制限事項

本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。

© 2007 Samsung Electronics Co., Ltd. All rights reserved.

Samsung Electronics Co., Ltd. の文書による許可なしには、いかなる複製も堅く禁じます。

内容に含まれる誤り、または設置や使用の結果として起こる損害について、Samsung Electronics Co., Ltd.は一切の責任を負いません。

Samsung はSamsung Electronics Co., Ltd.の登録商標です。Microsoft、Windows および Windows NT は Microsoft Corporationの登録商標です。VESA、DPM および DDC はVideo Electronics Standard Associationの登録商標です。Energy STAR の名称とロゴはU.S. Environmental Protection Agency (EPA)の登録商標です。

その

ほかこの文書に含まれるすべての商品名は、各企業・団体の商標もしくは登録商標です。

本製品は日本国内用として製造、販売しています。日本国外で使用された場合、当社は責任を負い兼ねます。また、技術相談や、アフターサービスなども国外では行っておりませんのでご注意ください。

本製品は一般OA用として設計・製造されています。一般OA用以外の用途で使用される場合は、保証期間内であっても無償修理の対象外となることがありますのでご注意ください。



TruSurround xt、SRSおよび(●)記号は、SRS Labs, Inc.の商標です。
truSurround xtテクノロジーは、SRS Labs, Inc.からのライセンスに基づいて組み込まれています。

VCCIについて

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

製品ユーザー登録

ご購入いただいたサムスの製品は下記のURLで製品ユーザー登録を行うことができます。

<http://www.samsung.com/jp/PRC/>

ユーザー登録を行いますと、サムスの最新ニュース、新製品情報、キャンペーン情報、各種ユーザー向けプログラム、サービス情報など、多彩な情報をおとどけます。また、登録により迅速なアフターサービスのご提供が可能となりますので、お手数でもご登録をお願い申し上げます。

なお、お客様の情報は弊社からのサービスの提供のみを目的に利用させていただきます。